

大学等名	専修大学
プログラム名	SIデータサイエンス教育プログラム(応用基礎レベル)

プログラムを構成する授業科目について

① 申請単位 ② 既認定プログラムとの関係

③ 教育プログラムの修了要件

④ 対象となる学部・学科名称

⑤ 修了要件
 プログラムを構成する科目から以下の要件を満たし、合計8単位を取得すること。
 <現代経済学科>
 必須科目:「統計学基礎」「情報入門2」「特殊講義(人工知能入門)」「特殊演習(データ・AI活用)」「データサイエンス実践」「AI基礎」「データサイエンス活用演習」の4科目8単位
 <生活環境経済学科>
 必須科目:「情報入門2」「特殊講義(人工知能入門)」「特殊演習(データ・AI活用)」「データサイエンス実践」「AI基礎」「データサイエンス活用演習」の3科目6単位
 選択必修科目:「経済データ入門演習」「現代社会と統計1」の2科目から1科目2単位
 <国際経済学科>
 必須科目:「情報入門2」「特殊講義(人工知能入門)」「特殊演習(データ・AI活用)」「データサイエンス実践」「AI基礎」「データサイエンス活用演習」の3科目6単位
 選択必修科目:「データ分析入門」「国際経済とデータ分析」「現代社会と統計1」の3科目から1科目2単位

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

⑥ 応用基礎コア「Ⅰ. データ表現とアルゴリズム」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7	授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7
統計学基礎	2		○										
経済データ入門演習	2		○										
現代社会と統計1	2		○										
データ分析入門	2		○										
国際経済とデータ分析	2		○										
情報入門2 データサイエンス実践	2	○	○	○	○	○							

⑦ 応用基礎コア「Ⅱ. AI・データサイエンス基礎」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	
特殊講義(人工知能入門) AI基礎	2	○				○	○	○	○	○												
特殊演習(データ・AI活用) データサイエンス活用演習	2	○	○	○	○																	

⑧ 応用基礎コア「Ⅲ. AI・データサイエンス実践」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	授業科目	単位数	必須
特殊演習(データ・AI活用) データサイエンス活用演習	2	○			

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
<p>(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。</p>	<p>「国際経済とデータ分析」は入学時の学力判定によって小川担当(上級クラス)と矢野担当(普通クラス)・津布久担当(普通クラス)に分かれる。矢野担当(普通クラス)と津布久担当(普通クラス)は共通シラバスを適用し、小川担当(上級クラス)のみ違うシラバスを適用している。</p> <p>・順列「統計学基礎」12回目、組合せ「統計学基礎」12回目、集合「統計学基礎」12回目、ベン図「統計学基礎」12回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]15回目、条件付き確率「統計学基礎」12回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]15回目</p> <p>・代表値(平均値「統計学基礎」5回目「経済データ入門演習」11回目「現代社会と統計」12回目「国際経済とデータ分析」[矢野・津布久担当]13回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]10回目、中央値「統計学基礎」5回目「経済データ入門演習」10-11回目「現代社会と統計」12回目「国際経済とデータ分析」[矢野・津布久担当]13回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]10回目、最頻値「統計学基礎」5回目「経済データ入門演習」11回目「現代社会と統計」12回目「国際経済とデータ分析」[矢野・津布久担当]13回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]10回目、分散「統計学基礎」9回目「経済データ入門演習」11回目「現代社会と統計」13回目「国際経済とデータ分析」[矢野・津布久担当]13回目、「国際経済とデータ分析」[小川担当]10回目、標準偏差「統計学基礎」9回目「経済データ入門演習」11回目「現代社会と統計」13回目「国際経済とデータ分析」[矢野・津布久担当]13回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]10回目</p> <p>・相関係数「統計学基礎」10回目「現代社会と統計」14回目「国際経済とデータ分析」[矢野・津布久担当]14回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]11回目、相関関係と因果関係「統計学基礎」10回目「現代社会と統計」14回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]11回目・名義尺度「現代社会と統計」18回目、順序尺度「現代社会と統計」18回目、間隔尺度「現代社会と統計」18回目、比例尺度「現代社会と統計」18回目</p> <p>・確率分布「統計学基礎」12回目、正規分布「統計学基礎」12回目、独立同一分布「統計学基礎」13回目・ベクトルと行列「国際経済とデータ分析」[小川担当]14回目・ベクトルの演算「国際経済とデータ分析」[小川担当]14回目、ベクトルの和とスカラー倍「国際経済とデータ分析」[小川担当]14回目、内積「国際経済とデータ分析」[小川担当]14回目・行列の演算「国際経済とデータ分析」[小川担当]14回目、行列の和とスカラー倍「国際経済とデータ分析」[小川担当]14回目、行列の積「国際経済とデータ分析」[小川担当]14回目・逆行列「国際経済とデータ分析」[小川担当]14回目・指数関数「統計学基礎」3回目「経済データ入門演習」13回目「国際経済とデータ分析」[矢野・津布久担当]12回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]5回目、対数関数「統計学基礎」3回目「経済データ入門演習」13回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]5回目・関数の傾きと微分の関係「国際経済とデータ分析」[矢野・津布久担当]11回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]5回目、積分と面積の関係「国際経済とデータ分析」[小川担当]9回目・1変数関数の微分法「国際経済とデータ分析」[矢野・津布久担当]11回目「国際経済とデータ分析」[小川担当]5回目、1変数関数の積分法「国際経済とデータ分析」[小川担当]10回目</p> <p>・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「データサイエンス実践」(2回目)・相関係数、相関関係と因果関係「データサイエンス実践」(3回目)</p> <p>・ベクトルの演算、ベクトルの和とスカラー倍、内積「データサイエンス実践」(7回目)・逆行列「データサイエンス実践」(7回目)・関数の傾きと微分の関係、積分と面積の関係「データサイエンス実践」(6回目)・1変数関数の微分法、積分法「データサイエンス実践」(6回目)</p>
1-7	<p>・アルゴリズムの表現(フローチャート)「情報入門2」(8回目)「データサイエンス実践」(8回目)</p> <p>・並び替え(ソート)、探索(サーチ)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(3,10回目)</p> <p>・ソートアルゴリズム、バブルソート、選択ソート、挿入ソート「情報入門2」(4,10回目)「データサイエンス実践」(10回目)</p> <p>・探索アルゴリズム、リスト探索、木探索「情報入門2」(4,10回目)「データサイエンス実践」(10回目)</p>
2-2	<p>・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(1回目)</p> <p>・構造化データ、非構造化データ「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(1回目)</p> <p>・情報量の単位(ビット、バイト)、二進数、文字コード「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(1回目)</p> <p>・配列、木構造(ツリー)、グラフ「情報入門2」(4,10回目)「データサイエンス実践」(10回目)</p>
2-7	<p>・文字型、整数型、浮動小数点型「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(1回目)</p> <p>・変数、代入、四則演算、論理演算「情報入門2」(7回目)「データサイエンス実践」(8回目)</p> <p>・関数、引数、戻り値「情報入門2」(9回目)「データサイエンス実践」(9回目)</p> <p>・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「情報入門2」(8,9回目)「データサイエンス実践」(8,9回目)</p>
1-1	<p>・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(4回目)「データサイエンス活用演習」(1回目)</p> <p>・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目)</p> <p>・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目)</p>
1-2	<p>・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目)</p> <p>・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目)</p> <p>・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3~9回目)</p> <p>・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3~9回目)</p> <p>・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3~9回目)</p>
2-1	<p>・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)</p> <p>・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3~9回目)</p> <p>・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3~9回目)「データサイエンス活用演習」(3~9回目)</p> <p>・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)</p> <p>・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)</p>
3-1	<p>・AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム「特殊講義(人工知能入門)」(1,2回目)「AI基礎」(2回目)</p> <p>・汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI)「特殊講義(人工知能入門)」(1,2回目)「AI基礎」(3回目)</p> <p>・フレーム問題、シンボルグラウンディング問題「AI基礎」(7回目)</p> <p>・人間の知的活動とAI技術(学習、認識、予測・判断、知識・言語、身体・運動)「AI基礎」(7回目)</p> <p>・AI技術の活用領域の広がり(流通、製造、金融、インフラ、公共、ヘルスケアなど)「AI基礎」(9回目)</p>
3-2	<p>・AI倫理、AIの社会的受容性「特殊講義(人工知能入門)」(2回目)「AI基礎」(2回目)</p> <p>・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「AI基礎」(4回目)</p> <p>・AIに関する原則/ガイドライン「AI基礎」(4回目)</p> <p>・AIの公平性、AIの信頼性、AIの説明可能性「AI基礎」(4回目)</p>
3-3	<p>・実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(5,7回目)</p> <p>・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(6回目)</p> <p>・学習データと検証データ「AI基礎」(6回目)・ホールドアウト法、交差検証法「AI基礎」(6回目)</p> <p>・過学習、バイアス「AI基礎」(6回目)</p>

	<p>3-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)「特殊講義(人工知能入門)」(9、11～14回目)「AI基礎」(7回目) ・ニューラルネットワークの原理「特殊講義(人工知能入門)」(9、11～14回目)「AI基礎」(8回目) ・ディープニューラルネットワーク(DNN)「AI基礎」(8回目) ・学習用データと学習済みモデル「AI基礎」(6回目)
	<p>3-9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIの学習と推論、評価、再学習「特殊講義(人工知能入門)」(10～15回目)「AI基礎」(10～15回目) ・AIの社会実装、ビジネス/業務への組み込み「AI基礎」(10～15回目) ・複数のAI技術を活用したシステム(スマートスピーカー、AIアシスタントなど)「AI基礎」(10～15回目)
<p>(3)本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。</p>	<p>I</p> <p>II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3～9回目)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「**数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラム改訂版**」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)における、コア学修項目3-5「生成」の内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
<p>「AI基礎」において、生成AIサービスを活用した作品制作ならびにグループ内での相互評価を行い、自身で活用する体験を得ると同時に現在のAIでできることを概観する。さらに、深層学習技術の延長として、画像データの生成(GANや潜在拡散モデルなど)ならびに自然言語文の生成(Transformerなどとその発展としての各種大規模言語モデル)の理論と仕組みについての講義を行う。</p>

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・順列、組合せ、集合、ベン図、条件付き確率「データ分析入門」(12回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「データ分析入門」(7,8回目)「情報入門2」(2回目)「データサイエンス実践」(2回目) ・相関係数、相関関係と因果関係「データ分析入門」(10回目)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(3回目) ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度「データ分析入門」(2回目) ・ベクトルの演算、ベクトルの和とスカラー倍、内積「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(7回目) ・行列の演算、行列の和とスカラー倍、行列の積・逆行列「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(7回目) ・多項式関数、指数関数、対数関数・関数の傾きと微分の関係、積分と面積の関係「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(6回目) ・1変数関数の微分法、積分法「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(6回目)
	1-7 <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの表現(フローチャート)「情報入門2」(8回目)「データサイエンス実践」(8回目) ・並び替え(ソート)、探索(サーチ)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(3,10回目) ・ソートアルゴリズム、バブルソート、選択ソート、挿入ソート「情報入門2」(10回目)「データサイエンス実践」(10回目) ・探索アルゴリズム、リスト探索、木探索「情報入門2」(10回目)「データサイエンス実践」(10回目)
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・構造化データ、非構造化データ「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・情報量の単位(ビット、バイト)、二進数、文字コード「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・配列、木構造(ツリー)、グラフ「情報入門2」(10回目)「データサイエンス実践」(10回目)
	2-7 <ul style="list-style-type: none"> ・文字型、整数型、浮動小数点型「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・変数、代入、四則演算、論理演算「情報入門2」(7回目)「データサイエンス実践」(8回目) ・関数、引数、戻り値「情報入門2」(9回目)「データサイエンス実践」(9回目) ・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「情報入門2」(8,9回目)「データサイエンス実践」(8,9回目)
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目)
	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3~9回目)
	2-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3~9回目)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)
	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム「特殊講義(人工知能入門)」(1,2回目)「AI基礎」(2回目) ・汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI)「特殊講義(人工知能入門)」(1,2回目)「AI基礎」(3回目) ・フレーム問題、シンボルグラウンディング問題「AI基礎」(7回目) ・人間の知的活動とAI技術(学習、認識、予測・判断、知識・言語、身体・運動)「AI基礎」(7回目) ・AI技術の活用領域の広がり(流通、製造、金融、インフラ、公共、ヘルスケアなど)「AI基礎」(9回目)
	3-2 <ul style="list-style-type: none"> ・AI倫理、AIの社会的受容性「特殊講義(人工知能入門)」(2回目)「AI基礎」(2回目) ・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「AI基礎」(4回目) ・AIに関する原則/ガイドライン「AI基礎」(4回目) ・AIの公平性、AIの信頼性、AIの説明可能性「AI基礎」(4回目)
	3-3 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(5,7回目) ・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(6回目) ・学習データと検証データ「AI基礎」(6回目)・ホールドアウト法、交差検証法「AI基礎」(6回目) ・過学習、バイアス「AI基礎」(6回目)
	3-4 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)「特殊講義(人工知能入門)」(9,11~14回目)「AI基礎」(7回目) ・ニューラルネットワークの原理「特殊講義(人工知能入門)」(9,11~14回目)「AI基礎」(8回目) ・ディープニューラルネットワーク(DNN)「AI基礎」(8回目) ・学習用データと学習済みモデル「AI基礎」(6回目)
3-9 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの学習と推論、評価、再学習「特殊講義(人工知能入門)」(10~15回目)「AI基礎」(10~15回目) ・AIの社会実装、ビジネス/業務への組み込み「AI基礎」(10~15回目) ・複数のAI技術を活用したシステム(スマートスピーカー、AIアシスタントなど)「AI基礎」(10~15回目) 	

(3)本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。	I	
	II	<ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3～9回目)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)における、コア学修項目3-5「生成」の内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
<p>「AI基礎」において、生成AIサービスを活用した作品制作ならびにグループ内での相互評価を行い、自身で活用する体験を得ると同時に現在のAIでできることを概観する。さらに、深層学習技術の延長として、画像データの生成(GANや潜在拡散モデルなど)ならびに自然言語文の生成(Transformerなどその発展としての各種大規模言語モデル)の理論と仕組みについての講義を行う。</p>

大学等名	専修大学
プログラム名	SIデータサイエンス教育プログラム(応用基礎レベル)

プログラムを構成する授業科目について

① 申請単位 ② 既認定プログラムとの関係

③ 教育プログラムの修了要件

④ 対象となる学部・学科名称

⑤ 修了要件

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

⑥ 応用基礎コア「Ⅰ. データ表現とアルゴリズム」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7	授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7
統計入門	2	○	○										
情報システム入門	2	○		○	○	○							
プログラミング基礎	2	○		○		○							

⑦ 応用基礎コア「Ⅱ. AI・データサイエンス基礎」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	
特殊講義(人工知能入門) AI基礎	2	○				○	○	○	○	○												
特殊演習(データ・AI活用) データサイエンス活用演習	2	○	○	○	○																	

⑧ 応用基礎コア「Ⅲ. AI・データサイエンス実践」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	授業科目	単位数	必須
特殊演習(データ・AI活用) データサイエンス活用演習	2	○			

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・順列、組合せ、集合、ベン図、条件付き確率「統計入門」(4回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「統計入門」(2回目) ・相関係数、相関関係と因果関係「統計入門」(13回目) ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度「統計入門」(2回目) ・確率分布、正規分布、独立同一分布「統計入門」(5,6回目)
	1-7 <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの表現(フローチャート)「プログラミング基礎」(3回目)「情報システム入門」(9回目) ・並び替え(ソート)、探索(サーチ)「プログラミング基礎」(12, 13回目)「情報システム入門」(9回目) ・ソートアルゴリズム、バブルソート、選択ソート、挿入ソート「情報システム入門」(9回目) ・探索アルゴリズム、リスト探索、木探索「情報システム入門」(9回目)
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「情報システム入門」(6回目) ・情報量の単位(ビット、バイト)、二進数、文字コード「情報システム入門」(5回目) ・配列、木構造(ツリー)、グラフ「情報システム入門」(9回目)
	2-7 <ul style="list-style-type: none"> ・文字型、整数型、浮動小数点型「プログラミング基礎」(7回目)「情報システム入門」(9回目) ・変数、代入、四則演算、論理演算「プログラミング基礎」(7回目) ・関数、引数、戻り値「プログラミング基礎」(9回目) ・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「プログラミング基礎」(3, 4, 5, 6, 8, 10, 11回目)
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目)
	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3~9回目)
	2-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3~9回目)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)
	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム「特殊講義(人工知能入門)」(1, 2回目)「AI基礎」(2回目) ・汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI)「特殊講義(人工知能入門)」(1, 2回目)「AI基礎」(3回目) ・フレーム問題、シンボルグラウンディング問題「AI基礎」(7回目) ・人間の知的活動とAI技術(学習、認識、予測・判断、知識・言語、身体・運動)「AI基礎」(7回目) ・AI技術の活用領域の広がり(流通、製造、金融、インフラ、公共、ヘルスケアなど)「AI基礎」(9回目)
	3-2 <ul style="list-style-type: none"> ・AI倫理、AIの社会的受容性「特殊講義(人工知能入門)」(2回目)「AI基礎」(2回目) ・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「AI基礎」(4回目) ・AIに関する原則/ガイドライン「AI基礎」(4回目) ・AIの公平性、AIの信頼性、AIの説明可能性「AI基礎」(4回目)
	3-3 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(5, 7回目) ・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(6回目) ・学習データと検証データ「AI基礎」(6回目)・ホールドアウト法、交差検証法「AI基礎」(6回目) ・過学習、バイアス「AI基礎」(6回目)
	3-4 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)「特殊講義(人工知能入門)」(9, 11~14回目)「AI基礎」(7回目) ・ニューラルネットワークの原理「特殊講義(人工知能入門)」(9, 11~14回目)「AI基礎」(8回目) ・ディープニューラルネットワーク(DNN)「AI基礎」(8回目) ・学習用データと学習済みモデル「AI基礎」(6回目)
	3-9 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの学習と推論、評価、再学習「特殊講義(人工知能入門)」(10~15回目)「AI基礎」(10~15回目) ・AIの社会実装、ビジネス/業務への組み込み「AI基礎」(10~15回目) ・複数のAI技術を活用したシステム(スマートスピーカー、AIアシスタントなど)「AI基礎」(10~15回目)

(3)本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。	I	
	II	<ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3～9回目)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)における、コア学修項目3-5「生成」の内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
<p>「AI基礎」において、生成AIサービスを活用した作品制作ならびにグループ内での相互評価を行い、自身で活用する体験を得ると同時に現在のAIでできることを概観する。さらに、深層学習技術の延長として、画像データの生成(GANや潜在拡散モデルなど)ならびに自然言語文の生成(Transformerなどその発展としての各種大規模言語モデル)の理論と仕組みについての講義を行う。</p>

大学等名	専修大学
プログラム名	SIデータサイエンス教育プログラム(応用基礎レベル)

プログラムを構成する授業科目について

① 申請単位 ② 既認定プログラムとの関係

③ 教育プログラムの修了要件

④ 対象となる学部・学科名称

⑤ 修了要件
 プログラムを構成する科目から以下の要件を満たし、合計8単位を取得すること。
 必須科目:「ビジネス数理基礎A」「情報基礎Ⅱ」の2科目4単位
 選択必修科目:「AI基礎」「情報の科学と技術」から1科目2単位以上かつ
 「データサイエンス活用演習」「データヴィジュアルイゼーション」から1科目2単位以上
 <マーケティング学科>
 必須科目:「ビジネス数理基礎Ⅱ」「情報基礎Ⅱ」の2科目4単位
 選択必修科目:「特殊講義(人工知能入門)」「情報の科学と技術」から1科目2単位以上かつ
 「特殊演習(データ・AI活用)」「データヴィジュアルイゼーション」「モデルとデータ分析B」から1科目2単位以上
 <会計学科>
 必須科目:「ビジネス数理入門」「情報基礎Ⅱ」の2科目4単位
 選択必修科目:「特殊講義(人工知能入門)」「情報の科学と技術」から1科目2単位以上かつ
 「特殊演習(データ・AI活用)」「データヴィジュアルイゼーション」「モデルとデータ分析B」から1科目2単位以上

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

⑥ 応用基礎コア「Ⅰ. データ表現とアルゴリズム」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7	授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7
ビジネス数理基礎Ⅱ	2	○	○										
ビジネス数理入門	2		⊖										
情報基礎Ⅱ	2	○	○	○	○	○							

⑦ 応用基礎コア「Ⅱ. AI・データサイエンス基礎」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	
特殊講義(人工知能入門) AI基礎	2					○	○	○	○	○												
情報の科学と技術	2		○		○	○	○	○	○	○												
特殊演習(データ・AI活用)データサイエンス活用演習	2		○	○	○																	
データヴィジュアルイゼーション	2		○	○	○			○		○												
モデルとデータ分析B	2		⊖	⊖	⊖	⊖		⊖	⊖	⊖												

⑧ 応用基礎コア「Ⅲ. AI・データサイエンス実践」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	授業科目	単位数	必須
特殊演習(データ・AI活用) データサイエンス活用演習	2				
データヴィジュアルイゼーション	2				
モデルとデータ分析B	2				

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・順列、組合せ、集合、ベン図、条件付き確率「ビジネス数理基礎Ⅱ」(15回目)「ビジネス数理入門」(14回目)「ビジネス数理基礎A」(15回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「ビジネス数理基礎Ⅱ」(6,7回目)「ビジネス数理入門」(5,6回目)「ビジネス数理基礎A」(9,10回目)「情報基礎Ⅱ」(2回目) ・相関係数、相関関係と因果関係「情報基礎Ⅱ」(4-3回目)「ビジネス数理基礎Ⅱ」(8回目)「ビジネス数理入門」(7回目)「ビジネス数理基礎A」(11回目) ・ベクトルと行列 <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの演算、ベクトルの和とスカラー倍、内積「情報基礎Ⅱ」(6-7回目) ・行列の演算、行列の和とスカラー倍、行列の積 <ul style="list-style-type: none"> ・逆行列「情報基礎Ⅱ」(6-7回目) ・多項式関数、指数関数、対数関数 <ul style="list-style-type: none"> ・関数の傾きと微分の関係、積分と面積の関係「情報基礎Ⅱ」(6-6回目)「ビジネス数理基礎Ⅱ」(12,14回目)「ビジネス数理入門」(11,13回目)「ビジネス数理基礎A」(13,14回目) ・1変数関数の微分法、積分法「情報基礎Ⅱ」(6-6回目)
	1-7 <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの表現(フローチャート)「情報基礎Ⅱ」(8回目) ・並び替え(ソート)、探索(サーチ)「情報基礎Ⅱ」(4-3,10回目) ・ソートアルゴリズム、バブルソート、選択ソート、挿入ソート「情報基礎Ⅱ」(10回目) ・探索アルゴリズム、リスト探索、木探索「情報基礎Ⅱ」(10回目)
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「情報基礎Ⅱ」(1回目) ・構造化データ、非構造化データ「情報基礎Ⅱ」(1回目) ・情報量の単位(ビット、バイト)、二進数、文字コード「情報基礎Ⅱ」(1回目) ・配列、木構造(ツリー)、グラフ「情報基礎Ⅱ」(10回目)
	2-7 <ul style="list-style-type: none"> ・文字型、整数型、浮動小数点型「情報基礎Ⅱ」(1回目) ・変数、代入、四則演算、論理演算「情報基礎Ⅱ」(78回目) ・関数、引数、戻り値「情報基礎Ⅱ」(9回目) ・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「情報基礎Ⅱ」(8,9回目)
	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「データ可視化」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(4回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(4回目)
	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目)「データ可視化」(2回目)、「モデルとデータ分析B」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目)「データ可視化」(2回目)、「モデルとデータ分析B」(2回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「データ可視化」(5,6回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「データ可視化」(4回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「データ可視化」(3,4回目)、「モデルとデータ分析B」(2回目)
	2-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「データ可視化」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(4回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3~9回目)「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(4回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)

<p>(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。</p>	<p>3-1</p> <ul style="list-style-type: none"> AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム「特殊講義(人工知能入門)」(1, 2回目)「AI基礎」(2回目)「情報の科学と技術」(5, 6回目)、「モデルとデータ分析B」(3回目) 汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI)「特殊講義(人工知能入門)」(1, 2回目)「AI基礎」(3回目)「情報の科学と技術」(6回目)、「モデルとデータ分析B」(1回目) フレーム問題、シンボルグラウンディング問題「情報の科学と技術」(6回目)「AI基礎」(7回目) 人間の知的活動とAI技術(学習、認識、予測・判断、知識・言語、身体・運動)「AI基礎」(7回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(2回目) AI技術の活用領域の広がり(流通、製造、金融、インフラ、公共、ヘルスケアなど)「AI基礎」(9回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(4回目) <p>3-2</p> <ul style="list-style-type: none"> AI倫理、AIの社会的受容性「特殊講義(人工知能入門)」(2回目)「AI基礎」(2回目)「情報の科学と技術」(13回目) プライバシー保護、個人情報の取り扱い「情報の科学と技術」(13回目)「AI基礎」(4回目) AIに関する原則/ガイドライン「情報の科学と技術」(13回目)「AI基礎」(4回目) AIの公平性、AIの信頼性、AIの説明可能性「情報の科学と技術」(12回目)「AI基礎」(4回目) <p>3-3</p> <ul style="list-style-type: none"> 実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(5, 7回目)「情報の科学と技術」(7回目) 機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(6回目)「情報の科学と技術」(7, 8回目)、「データヴィジュアライゼーション」(5, 6, 9~13回目)、「モデルとデータ分析B」(2回目) 学習データと検証データ「AI基礎」(6回目)「情報の科学と技術」(7回目)、「データヴィジュアライゼーション」(10回目)、「モデルとデータ分析B」(5回目) ホールドアウト法、交差検証法「AI基礎」(6回目)「データヴィジュアライゼーション」(10回目) 過学習、バイアス「AI基礎」(6回目)「情報の科学と技術」(7回目)「データヴィジュアライゼーション」(10回目)、「モデルとデータ分析B」(11回目) <p>3-4</p> <ul style="list-style-type: none"> 実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)「特殊講義(人工知能入門)」(9, 11~14回目)「AI基礎」(7回目)「情報の科学と技術」(9, 10, 11回目)、「モデルとデータ分析B」(5回目, 7回目) ニューラルネットワークの原理「特殊講義(人工知能入門)」(9, 11~14回目)「AI基礎」(8回目)「情報の科学と技術」(9回目)、「モデルとデータ分析B」(3回目) ディープニューラルネットワーク(DNN)「AI基礎」(8回目)「情報の科学と技術」(10回目)、「モデルとデータ分析B」(4回目) 学習用データと学習済みモデル「AI基礎」(6回目)「モデルとデータ分析B」(12回目) <p>3-9</p> <ul style="list-style-type: none"> AIの学習と推論、評価、再学習「特殊講義(人工知能入門)」(10~15回目)「AI基礎」(10~15回目)「情報の科学と技術」(12回目)、「データヴィジュアライゼーション」(10回目)、「モデルとデータ分析B」(12回目) AIの開発環境と実行環境「モデルとデータ分析B」(2回目) AIの社会実装、ビジネス/業務への組み込み「情報の科学と技術」(12, 13, 14回目)「AI基礎」(10~15回目) 複数のAI技術を活用したシステム(スマートスピーカー、AIアシスタントなど)「AI基礎」(10~15回目)
<p>(3) 本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。</p>	<p>I</p> <p>II</p> <ul style="list-style-type: none"> データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「データヴィジュアライゼーション」(1回目) データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(1回目) データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(4回目) データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目)「データヴィジュアライゼーション」(2回目)、「モデルとデータ分析B」(2回目) 分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目)「データヴィジュアライゼーション」(2回目)、「モデルとデータ分析B」(2回目) 様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「データヴィジュアライゼーション」(5, 6回目) 様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「データヴィジュアライゼーション」(4回目) データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「データヴィジュアライゼーション」(3, 4回目)、「モデルとデータ分析B」(2回目) ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「データヴィジュアライゼーション」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(1回目) ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3~9回目)「データサイエンス活用演習」(3~9回目)「情報の科学と技術」(1回目)、「モデルとデータ分析B」(4回目) 人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「**数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラム改訂版**」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)における、コア学修項目3-5「生成」の内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容

・「**AI基礎**」において、生成AIサービスを活用した作品制作ならびにグループ内での相互評価を行い、自身で活用する体験を得ると同時に現在のAIでできることを概観う。さらに、深層学習技術の延長として、画像データの生成(GANや潜在拡散モデルなど)ならびに自然言語文の生成(Transformerなどその発展としての各種大規模言語モデル)の理論と仕組みについての講義を行う。

・「情報の科学と技術」においては、文章生成、画像生成、その他の生成AIの利用実習を通じてこの技術の経営や市民生活における活用の可能性を考えさせる。あわせて、同科目内で生成AIの基盤技術(基盤モデル、大規模言語モデル、拡散モデルなど)について学習し、なぜコンテンツを生成できるのかについて学ぶ。また、生成AIのもたらす負の側面(ハルシネーション、有害または偽コンテンツの生成、人間的な生活や社会に与える負の影響などの倫理的・法的課題)についても学ぶ。

大学等名	専修大学
プログラム名	SIデータサイエンス教育プログラム(応用基礎レベル)

プログラムを構成する授業科目について

① 申請単位 ② 既認定プログラムとの関係

③ 教育プログラムの修了要件

④ 対象となる学部・学科名称

⑤ 修了要件
 プログラムを構成する科目から以下の要件を満たし、合計1210単位を取得すること。
 必須科目:
 「情報分析基礎」「特殊講義(人工知能入門)」の2科目4単位「プログラミングと数理」「人工知能入門」の3科目6単位
 選択必修科目:
 「数理リテラシー」「基礎解析」「線形代数」から1科目2単位 かつ
 「基礎演習S」「データ・AI活用演習」から1科目2単位以上
 「プログラミングと数理」「基礎演習S」から1科目2単位以上 かつ
 「応用演習(データサイエンス)」「データサイエンス演習1」「データサイエンス演習2」「特殊演習(データ・AI活用)」から1科目2単位以上
 上記以外のプログラムを構成する科目:
 「数理リテラシー」「基礎解析」「線形代数」「データ解析1」

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

⑥ 応用基礎コア「Ⅰ. データ表現とアルゴリズム」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7	授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7
情報分析基礎	2	○	○										
数理リテラシー	2		○										
基礎解析	2		○										
線形代数	2		○										
データ解析1	2		○										
プログラミングと数理	2	○		○	○	○							
基礎演習S	4			○	○	○							

⑦ 応用基礎コア「Ⅱ. AI・データサイエンス基礎」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	
特殊講義(人工知能入門)人工知能入門	2	○				○	○	○	○	○												
応用演習(データサイエンス)	4		○	○	○																	
データサイエンス演習1	2		○	○	○																	
データサイエンス演習2	2		○	○	○																	
特殊演習(データ・AI活用)データ・AI活用演習	2		○	○	○																	
基礎演習S	4		○	○	○																	

⑧ 応用基礎コア「Ⅲ. AI・データサイエンス実践」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	授業科目	単位数	必須
応用演習(データサイエンス)	4				
データサイエンス演習1	2				
データサイエンス演習2	2				
特殊演習(データ・AI活用) データ・AI活用演習	2				
基礎演習S	4				

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・順列、組合せ、集合、ベン図、条件付き確率「情報分析基礎」(5, 6, 9回目)、「数理リテラシー」(4, 5, 10, 11回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「情報分析基礎」(2, 3回目)、「データ解析1」(9,10回目) ・相関係数、相関関係と因果関係「情報分析基礎」(3, 4回目)、「データ解析1」(11,12回目) ・確率分布、正規分布、独立同一分布「情報分析基礎」(10, 11回目)、「数理リテラシー」(12, 13回目) ・ベクトルと行列「線形代数」(1回目) ・ベクトルの演算、ベクトルの和とスカラー倍、内積「線形代数」(1回目) ・行列の演算、行列の和とスカラー倍、行列の積「線形代数」(1回目) ・逆行列「線形代数」(2,5回目) ・多項式関数、指数関数、対数関数「数理リテラシー」(8, 9回目)、「基礎解析」(1, 2, 3回目) ・1変数関数の微分法、積分法「基礎解析」(4,5,6,7,8回目)
	1-7 <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの表現(フローチャート)「プログラミングと数理」(4, 3, 5, 6回目)、「基礎演習S」(1, 7~14回目) ・並び替え(ソート)、探索(サーチ)「プログラミングと数理」(4, 8, 10, 11, 14回目)、「基礎演習S」(1, 7~14回目)
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「プログラミングと数理」(1, 2, 4, 6, 10~12回目)、「基礎演習S」(1, 2, 9~14回目) ・構造化データ、非構造化データ「基礎演習S」(1, 7~14回目)「プログラミングと数理」(12回目) ・配列、木構造(ツリー)、グラフ「プログラミングと数理」(3, 4, 5, 6, 10, 12回目)、「基礎演習S」(1, 7~14回目)
	2-7 <ul style="list-style-type: none"> ・文字型、整数型、浮動小数点型「プログラミングと数理」(1, 2, 4回目)、「基礎演習S」(1, 7~14回目) ・変数、代入、四則演算、論理演算「プログラミングと数理」(1, 2, 3回目)、「基礎演習S」(1, 7~14回目) ・関数、引数、戻り値「プログラミングと数理」(2, 4, 5, 7, 8回目)、「基礎演習S」(1, 7~14回目) ・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「プログラミングと数理」(1, 2, 3, 4, 5, 6回目)、「基礎演習S」(1, 7~14回目)
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データ・AI活用演習」(1回目)、「基礎演習S」(7回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「応用演習(データサイエンス)」(1~15回目)、「データサイエンス演習1」(1~15回目)、「データサイエンス演習2」(1~15回目)
	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「応用演習(データサイエンス)」(1~15回目)、「データサイエンス演習1」(1~15回目)、「データサイエンス演習2」(1~15回目)「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データ・AI活用演習」(4回目)、「基礎演習S」(7回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「基礎演習S」(6~15回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「基礎演習S」(2~5回目) ・データの収集、加工、分割/統合「基礎演習S」(8~15回目)
	2-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ活用事例「応用演習(データサイエンス)」(1~15回目)、「データサイエンス演習1」(1~15回目)、「データサイエンス演習2」(1~15回目)「特殊演習(データ・AI活用)」(3~9回目)「データ・AI活用演習」(1回目)、「基礎演習S」(7回目)
	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム「特殊講義(人工知能入門)」(1, 2回目)「人工知能入門」(1, 2回目) ・汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI)「特殊講義(人工知能入門)」(1, 2回目)「人工知能入門」(1, 2回目) ・フレーム問題、シンボルグラウンディング問題「人工知能入門」(1, 2回目)
	3-2 <ul style="list-style-type: none"> ・AI倫理、AIの社会的受容性「特殊講義(人工知能入門)」(2回目)「人工知能入門」(2,14回目)
	3-3 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「人工知能入門」(3~8回目) ・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「人工知能入門」(3~8回目)
	3-4 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)「特殊講義(人工知能入門)」(9, 11~14回目)「人工知能入門」(9~14回目) ・ニューラルネットワークの原理「特殊講義(人工知能入門)」(9, 11~14回目)「人工知能入門」(9~14回目) ・ディープニューラルネットワーク(DNN)「人工知能入門」(3,9,10回目)
	3-9 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの学習と推論、評価、再学習「特殊講義(人工知能入門)」(10~15回目)「人工知能入門」(10~15回目) ・AIの開発環境と実行環境「人工知能入門」(10,14回目)

<p>(3)本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。</p>	<p>I</p> <p>II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)、「データ・AI活用演習」(1回目)、「基礎演習S」(7回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「応用演習(データサイエンス)」(1～15回目)、「データサイエンス演習1」(1～15回目)、「データサイエンス演習2」(1～15回目) ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「応用演習(データサイエンス)」(1～15回目)、「データサイエンス演習1」(1～15回目)、「データサイエンス演習2」(1～15回目)「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データ・AI活用演習」(4回目)、「基礎演習S」(7回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「基礎演習S」(6～15回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「基礎演習S」(2～5回目) ・データの収集、加工、分割/統合「基礎演習S」(8～15回目) ・ビッグデータ活用事例「応用演習(データサイエンス)」(1～15回目)、「データサイエンス演習1」(1～15回目)、「データサイエンス演習2」(1～15回目)「特殊演習(データ・AI活用)」(3～9回目)「データ・AI活用演習」(1回目)、「基礎演習S」(7回目)
--	--

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「**数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラム改訂版**」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)における、コア学修項目3-5「生成」の内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
<p>「人工知能入門」において、生成AIサービスを活用した作品制作ならびにグループ内での相互評価を行い、自身で活用する体験を得ると同時に現在のAIでできることを概観する。さらに、深層学習技術の延長として、画像データの生成(GANや潜在拡散モデルなど)ならびに自然言語文の生成(Transformerなどその発展としての各種大規模言語モデル)の理論と仕組みについての講義を行う。</p>

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・順序、組合せ、集合、ベン図、条件付き確率「数理学3a」(7,9,10回目)「数理学C1」(本田7,9,10回目、下川6~8回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「情報入門2」(2回目)「データサイエンス実践」(2回目)「数理学C1」(下川4,5回目) ・相関係数、相関関係と因果関係「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(3回目) ・ベクトルと行列・ベクトルの演算、ベクトルの和とスカラー倍、内積「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(7回目) ・逆行列「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(7回目) ・確率分布、正規分布、独立同一分布「数理学3a」(11~14回目)「数理学C1」(本田11~14回目、下川9~14回目) ・関数の傾きと微分の関係、積分と面積の関係「数理学3a」(3~5回目)「数理学C1」(本田3~5回目)「情報入門2」(5回目)「データサイエンス実践」(6回目) ・1変数関数の微分法、積分法「数理学3a」(4~6回目)「数理学C1」(本田4~6回目)「情報入門2」(5回目)「データサイエンス実践」(6回目)
	1-7 <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの表現(フローチャート)「情報入門2」(9回目)「データサイエンス実践」(8回目) ・並び替え(ソート)、探索(サーチ)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(3,10回目) ・ソートアルゴリズム、バブルソート、選択ソート、挿入ソート「情報入門2」(10回目)「データサイエンス実践」(10回目) ・探索アルゴリズム、リスト探索、木探索「情報入門2」(10回目)「データサイエンス実践」(10回目)
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・構造化データ、非構造化データ「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・情報量の単位(ビット、バイト)、二進数、文字コード「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・配列、木構造(ツリー)、グラフ「情報入門2」(10回目)「データサイエンス実践」(10回目)
	2-7 <ul style="list-style-type: none"> ・文字型、整数型、浮動小数点型「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・変数、代入、四則演算、論理演算「情報入門2」(7回目)「データサイエンス実践」(8回目) ・関数、引数、戻り値「情報入門2」(9回目)「データサイエンス実践」(9回目) ・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「情報入門2」(8,9回目)「データサイエンス実践」(8,9回目)
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目)
	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3~9回目)
	2-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3~9回目)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)
	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム「特殊講義(人工知能入門)」(1,2回目)「AI基礎」(2回目) ・汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI)「特殊講義(人工知能入門)」(1,2回目)「AI基礎」(3回目) ・フレーム問題、シンボルグラウンディング問題「AI基礎」(7回目) ・人間の知的活動とAI技術(学習、認識、予測・判断、知識・言語、身体・運動)「AI基礎」(7回目) ・AI技術の活用領域の広がり(流通、製造、金融、インフラ、公共、ヘルスケアなど)「AI基礎」(9回目)
	3-2 <ul style="list-style-type: none"> ・AI倫理、AIの社会的受容性「特殊講義(人工知能入門)」(2回目)「AI基礎」(2回目) ・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「AI基礎」(4回目) ・AIに関する原則/ガイドライン「AI基礎」(4回目) ・AIの公平性、AIの信頼性、AIの説明可能性「AI基礎」(4回目)
	3-3 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(5,7回目) ・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(6回目) ・学習データと検証データ「AI基礎」(6回目)・ホールドアウト法、交差検証法「AI基礎」(6回目) ・過学習、バイアス「AI基礎」(6回目)
	3-4 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)「特殊講義(人工知能入門)」(9,11~14回目)「AI基礎」(7回目) ・ニューラルネットワークの原理「特殊講義(人工知能入門)」(9,11~14回目)「AI基礎」(8回目) ・ディープニューラルネットワーク(DNN)「AI基礎」(8回目) ・学習用データと学習済みモデル「AI基礎」(6回目)
	3-9 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの学習と推論、評価、再学習「特殊講義(人工知能入門)」(10~15回目)「AI基礎」(10~15回目) ・AIの社会実装、ビジネス/業務への組み込み「AI基礎」(10~15回目) ・複数のAI技術を活用したシステム(スマートスピーカー、AIアシスタントなど)「AI基礎」(10~15回目)

(3)本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。	I	
	II	<ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3～9回目)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)における、コア学修項目3-5「生成」の内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
<p>「AI基礎」において、生成AIサービスを活用した作品制作ならびにグループ内での相互評価を行い、自身で活用する体験を得ると同時に現在のAIでできることを概観する。さらに、深層学習技術の延長として、画像データの生成(GANや潜在拡散モデルなど)ならびに自然言語文の生成(Transformerなどその発展としての各種大規模言語モデル)の理論と仕組みについての講義を行う。</p>

大学等名	専修大学
プログラム名	Siデータサイエンス教育プログラム(応用基礎レベル)

プログラムを構成する授業科目について

① 申請単位 ② 既認定プログラムとの関係

③ 教育プログラムの修了要件

④ 対象となる学部・学科名称

⑤ 修了要件
 <日本語学科>
 「日本語情報処理1」「日本語情報処理2」「特殊講義(人工知能入門)」「特殊演習(データ・AI活用)」「数理科学C1」「データサイエンス実践」「AI基礎」「データサイエンス活用演習」の4科目8単位を取得すること。
 <異文化コミュニケーション学科>
 「データ分析入門」「情報入門2」「特殊講義(人工知能入門)」「特殊演習(データ・AI活用)」「データサイエンス実践」「AI基礎」「データサイエンス活用演習」の4科目8単位を取得すること。

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

⑥ 応用基礎コア「Ⅰ. データ表現とアルゴリズム」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7	授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7
日本語情報処理1	2		○		○	○							
日本語情報処理2	2		○	○	○	○							
数理科学C1	2		○										
データ分析入門	2		○										
情報入門2 データサイエンス実践	2	○	○	○	○	○							

⑦ 応用基礎コア「Ⅱ. AI・データサイエンス基礎」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	
特殊講義(人工知能入門) AI基礎	2	○				○	○	○	○	○												
特殊演習(データ・AI活用) データサイエンス活用演習	2	○	○	○	○																	

⑧ 応用基礎コア「Ⅲ. AI・データサイエンス実践」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	授業科目	単位数	必須
特殊演習(データ・AI活用) データサイエンス活用演習	2	○			

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・順列、組合せ、集合、ベン図、条件付き確率「データ分析入門」(12回目)「数理科学C1」(本田7.9,10回目、下川6~8回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「日本語情報処理1」(11,12回目)「データ分析入門」(7,8回目)「情報入門2」(2回目)「データサイエンス実践」(2回目)「数理科学C1」(下川4,5回目) ・相関係数、相関関係と因果関係「日本語情報処理2」(7回目)「データ分析入門」(10回目)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(3回目) ・確率分布、正規分布、独立同一分布「数理科学C1」(本田11~14回目、下川9~14回目) ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度「データ分析入門」(2回目) ・ベクトルの演算、ベクトルの和とスカラー倍、内積「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(7回目) ・逆行列「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(7回目) ・関数の傾きと微分の関係、積分と面積の関係「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(6回目)「数理科学C1」(本田3~5回目) ・1変数関数の微分法、積分法「情報入門2」(6回目)「データサイエンス実践」(6回目)「数理科学C1」(本田4~6回目)
	1-7 <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの表現(フローチャート)「日本語情報処理2」(3回目)「情報入門2」(8回目)「データサイエンス実践」(8回目) ・並び替え(ソート)、探索(サーチ)「日本語情報処理2」(4回目)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(3,10回目) ・ソートアルゴリズム、バブルソート、選択ソート、挿入ソート「情報入門2」(10回目)「データサイエンス実践」(10回目) ・探索アルゴリズム、リスト探索、木探索「情報入門2」(10回目)「データサイエンス実践」(10回目)
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「日本語情報処理1」(1回目)「日本語情報処理2」(6回目)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・構造化データ、非構造化データ「日本語情報処理1」(6,7回目)「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・情報量の単位(ビット、バイト)、二進数、文字コード「日本語情報処理1」(11,12回目)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・配列、木構造(ツリー)、グラフ「情報入門2」(10回目)「データサイエンス実践」(10回目)
	2-7 <ul style="list-style-type: none"> ・文字型、整数型、浮動小数点型「情報入門2」(1回目)「データサイエンス実践」(1回目) ・変数、代入、四則演算、論理演算「日本語情報処理1」(12回目)「日本語情報処理2」(3回目)「情報入門2」(7回目)「データサイエンス実践」(8回目) ・関数、引数、戻り値「日本語情報処理2」(3回目)「情報入門2」(9回目)「データサイエンス実践」(9回目) ・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「情報入門2」(8,9回目)「データサイエンス実践」(8,9回目)
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目)
	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3~9回目)
	2-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3~9回目)「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3~9回目)
	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム「特殊講義(人工知能入門)」(1,2回目)「AI基礎」(2回目) ・汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI)「特殊講義(人工知能入門)」(1,2回目)「AI基礎」(3回目) ・フレーム問題、シンボルグラウンディング問題「AI基礎」(7回目) ・人間の知的活動とAI技術(学習、認識、予測・判断、知識・言語、身体・運動)「AI基礎」(7回目) ・AI技術の活用領域の広がり(流通、製造、金融、インフラ、公共、ヘルスケアなど)「AI基礎」(9回目)
	3-2 <ul style="list-style-type: none"> ・AI倫理、AIの社会的受容性「特殊講義(人工知能入門)」(2回目)「AI基礎」(2回目) ・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「AI基礎」(4回目) ・AIに関する原則/ガイドライン「AI基礎」(4回目) ・AIの公平性、AIの信頼性、AIの説明可能性「AI基礎」(4回目)
	3-3 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(5,7回目) ・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「特殊講義(人工知能入門)」(3~8回目)「AI基礎」(6回目) ・学習データと検証データ「AI基礎」(6回目)・ホールドアウト法、交差検証法「AI基礎」(6回目) ・過学習、バイアス「AI基礎」(6回目)
	3-4 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)「特殊講義(人工知能入門)」(9,11~14回目)「AI基礎」(7回目) ・ニューラルネットワークの原理「特殊講義(人工知能入門)」(9,11~14回目)「AI基礎」(8回目) ・ディープニューラルネットワーク(DNN)「AI基礎」(8回目) ・学習用データと学習済みモデル「AI基礎」(6回目)
3-9 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの学習と推論、評価、再学習「特殊講義(人工知能入門)」(10~15回目)「AI基礎」(10~15回目) ・AIの社会実装、ビジネス/業務への組み込み「AI基礎」(10~15回目) ・複数のAI技術を活用したシステム(スマートスピーカー、AIアシスタントなど)「AI基礎」(10~15回目) 	

(3)本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。	I	
	II	<ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「特殊演習(データ・AI活用)」(1回目)「データサイエンス活用演習」(1回目) ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データを活用した新しいビジネスモデル「データサイエンス活用演習」(3回目) ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「特殊演習(データ・AI活用)」(2回目)「データサイエンス活用演習」(2回目) ・分析目的の設定「データサイエンス活用演習」(3回目) ・様々なデータ分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・様々なデータ可視化手法(比較、構成、分布、変化など)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ビッグデータ活用事例「特殊演習(データ・AI活用)」(3～9回目)「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目) ・ソーシャルメディアデータ「データサイエンス活用演習」(3～9回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「**数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラム改訂版**」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)における、コア学修項目3-5「生成」の内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
<p>「AI基礎」において、生成AIサービスを活用した作品制作ならびにグループ内での相互評価を行い、自身で活用する体験を得ると同時に現在のAIでできることを概観する。さらに、深層学習技術の延長として、画像データの生成(GANや潜在拡散モデルなど)ならびに自然言語文の生成(Transformerなどその発展としての各種大規模言語モデル)の理論と仕組みについての講義を行う。</p>

シラバス参照

開講年度	2026
科目名	データサイエンス実践
職名/担当教員	商学部 兼任講師 岡戸 順一
期間/曜日/時限	後期 月曜日 1時限
開講区分/校舎	一部生田/生田
配 当	経済・文・人間科学部1234
単 位	2
コースコード	GIN101
授業形態	演習(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解/汎用的技能
その他(初回授業クラスコード)	

講義内容	<p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報処理の基本的な考え方(論理的に処理方法を指示すること)ができるようになる。 ・基礎的なコンピュータへの指示法を記述できるようになる。 ・データ表現(数値、文章、画像、音声、動画)を理解する。 ・アンケート集計など基本的な統計処理を使った課題の解決ができるようになる。 ・微積分の考え方や行列など単純な数式表現を表計算ソフトウェアで表現できるようになる。 ・プログラミングを体験し、アルゴリズムを理解できるようになる。 <p><講義概要></p> <p>データサイエンス入門で修得した内容をさらに発展させる授業である。学修の目標は、基礎的なコンピュータの考え方を修得することと表計算ソフトウェアの計算式の設定を通して、さまざまな概念を理解することである。学生自らコンピュータを使い、成果物を作成する科目である。学修する内容は、データ表現、表計算によるデータ分析、計算式の設定を通して数理概念の理解、プログラミング、アンケート分析である。</p> <p><講義計画></p> <p>(1) データ表現(数値、文章、画像、音声、動画)とテキスト処理:(オンデマンド授業) ビット、バイト、二進数、文字コード、数値データ(整数型、浮動小数点型) 構造化データ・半構造化データ、非構造化データ 画像、音声、動画ファイルの種類と特徴</p> <p>(2) 表計算によるデータ分析 1(家計調査データ): 統計データの取得、集計処理、平均、中央値、分散、標準偏差、データの加工(四則演算処理) データの標準化(Z値、偏差値) データの分布:度数分布表、ヒストグラム、最頻値</p> <p>(3) 表計算によるデータ分析 2: 散布図、相関関係、相関係数行列(散布図行列)、ヒートマップ、相関と因果 データの抽出、並べ替え、順位(Sort関数など)</p> <p>(4) 表計算によるデータ分析 3: 回帰分析・最小二乗法</p> <p>(5) 表計算によるデータ分析 4(Covid-19の感染者数の分析): 時系列データ、時系列グラフ、周期性、移動平均</p> <p>(6) 微積分の考え方と表計算による計算: 1変数の2次関数(多項式関数)の傾き(微分係数)を表計算による計算と確認 1変数の2次関数(多項式関数)の面積(積分値)を表計算による計算と確認</p> <p>(7) 表計算による行列の計算、表計算による金利計算: ベクトル・行列・内積・行列とベクトルの積の考え方(1次式との対比)と表計算での計算方法 推移確率行列とベクトルの積による表計算によるシミュレーション(マルコフ連鎖) 表計算による金利計算:将来価値・現在価値・利率の計算(指数の計算)、年数の計算(対数の計算)</p> <p>(8) プログラミング 1: Google Colaboratory を使ったPythonの学修 逐次的に実行 変数、代入、四則演算・データ表現(整数型、浮動小数点型、文字列型) Inputによる入力 加減乗除、剰余、べき乗の計算</p> <p>(9) プログラミング 2: Pythonのソースコードによるアルゴリズムの表現(インデントの意味) 分岐の表現とそのプログラム 比較演算子、論理演算子 関数、引数、戻り値 for ループによる反復処理 指数・対数関数・n次関数(多項式関数)のグラフ化のための繰り返し計算</p> <p>(10) プログラミング 3: リスト(配列)について リストの並べ替え(バブルソート)のプログラム例とそのアルゴリズム リストのサーチ(線形探索)のプログラム例とそのアルゴリズム</p> <p>(11) アンケート分析 1 データ分析の進め方: データ分析の進め方、仮説検証サイクル、分析目的の設定 様々なデータ分析手法、様々なデータ可視化手法 データの種類(質的変数、量的変数、順序尺度、間隔尺度、比例尺度) 時系列データ データの収集、データの加工、データ型変換処理、統合、データのクレンジング処理</p> <p>(12) アンケート分析 2: 分散・標準偏差、単純集計による比較 ピボットテーブルによるクロス集計</p>
------	--

	<p>(13) アンケート分析 3: 可視化:目的(比較、構成、分布、変化など)に応じた図表化 1~3次元集計データの可視化:棒グラフ、積み上げ棒グラフ、折れ線グラフ、ヒストグラム、時系列グラフ、箱ひげ図、ヒートマップ</p> <p>(14) アンケート分析 4: 自由記述の分析(テキスト分析、形態素解析、共起ネットワーク、階層的クラスタ分析)</p> <p>(15) まとめ</p> <p><授業で実施するアクティブ・ラーニング> ・ 実習</p> <p><課題に対するフィードバック方法> 共通した誤りや優れた分析がある場合、授業中に取り上げて再度説明したり、講評したりする。</p>
教科書・参考書	<p><教科書> 電子版テキスト「データサイエンス実践」(2026年度版) 専修大学情報科学センター http://www.isc.senshu-u.ac.jp/jtext/text2026/</p> <p><参考書> 知のツールボックス(専修大学 出版局) はじめてのAIリテラシー(技術評論社)</p>
成績評価方法・基準	<p>(1)成績評価方法 定期試験:実施しない。</p> <p>(2)成績評価基準・評価の配分等 成績評価は平常点とするので、授業内で提出する課題や随時要求されるレポート提出が重視される。 授業中に課される課題などの平常点 50% レポート 50%</p>
履修上の留意点	<p>この授業は、BYOD(Bring Your Own Device, 各自のPCを教室に持ち込んで学修)形式で実施する。 各自で、推奨スペックのPC(https://www.senshu-u.ac.jp/visitor/for_new_students/)を用意し、 専修大学用のOffice 365 のインストールなど大学からの指定の設定作業 情報科学センター新入生ガイダンスページ: https://www.senshu-u.ac.jp/isc/isc_guidance.html をして授業に参加すること。 推奨スペック以外のPCや必要な設定をしていない場合、教える側は対応できない場合がある。</p> <p>準備学習においては、各回の授業内容に該当する範囲について、教科書などで調べておき、授業での学習に備えること。</p> <p>事後学習においては、教科書や授業ノートを整理し、授業中に学習した練習問題を見直し理解を深め、PC等を使い、授業時間中に指示した課題を作成する。</p> <p>本授業は、第1回はオンデマンド授業、第2回以降は対面授業である。担当教員の判断で、対面授業の場合でもオンラインによる講義を最大2回実施する可能性がある。</p>
担当教員へのアクセス	
その他	文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」の修了要件科目です(2023年度以降入学者)。
更新日付	2026/02/18 16:09

開講年度	2027
科目名	AI基礎
職名/担当教員	ネットワーク情報学部 特任教授 岡田 伊策
期間/曜日/時限	前期 火曜日 1時限
開講区分/校舎	一部生田/生田
配 当	経済・文・人間科学部234
単 位	2
授業形態	講義(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解/知識体系に基づく思考と知の創出

講義内容	<p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> AIがどのような技術から構成されているのか理解し、それを説明できる。(知識・理解:専門分野の基礎的な知識・理解) AIによって何ができるのか、どのような問題点が存在するのか理解し、技術との関連をつけて説明できる。(知識・理解、知識体系に基づく思考と知の創出:論理的思考力) アクティブ・ラーニングとして実施するグループワークを通じて、積極性・貢献意欲・貢献方法を体得する。(態度・志向性:多様な価値観の受け入れ) <p><講義概要></p> <p>本講義では、今日飛躍的に発展し社会的なニーズの高まっている人工知能(AI)技術の概要を理解し実践的な技術の習得を目指す。人工知能分野の技術は、様々な領域に应用され、今後の社会の重要な基盤となることが予測される。本講義では数理・AI・データサイエンス教育のリテラシーレベル(本学では「Siデータサイエンス教育プログラム」の「基礎リテラシーレベル」)を学修した学生を対象に、社会に出た後も実践的にAIを活用できるよう、広い「応用基礎」レベルの修得を目指す。</p> <p>具体的には、以下の2つの大枠で構成する</p> <ol style="list-style-type: none"> AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なもの 「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、「深層学習の基礎と展望」という技術的な基礎知識 <p><講義計画></p> <p>第1回講義(4月7日)(オンデマンド講義)。講義概要説明、Respon登録・提出確認(初回平常点として勘案)</p> <p>第2回 AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム</p> <p>第3回 汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI)</p> <p>第4回 AI倫理、AIの社会的受容性</p> <p>第5回 実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)</p> <p>第6回 機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習</p> <p>第7回 実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)</p> <p>第8回 ニューラルネットワークの原理と応用</p> <p>第9回 生成AIの基礎と展望</p> <p>を受講生の理解度を確認しながら学ぶ。</p> <p>第10回 アクティブ・ラーニング:グループワーク(1):チーム分け、グループワークでの生成AI積極活用ガイダンス、自チーム独自のテーマ選定</p> <p>第11回 アクティブ・ラーニング:グループワーク(2):自チーム独自のテーマに合わせたデータ収集(生成AIの積極活用可)</p> <p>第12回 アクティブ・ラーニング:グループワーク(3):自チーム独自のテーマに合わせて収集したデータの分析(生成AIの積極活用可)</p> <p>第13回 アクティブ・ラーニング:グループワーク(4):自チーム独自のテーマ探求の成果発表作成(生成AIの積極活用可)</p> <p>第14回 アクティブ・ラーニング:グループワーク(5):成果発表①</p> <p>第15回 アクティブ・ラーニング:グループワーク(6):成果発表②</p> <p>成果発表は、グループ単位で成績勘案する。</p> <p>(受講人数、講義進捗、理解状況により、順番やトピックを変更する場合があります)</p> <p><課題等に対するフィードバック方法></p> <p>全体的なフィードバックは、授業内やGoogle Classroom等を用いて行う。</p>
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> 講義資料は、随時Google Classroom等で共有する。 参考資料は、講義進捗や理解度を見ながら、必要に応じて紹介する。 (更に参考) 科学技術情報流通技術基準(SIST:Standards for Information of Science and Technology) https://warp.ndl.go.jp/20220119/20220113214526/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf
成績評価方法・基準	<p>(1)成績評価方法</p> <p>①講義に対する姿勢・意欲などを平常点として、また、各回講義の最後にResponを用いたテスト代替としての課題に対する回答で評価する。(態度・志向性)(知識・理解)</p> <p>②また、次回の講義の予定・計画に合わせて準備/予習/復習、自チームテーマの懸案・課題へ事前準備、毎回のグループワーク後の振り返りと、次回グループワークへの課題整理状況も、成績評価に勘案する。(態度・志向性)</p> <p>③更に、グループワーク時の各自の参加姿勢、積極的貢献度も成績評価する。(知識・理解)(汎用的技能)(知識体系に基づく思考と知の創出)</p> <p>(2)成績評価基準・評価の配分等</p> <p>到達目標1、2の両方について、各講義毎に前述①②③の観点で合計15回評価する。その15回の総点で学期末に総合評価する。</p> <p>特にグループワークを重視し、その評価基準は以下の通り。</p> <p>S:チームでリーダー的役割を担い、ほぼ全ての議論に参加し、チームのアウトプットに多大な貢献を行った</p> <p>A:ほぼ全ての議論に参加し、チームのアウトプットに多大な貢献を行った</p> <p>B:ほぼ全ての議論に参加し、チームのアウトプットに相応の貢献を行った</p> <p>C:議論への参加度合いとチームのアウトプットへの貢献のどちらかに問題があった</p> <p>F:議論にほとんど参加していない、あるいはチームのアウトプットに全く貢献していない</p>
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 全ての授業で、本学推奨のBYOD(自分のWINDOWS-PCのこと)を持参して、学内ネットワークに接続することが必須。タブレットやスマホでの受講は認めない。(突然の故障時は対策・対応を実施) 本学推奨のMicrosoft 365ツールを、持参するBYODに事前にインストールしておくこと。
担当教員へのアクセス	
その他	本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)に必須の科目である。
更新日付	

開講年度	2027
科目名	データサイエンス活用演習
職名/担当教員	ネットワーク情報学部 特任教授 岡田 伊策
期間/曜日/時限	後期 火曜日 1時限
開講区分/校舎	一部生田/生田
配 当	経済・文・人間科学部234
単 位	2
授業形態	演習(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解/知識体系に基づく思考と知の創出/態度・志向性

講義内容	<p><到達目標> 就職に非常に有利な「G検定」(https://www.jdla.org/certificate/general)取得で望まれるような様々な知識(知識・理解:専門分野の基礎的な知識・理解)を修得し、アクティブ・ラーニングを通じて、グループワークを通じて、自ら実践できる力を身につける。(汎用的技能)。(知識体系に基づく思考と知の創出:知識の統合と活用/問題解決力) また、グループワークでは、積極性・貢献意欲・貢献方法も体得する。(態度・志向性:多様な価値観の受け入れ/倫理観と社会的責任)</p> <p><概要> AI・データサイエンスを活用するうえで必要な、実戦的なデータ分析プロジェクトの進め方を、アクティブラーニングとしてグループワークを通じて学ぶ。 【前提知識】 本講義はSIデータサイエンス教育プログラム応用基礎レベルの一部である。 ※数学的な理解は必須ではない。 ・データコミュニケーションの基本的なスキル(考え・方針の言語化、実施結果の説明力)や、「G検定」を自主的に受験する意欲や好奇心を持っている学生の受講が望ましい。</p> <p><講義計画> 第1回講義(オンデマンド講義)講義概要説明、Respon登録・提出確認(初回平常点として勘案)、概論1:、データ駆動型社会、Society 5.0、ビッグデータ活用事例 第2回講義 概論2: データ分析の進め方、仮説検証サイクル 第3回以降は、アクティブ・ラーニングとしてグループワークを進行させながら、適宜、AI/データ活用の勘所について解説や補足を加える。また生成AIの積極的活用についても支援する。 但し、テーマに対する取り組み・解決策については、生成AIを積極活用を促しながらも、各チームの「先進性」「独自性」は特に重視する。 第3回 論文の書き方、転じてプロジェクトの進め方学修、グループワークでの生成AI積極活用ガイダンス(「倫理観と社会的責任」を含む) 第4回 グループ分け グループワーク1回目(自グループの独自テーマ選定)(生成AIの積極活用可) 第5回 グループワーク2回目(データ探索)(自グループの独自テーマに類似した先行研究・論文の探索)(生成AIの積極活用可) 第6回 グループワーク3回目(データ取得)(自グループの独自テーマに適したデータ探索)(生成AIの積極活用可) 第7回 グループワーク4回目(計画発表)(自グループの独自テーマに合わせたプロジェクト計画立案)(生成AIの積極活用可) 第8回 グループワーク5回目(仮説立案)(自グループの独自テーマに合わせた仮説の立案)(生成AIの積極活用可) 第9回 グループワーク6回目(中間発表作成)(自グループの独自テーマの中間発表作成)(生成AIの積極活用可) 第10回 グループワーク7回目(中間発表) 第11回 グループワーク8回目(発表準備)(中間発表への教員や他グループからのフィードバック反映)(生成AIの積極活用可) 第12回 グループワーク9回目(発表準備)(自グループの独自テーマの成果確定)(生成AIの積極活用可) 第13回 グループワーク10回目(発表準備)(自グループの独自テーマの成果発表作成)(生成AIの積極活用可) 第14回 グループワーク11回目(最終発表1回目) 第15回 グループワーク12回目(最終発表2回目)全体講評、まとめ (受講人数、講義進捗、理解状況により、順番やトピックを変更する場合があります)</p> <p><実施するアクティブ・ラーニング> ・グループワーク:本講義は、前期の岡田の「AI基礎」を受講した学生が受講すると想定されるので、「データ活用」「AI活用」の実戦力を磨くグループワーク中心とする。グループワークは就職活動でも非常に重要視されるので、その能力を高める狙いもある。 <予習・復習・課題> ・各グループ独自の調査・まとめを進めるにあたって、事前準備・事後作業を、講師が指示、または各グループが独自に実施することがある。</p> <p><各種コミュニケーション方法> ・講義のコミュニケーションは、Google Classroomを用いて行う。</p>
教科書・参考書	<p>・講義資料は、随時Google Classroom等で共有する。 ・参考資料は、講義進捗や理解度を見ながら、必要に応じて紹介する。 ・(更に参考)科学技術情報流通技術基準(SIST:Standards for Information of Science and Technology) https://warp.ndl.go.jp/20220119/20220113214526/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf</p>
成績評価方法・基準	<p>(1)成績評価方法 ①講義に対する姿勢・意欲などを平常点として、また、各回講義の最後にResponを用いたテスト代替としての課題に対する回答で評価する。(態度・志向性)(知識・理解) ②また、次回の講義の予定・計画に合わせて準備/予習/復習、自チームテーマの懸案・課題へ事前準備、毎回のグループワーク後の振り返りと、次回グループワークへの課題整理状況も、成績評価に勘案する。(態度・志向性) ③更に、グループワーク時の各自の参加姿勢、積極的貢献度も成績評価する。(知識・理解)(汎用的技能)(知識体系に基づく思考と知の創出)</p> <p>(2)成績評価基準・評価の配分等 到達目標1,2の両方について、各講義毎に前述①②③の観点で合計15回評価する。その15回の総点で学期末に総合評価する。 特にグループワークを重視し、その評価基準は以下の通り。 S:チームでリーダー的役割を担い、ほぼ全ての議論に参加し、チームのアウトプットに多大な貢献を行った A:ほぼ全ての議論に参加し、チームのアウトプットに多大な貢献を行った B:ほぼ全ての議論に参加し、チームのアウトプットに相応の貢献を行った C:議論への参加度合いとチームのアウトプットへの貢献のどちらかに問題があった F:議論にほとんど参加していない、あるいはチームのアウトプットに全く貢献していない</p>
履修上の留意点	<p>1. 全ての授業で、本学推奨のBYOD(自分のWINDOWS-PCのこと)を持参して、学内ネットワークに接続することが必須。タブレットやスマホでの受講は認めない。(突然の故障時は対策・対応を実施) 2. 本学推奨のMicrosoft 365ツールを、持参するBYODに事前にインストールしておくこと。</p>
担当教員へのアクセス	
その他	<p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)に必須の科目である。</p>
更新日付	

シラバス参照

開講年度	2026
科目名	ビジネス数理基礎A
職名／担当教員	商学部 教授 岡田 穰
期間／曜日／時限	前期 金曜日 2時限
開講区分／校舎	一部神田／神田
配 当	マーケ学科1234
単 位	2
コースコード	POI114
授業形態	講義(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解／汎用的技能
その他(初回授業クラスコード)	gdsymw6x

講義内容	<p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> データの代表値を求めたり、グラフ化などで可視化し、理解できるようになること。 金利計算や現在価値など指数や対数を扱えるようになること。 <p><講義概要></p> <p>社会科学を学習する上で、必要な基礎的な数理的思考を学習する。数式を使って、社会科学系現象を表現したり、表現されたものを理解する。また、データを収集して、グラフなどを使い分析する。他の専門科目、教養科目と同様に多少高校等の学習と重複はあるが、数値や論理思考による社会の科学的な分析の基礎を学習する。</p> <p><講義計画></p> <p>(1)【オンデマンド形式】数学とビジネス数理との区別ー社会科学と数理的思考ー</p> <p>データの可視化とグラフ表現</p> <p>(2) データの表現とグラフ化: 様々なグラフと難ありのグラフ (3) データの表現とグラフ化: 複合グラフとバレット分析</p> <p>記述統計とデータの特徴量</p> <p>(4) データの分布: 度数分布, ヒストグラム (5) グラフの傾向の解釈(分布の形状、代表値との関係) (6) 代表値: 平均値, 中央値, 最頻値, 調整平均, 四分位 (7) 加重平均や比率の平均値 (8) 時系列データと折れ線グラフ, 移動平均 (9) データの散らばり: 分散, 標準偏差</p> <p>データの関係と回帰分析</p> <p>(10) データの比較: クロス集計表, シンプソンのパラドックス (11) 散布図と相関係数, 因果関係(疑似相関) (12) 回帰分析による予測, 最小二乗法, 単回帰分析と重回帰分析</p> <p>指数・対数と金利計算</p> <p>(13) 指数・対数の計算 (14) 金利計算(複利計算)</p> <p>確率を含めたデータ分析の準備</p> <p>(15) 順列, 組合せ, 集合, ベン図, 条件付き確率</p> <p><課題に対するフィードバックの方法></p> <p>問題演習等については次回授業時に解説等を行う。</p>
教科書・参考書	『ビジネス数理基礎 第二版』(ムイスリ出版) 第1章～第5章
成績評価方法・基準	<p>(1) 試験・テストについて 定期試験を実施 ただし、履修者数によっては、15回目の授業時に、「定期試験規程準用試験」を実施する場合があります。変更する場合には授業の際にお知らせします。</p> <p>(2) 試験以外の評価方法 授業中に授業内容の理解の度合いを把握するための課題を課す。 またコンピュータを使った演習などのレポートを課すことがある。</p> <p>(3) 成績の配分 定期試験50%, レポート, 課題, 平常点50%を基本とするが、若干の変更がある場合もあるので注意すること。</p>

履修上の留意点	<p>√計算ができる電卓あるいは同様の電卓機能を有する機器を各自で準備するよう指示する場合がある。 担当教員の判断で、対面授業の場合でもオンラインによる講義を最大3回実施する可能性がある。 第1回の授業はオンデマンド形式とする。</p> <p>準備学習(予習)・事後学習(復習)として、以下の学習内容を達成すべく授業外において実施すること。 準備学習においては、教科書のうち各回の授業内容に該当する範囲を読み、授業での学習に備える。 事後学習においては、授業でノートしたことを整理し、授業中が学習した練習問題を見直し、理解を深める。</p>
担当教員へのアクセス	
その他	
更新日付	2026/02/16 15:42

開講年度	2027
科目名	人工知能入門
職名/担当教員	ネットワーク情報学部 准教授 沼 晃介
期間/曜日/時限	前期 金曜日 6時限
開講区分/校舎	一部生田/生田
配 当	ネット学科234
単 位	2
授業形態	講義(オンライン)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解/知識体系に基づく思考と知の創出

講義内容	<p><到達目標> (1) AIがどのような技術から構成されているのか理解し、それを説明できる。(知識・理解) (2) AIによって何ができているのか、どのような問題点が存在するのか理解し、技術との関連をつけて説明できる。(知識・理解、知識体系に基づく思考と知の創出)</p> <p><講義概要> 本講義では、今日飛躍的に発展し社会的なニーズの高まっている人工知能技術の概要を理解し実践的な技術の習得を目指す。人工知能分野の技術は、様々な領域に应用され、今後の社会の重要な基盤となることが予測される。特に現在、コンピュータが経験したことを学習し、概念の階層を通じて理解する機械学習の方式である深層学習(ディープラーニング)や、応用技術として生成AIが注目されている。人工知能の技術そのものは専門性が高いが、しかし一方で、すべてを自らプログラミングしなくとも、実用に耐えるソフトウェアライブラリ(フレームワーク)を利用できるようになりつつある。本講義では、人工知能の諸技術を、応用や目的を軸に整理し概説する。</p> <p><講義計画> 1. イントロダクション:AIを知る(オンデマンド型授業) 2. AIの歴史(1):第1次、第2次人工知能ブーム 3. AIの歴史(2):第3次人工知能ブーム:その社会的インパクト 4. 人工知能の応用1:画像を扱う 5. 人工知能の応用2:ことばを扱う 6. 人工知能の応用3:ウェブと人工知能 7. 人間の知識をどう表現するか 8. オススメの情報を見つける 9. 深層学習(1):概論 10. 人工知能をつくる:数学やプログラミングとの関係 11. 深層学習(2):画像処理 CNN 12. 深層学習と生成AI(1): データの生成 GAN、潜在拡散モデル 13. 深層学習と生成AI(2):自然言語処理 RNN、Transformer、LLM 14. 演習:AIを使ってみる 15. 全体のまとめと演習 ※計画は受講者の理解など状況に応じて多少の変更が発生する可能性があるが、その場合には授業内で指示する。</p> <p><課題等に対するフィードバック方法> 毎回の授業内で課す小課題から代表的なものをピックアップして授業内で紹介する。</p>
教科書・参考書	<p>教科書は指定しない。以下を参考書とする。 J. P. Mueller, L. Massaron 著, 沼晃介, 吉田享子 訳 『ミューラーPythonで学ぶ深層学習』(2023年、東京化学同人)</p>
成績評価方法・基準	<p>(1)成績評価方法 以下に基づき平常点により評価する。 ・毎回の授業で個人課題を課す。 ・学期の終盤に演習課題を課す。 ・学期末にレポートを課す。 すべての課題を総合して到達目標(1)および(2)の達成度を評価する。</p> <p>(2)成績評価基準・評価の配分等 ・授業内課題 50% 毎回の授業で課す個人課題への取組状況を評価する。 ・演習 20% 学期の終盤に課す演習の成果を評価する。 ・レポート 30% 期末に個人に課すテストから総合的に学習を評価する。 授業内課題、演習、レポートには到達目標(1)(2)に対応する問題を設定しそれぞれについて評価を行なう。各到達目標に対して特に優れている場合をS、優れている場合をA、到達目標をじゅうぶんを超える場合をB、到達目標を最低限満たす場合をC、到達目標に達しない場合をFとする。いずれかがFとなる場合には単位を認めない。</p>
履修上の留意点	<p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育のモデルカリキュラム(応用基礎レベル)に必須の科目である。</p> <p><授業時間外の予習・復習・課題> 毎回の授業で個人課題を課すため、授業時間外に予習・復習をしておくことが望ましい(2時間程度) また学期の終盤の演習においては必要な作業を授業時間外に行うことが求められる(5時間程度)</p>
担当教員へのアクセス	
その他	
更新日付	

シラバス参照

開講年度	2026
科目名	基礎演習S
職名/担当教員	ネットワーク情報学部 教授 松永 賢次 / ネットワーク情報学部 准教授 安藤 映 / ネットワーク情報学部 准教授 生亀 清貴 / ネットワーク情報学部 講師 重中 秀介 / ネットワーク情報学部 兼任講師 田中 健太
期間/曜日/時限	前期 月曜日 4時限 前期 月曜日 5時限
開講区分/校舎	一部生田/生田
配 当	ネット学科234(Sコース2)
単 位	4
コースコード	STS216
授業形態	演習(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識体系に基づく思考と知の創出/態度・志向性
その他(初回授業クラスコード)	6apfq4mv

講義内容	<p><到達目標> (1) 統計学の基本的な概念を理解し、データに対して適用できる。(知識体系に基づく思考と知の創出) (2) 1年次の「入門プログラミング」「プログラミングと数理」「情報分析基礎」「情報分析演習」で学習した内容を発展させ、コンピュータでデータ・情報を取り扱う際の論理的・数理的思考能力、数量的スキル、科学的思考法の基礎を身につけ、実践できる。(知識体系に基づく思考と知の創出) (3) ソフトウェアを使って、目的に合った情報をデータから効率よく抽出できる。(知識体系に基づく思考と知の創出) (4) 関連する情報技術や分析手法の知識・技能を適切に活用して思考し、分析した事柄をまとめ、分かりやすく自らの言葉で説明できる。(知識体系に基づく思考と知の創出) (5) データ分析をする人が持つべき倫理観と社会的責任について自覚し、説明できる。(態度・志向性)</p> <p><講義概要> コンピューターの処理速度や記憶装置の能力向上に伴い、IoT(Internet of Things)や「ビッグデータ」といった分野に対する関心が急速に高まっている。一方で、こうしたハードウェアの技術進歩に対応して大量のデータ・情報を取り扱うことができる能力が今日の情報社会では求められている。大量のデータ・情報はそのままでは単なる数字・文字の羅列であり、何の役にも立たない。使いこなすには、仮説の立案から始まり、データの収集、前処理、ソフトウェアへのデータ入力、データの可視化、ソフトウェアでの計算、結果の解釈といった一連の流れを身につける必要がある。この講義ではこうした一連の流れを複数のテーマに対して体験することで、コンピュータでデータ・情報を取り扱う際の論理的・数理的思考能力、数量的スキル、科学的思考法の基礎を身につける。なお、R言語などのプログラミングやアプリケーションソフトウェアを用いるが、講義の目的はそれらの利用方法を学ぶことだけでなく、適切に活用して大量のデータ・情報を取り扱うことができる能力を身につけることにある。授業中に、数人からなるグループを編成し、グループによる「関連する情報技術や分析手法の知識・技能を適切に活用して思考し、分析した事柄をまとめ、分かりやすく自らの言葉で説明する」アクティブ・ラーニングを実施する。</p> <p><講義計画> 1. 授業の実施方法に関するガイダンス、R言語の基礎(データの型、データの表現、データ処理のための関数、データ処理の記述、分析の手順とアルゴリズム、正規表現)、データの記述(1)～記述統計、グラフによる可視化【対面授業】 2. データの記述(2)～実データによる実習 3. データの分析の基礎～母集団と標本・大数の法則と中心極限定理 4. データの分析(1)～統計的仮説検定 5. データの分析(2)～回帰分析 6. データの分析(3)～実データによる実習 7. 社会におけるデータ活用とその事例、データ分析の進め方と仮説検証サイクル、データ分析者としての倫理・社会的責任 8. Web上のデータ取得とテキストデータの分析(1)～XPathとスクレイピング、正規表現によるテキスト処理 9. Web上のデータ取得とテキストデータの分析(2)～形態素解析、Word Cloudと共起性 10. Web上のデータ取得(3)～実習 11. 機械学習の基礎(1)～重回帰分析と過学習、正則化による過学習対策 12. 機械学習の基礎(2)～教師あり学習手法、フレームワークによる実行 13. オープンデータを利用した総合演習(1)～分析プロセスの実施 14. オープンデータを利用した総合演習(2)～評価と改善 15. オープンデータを利用した総合演習(3)～グループ間での成果報告、これまでのまとめと振り返り(順番を入れ替えることがある)</p> <p><授業で実施するアクティブ・ラーニング> ディスカッション、実習</p> <p><課題に対するフィードバックの方法> Google classroom等を用いて提出物を添削するか、点数を各人に示すなどの方法によりフィードバックを行う。</p>
教科書・参考書	<p>教科書: 馬場 真哉「R言語ではじめるプログラミングとデータ分析」ソシム。 また、講義ノート(スライド)・動画・配布プリントを適宜使用する。</p> <p>参考書・参考資料等: 石田基広「Rによるテキストマイニング入門(第2版)」森北出版。 石田基広、市川大祐、瓜生真也、湯谷啓明「Rによるスクレイピング入門」シーアンドアール研究。 松村 優哉、湯谷 啓明、紀ノ定 保礼「改訂2版 RユーザのためのRStudio[実践]入門～tidyverseによるモダンな分析フローの世界」技術評論社。 金城俊哉「現場ですぐに使える! 最新R言語プログラミング逆引き大全323の極意」秀和システム。 松村 優哉、瓜生 真也、吉村 広志「Rユーザのためのtidymodels[実践]入門～モダンな統計・機械学習モデリングの世界」技術評論社。</p>

	また、これら以外にも授業で適宜示すことがある。
成績評価方法・基準	<p>(1)成績評価方法 到達目標(1)～(5)のいずれも、課題レポートによって評価する。 到達目標(1)は、主として講義計画1～7, 11～15で評価する。 到達目標(2), (3), (4)は、講義計画1～15で評価する。 到達目標(5)は、主として講義計画7, 15で評価する。</p> <p>演習科目という性質上、合格のための前提条件を設ける。 ・提出を必須とする課題レポートすべてが提出され、そのすべてで最低基準に達していること。 ・毎回の授業前に課される予習、毎回の授業内に課される課題と、グループ学習活動に取り組んでいること。 また、「春休み課題への取り組み結果が、受講するレベルに達していないと判断したとき」、「課題レポートに対して不正行為を行ったと判断したとき」には、不合格とする。</p> <p>(2)成績評価基準・評価の配分等 授業1～2回程度をユニットとして、課題レポートを以下の基準で評価する。 S: Aに加えて、チャレンジレベルの問題に対しても期待される目標に達している。 A: Cに加えて、標準レベルの問題のほぼすべてが、期待される目標に達している。 B: Cに加えて、標準レベルの問題の半数以上が、期待される目標に達している。 C: ミニマムレベルの問題に対して、期待される目標に達している。 F: ミニマムレベルの問題に対しても、期待される目標に達していない。</p> <p>ユニット毎の評価を授業のボリュームに比例して、100点満点で集計した結果を最終評価とする。 なお、基礎的な内容を取り扱う講義計画5までの評価に、複数のFがあった場合は不合格とし、以降の講義への参加を認めないことがある。</p>
履修上の留意点	<p>・履修に際しての留意事項…課題は、授業内(あるいは授業日)に提出するものと、週次で(次回授業開始時まで)にレポートとして提出するものを予定している。以下に留意して履修すること。 1) すべての授業に出席することが原則である。 2) すべての提出課題を提出することが必要である。</p> <p>・他の授業科目との関連…高等学校の数学I、場合の数と確率(数学A)、数列(数学B)、ベクトル(数学C)の理解を前提とする。春期課題で復習の機会を設けるので、不十分な人や学んでいない人はこの機会にきちんと復習するように。また、「入門プログラミング」「情報分析基礎」「情報分析演習」の履修を前提として講義を進める。なお、講義では若干の推測統計に関する知識を用いることから、「データ解析1」と併せて履修することを強く勧める。</p> <p><授業時間外の予習・復習・課題> R言語や分析手法に関して事前に学習する内容を指示するので、予習をすること。(毎回1時間程度) 原則的に毎回週次課題が出題され、翌週の授業開始時まで提出が求められる。(毎回5時間程度)</p>
担当教員へのアクセス	共同運営で複数教員が担当する。講義時間中に自分のクラスの担当教員へのアクセス方法を確認すること。
その他	【主要授業科目】
更新日付	2026/03/17 10:39

開講年度	2027
科目名	データ・AI活用演習
職名/担当教員	ネットワーク情報学部 兼任講師 田中 健太
期間/曜日/時限	後期 火曜日 6時限
開講区分/校舎	一部生田/生田
配 当	ネット学科234
単 位	2
授業形態	演習(オンライン)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解/知識体系に基づく思考と知の創出/態度・志向性

講義内容	<p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会におけるデータ活用の動向や事例を学び、データ駆動型社会、Society 5.0について理解し、説明できる(知識・理解) 2. データ分析プロジェクトの全体像と作業内容について理解し、具体的な手法をツールを用いて実行できる(知識体系に基づく思考と知の創出) 3. クラウドやAIを用いたデータ活用の方法や事例を学び、実習を通じて概要を理解し、説明できる(知識・理解) 4. 実社会のデータを用いた小規模なデータ分析プロジェクトを体験することで、実践的なスキルを身に着ける(知識体系に基づく思考と知の創出) 5. AIをデータ分析やレポート作成に活用する方法について学んだ上で、社会的責任と倫理に関する様々な注意点を理解し、適切に活用できる(態度と志向性) <p><講義概要></p> <p>AI・データサイエンスを活用するうえで必要な、データ分析プロジェクトの全体的な流れと、具体的な作業内容について、実習を通じて学びます。特に、実社会のデータを適切に加工、利用するためのデータエンジニアリングの領域と生成AIの活用について重点的に紹介します。ExcelやGoogleスプレッドシートなどのツールを用いて実際にデータ分析・データエンジニアリングのスキルを身につけます。言語に関する前提知識がある場合は、Python、Rを用いても構いません。</p> <p>■前提知識</p> <p>本講義はSIデータサイエンス教育プログラム応用基礎レベルの一部です。履修にあたっては、同プログラム基礎/レジャーレベルの知識・スキルを有していることを前提としています。具体的には、以下のような事柄は履修時点で実践できるものと想定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excelの基本的な操作(関数の利用、グラフ作成、ピボットテーブルによる集計) ・データ分析の基本的な概念の理解(平均、標準偏差、相関、線形回帰など) ※数学的な理解は必須ではありません ・データコミュニケーションの基本的なスキル(分析方針の言語化、分析結果の説明、科学的なレポートの執筆に関するスキル) <p>講義内でも上記について振り返りとして説明しますが、前提を満たしていないと考えられる提出物については、評価が著しく低くなることもあります。</p> <p><講義計画></p> <ol style="list-style-type: none"> 第1回: データ駆動型社会とSociety 5.0 第2回: 生成AIの概要と利用方法 第3回: 生成AIのためのプロンプトエンジニアリング 第4回: データサイエンスプロジェクトの全体像 第5回: データの収集と観察 第6回: データ分析の手法(統計学的アプローチ) 第7回: データ分析の手法(機械学習的アプローチ) 第8回: 分析結果を報告するための技法 第9回: データ分析にクラウドと生成AIを活用する 第10回: データエンジニアリング(データの抽出・整形) 第11回: データエンジニアリング(量的データの変換) 第12回: データエンジニアリング(質的データの変換) 第13回: データエンジニアリング(欠損値・外れ値・異常値の処理) 第14回: データエンジニアリング(特徴量エンジニアリング) 第15回: 最終課題(出題と評価基準の説明) <p>(都合により、順番やトピックを変更する場合があります)</p> <p><授業で実施するアクティブ・ラーニング></p> <p>実習(プログラミング)</p> <p><授業時間外の予習・復習・課題></p> <p>授業内で、各回のテーマに関連する課題を指示します(作業時間1~2時間程度)。教員が指示した締切までにGoogle Classroom等で提出してください。また、予習・復習として、講義で紹介するトピックに関する情報収集(Web検索、ドキュメント閲覧、生成AIとの対話)をすると良いでしょう。</p> <p><課題に対するフィードバックの方法></p> <p>課題の解答・解説など全体的なフィードバックは、授業内やGoogle Classroom等を用いて行います。個別にフィードバックが必要な場合はdirect(チャットツール)等で行います。</p> <p><実務経験></p> <p>教員は、ITベンダー傘下の人材育成企業で社会人教育に従事し、その後マーケティングリサーチ企業のデータアナリストとして、さまざまなデータを分析する実務経験を有している。現在も、独立して人材育成サービスを軸としつつ、データ分析やプログラム開発にも従事しており、トレンドを踏まえた実践的な講義を行っている。</p>
教科書・参考書	<p>講義資料は、随時Google Classroom等で共有します。</p> <p>以下は、参考書ですので、購入は必須ではありません。前提知識に不安がある、または講義のトピックについてさらに理解を深めたい方は通読してください。多くの書籍が図書館に収蔵されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栗原伸一, 2021, 入門 統計学(第2版): 検定から多変量解析・実験計画法・ベイズ統計学まで, オーム社 2. 日花弘子, 2019, Excelで学ぶ統計解析本格的入門: 仕事で使える統計学を確実にマスター! SBクリエイティブ社 3. 河本薫, 2013, 会社を変える分析の力, 講談社現代新書 4. あんちべ, 2015, データ解析の実務プロセス入門, 森北出版 5. 河村真一, 日置孝一, 野寺綾, 2016, 本物のデータ分析力が身に付く本, 日経BP社 6. 本橋洋介, 2018, 人工知能システムのプロジェクトがわかる本 企画・開発から運用・保守まで, 翔泳社 7. 有賀友紀, 大橋俊介, 2021, RとPythonで学ぶ[実践的]データサイエンス&機械学習【増補改訂版】, 技術評論社 8. 本橋智光, 橋本秀太郎, 2024, 改訂新版 前処理大全~SQL/pandas/Polars実践テクニック, 技術評論社
成績評価方法・基準	<p>(1) 成績評価方法</p> <p>平常点で評価します。各回でデータ分析課題や講義内容に関するレポートを出題し、100点満点で採点します。成績は、各回の課題の提出状況、提出物のレベルを元に評価します。対面授業での出席と同様、4回以上の未提出で不合格となります。</p> <p>(2) 成績評価基準・評価の配分等</p> <p>提出物について、以下の観点で評価します。</p> <p>到達目標1, 3については、データ加工・分析を行う課題や講義内容に関するレポートを出題して評価します。評価は、課題の意図を理解し、要求を満たす成果物(分析結果やレポート)を作成できたか、という観点で行います。</p> <p>S: 意図を理解し、要求通りの成果物を作成した、A: 意図を理解し、要求とおおむね一致する成果物を作成した、B: 意図をおおむね理解し、要求の半分程度を満たす成果物を作成した、C: 意図の一部を理解し、要求を一部満たす成果物を作成した、F: 意図を理解できておらず、要求を満たす成果物を作成できていない</p> <p>到達目標2, 4については、各回の課題と最終課題を元に評価します。評価は、講義で学んだ内容を踏まえた適切なデータ加工、分析を行ったか、分析結果を適切に報告するレポートが作成できたかという観点で行います。</p> <p>S: 課題の意図を正確に理解し、適切な手法をすべて活用して極めて高度なアウトプットを実現した、A: 課題の意図を概ね理解し、適切な手法を複数活用して高度なアウトプットを実現した、B: 課題の意図をある程度理解し、適切な手法を1つ以上活用して平均的なレベルのアウトプットを実現した、C: 課題の意図を十分に理解せず、手法の選択も妥当ではなく、平均を下回るレベルのアウトプットを実現した、F: 課題の意図をまったく理解できておらず、求められる前提知識も身に付いていない、極めてレベルの低いアウトプットにとどまった</p>

	<p>到達目標5については、「生成AIを利用すること」と指示した回の課題を元に評価します。評価は、課題に取り組み際に適切に生成AIを利用し情報を整理できたか、レポート作成時に生成AIを利用し内容の改善(ブラッシュアップ)ができたかという観点で行います。その際、評価のために課題と合わせて生成AIにおける会話(チャット)のログを提出することを求めます。</p> <p>S: 課題の意図を正確に理解し、生成AIに適切なプロンプトを入力して主体的にコントロールし、高度な対話を重ねて極めて質の高いアウトプットを作成した、A: 課題の意図を概ね理解し、生成AIに適切なプロンプトを入力してある程度対話を重ね、高度なアウトプットを実現した、B: 課題の意図をある程度理解し、生成AIとの対話を通じて平均的なレベルのアウトプットを実現した、C: 課題の意図を十分に理解せず、生成AIに入力したプロンプトに冗長さや誤解が含まれるために対話の質が低く、平均を下回るレベルのアウトプットを実現した、F: 課題の意図をまったく理解できておらず、丸投げや極端に短い対話など生成AIの活用ができていないため、極めてレベルの低いアウトプットにとどまった</p> <p>到達目標1、3の評価を34%、到達目標2、4の評価を33%、到達目標5の評価を33%として科目全体の成績を計算します。</p>
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. すべての動画を視聴することが原則です。 2. すべての課題を提出する必要があります。 3. 授業内でデータ分析に関わるソフトウェア操作を行いますので、PCでの受講が必須です。OSは問いません。 <p>講義で使用するツール、環境については、講義内で別途指示します。</p>
担当教員へのアクセス	<p>direct (チャットツール) で質問等を受け付けます。他学部の方は、ネットワーク情報学部教務課を通じてご連絡ください。</p>
その他	<p>・本講義はSIデータサイエンス教育プログラム応用基礎レベルの修了要件の一部です。</p>
更新日付	

シラバス参照

開講年度	2026
科目名	数理科学C1
職名／担当教員	商学部 教授 本田 竜広
期間／曜日／時限	前期 月曜日 3時限
開講区分／校舎	一部生田／生田
配 当	生田全学部1234
単 位	2
コースコード	MAT101
授業形態	講義(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解／汎用的技能
その他(初回授業クラスコード)	n3uoi6by

講義内容	<p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関数について説明できるようになります。 ● 微分・積分の概念を理解・説明できるようになります。 ● 確率について理解・説明できるようになります。 ● 離散型確率分布における確率等を理解・説明できるようになります。 ● 連続型確率分布における確率等を理解・説明できるようになります。 <p><講義概要></p> <p>本学に入学する学生には、様々な履修歴があり、もしかしたら、指数・対数を学んでも忘れてたかもしれない。ここでは、まずこれらを紹介し、ネイピア数eの存在を知ってもらおう。ネイピア数eは、円周率πに似ていて、数学では欠かせない数です。そして、確率について学ぶ。</p> <p><講義計画></p> <p>(1)ガイダンス、数の話 講義内容、成績の評価方法等の説明 「平均値」という数値に惑わされていませんか？ [予習] 入学前のお数学的内容について理解を深めておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(2)関数の話 1個80円のリンゴを買うときの代金を求めるんです [予習] 関連箇所を調べておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(3)指数・対数の話 「ネイピアの数」って知ってる？ [予習] 関連箇所を調べておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(4)微分の話 「微」って「100万分の1」の単位なんですよ [予習] 関連箇所を調べておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(5)積分の話 積み重ねて分析するのかな？ [予習] 関連箇所を調べておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(6)微分積分の話 「微分積分学の基本定理」って、凄いネーミング！ [予習] 関連箇所を調べておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(7)確率の定義の話 宝くじの当たる確率は「当たる」「外れる」だから1/2かな？ [予習] テキストの関連箇所を熟読しておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(8)中間まとめ</p> <p>(9)確率の性質の話(I) サイコロを転がしてみよう [予習] テキストの関連箇所を熟読しておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(10)確率の性質の話(II) 専修大学の女子学生は何%？では、ある専修大学の女子学生が商学部に所属している確率は？ [予習] テキストの関連箇所を熟読しておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(11)離散型確率分布の話(I) サイコロの目に分数は無いねえ。 [予習] テキストの関連箇所を熟読しておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(12)離散型確率分布の話(II) 数学者ベルヌーイさんはサイコロを何回も投げたんだってさ。 [予習] テキストの関連箇所を熟読しておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p> <p>(13)連続型確率分布の話(I) 回転している的に投げる「ダーツの旅」は連続型なのですよ。 [予習] テキストの関連箇所を熟読しておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む</p>
------	---

	<p>(14)連続型確率分布の話(II) 正規分布が連続型の基本だよ [予習] テキストの関連箇所を熟読しておく [復習] 授業内容をノートに要約し、課題があれば取り組む (15)授業内テストおよび総括</p> <p><授業で実施するアクティブ・ラーニング> ・演習</p> <p><課題に対するフィードバックの方法> ・完全解答できるまでコメント・返却し、完答できてから提出・受理 ただし、提出されたレポートは、成績のエビデンスとなり返却しませんので、ご了承ください</p>
教科書・参考書	<p>テキスト 「基礎からの数理統計・データ分析入門」(ISBN:978-4-7806-1341-4) 本田竜広 著、学術図書出版(株)</p> <p>参考 「基礎からの微分積分学入門」(ISBN: 978-4-7806-1194-6) 西原賢・本田竜広・山盛厚伺 著、学術図書出版(株)</p>
成績評価方法・基準	<p>(1)成績評価方法 ・授業内テストを実施します。 ・授業期間内にレポートの提出を課します。</p> <p>(2)成績評価基準・評価の配分目安等 ・授業内テストは、到達目標に対応して、講義内容に関する知識・理解・思考・判断を測る問題を出題します。評価に際しては、答案の構成および論理性を重視します。 ・レポートは、到達目標に対応して、講義内容に関し、自らの思考・理解を向上するように課します。 ・上記のほか、到達目標に対応して受講姿勢などを加味し、総合的に判断して評価します。</p> <p>授業内テスト70%、レポート20%、受講姿勢等10%</p>
履修上の留意点	<p>簡単なところからコツコツと積極的に取り組んで、わからないところをそのままにしないようにしましょう。思考・考察・理解力は、学び続けると向上してきます。「継続だけが力」なのです。頑張ってください。</p>
担当教員へのアクセス	<p>研究室: 生田9号館6階9617研究室 (来室する際は、アポを取って教員室受付へ来て下さい) メールアドレス: honda@isc.senshu-u.ac.jp</p>
その他	
更新日付	2026/01/23 21:27

シラバス参照

開講年度	2026
科目名	数理科学C1
職名／担当教員	経営学部 兼任講師 下川 朝有
期間／曜日／時限	前期 火曜日 1時限
開講区分／校舎	一部神田／神田
配 当	神田全学部1234
単 位	2
コースコード	MAT101
授業形態	講義(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解／汎用的技能
その他(初回授業クラスコード)	zft5ufzt

講義内容	<p><到達目標> (1)与えられたデータから平均や分散など基本的な統計量を算出できるようになる。さらに、これらの数値から分布の中心や広がりイメージが把握できるようになる。 (2)連続型確率分布での確率の考え方を理解し確率を求められるようになる。</p> <p><講義概要> 本講義の目的は、統計的手法の基礎概念と基本的手法の理解です。統計の理論は数学に裏付けられていますが、本講義では数学の難しい理論には立ち入りません。 それでは、具体的に統計的手法とは何か。小さな集団ならば構成員の性質を調べるのは容易です。しかし、例えば日本国民全員を調査しようとなると時間的にも経費的にも大変な事になります。そこで、大きな集団の構成員の性質を調べる時にはどうすべきなのか。この問題を解決するための方法が統計的手法です。この手法によって、<大きな集団の一部分を調べることから集団全体の性質がどの程度精密に推測できるか>を導く事ができます。このような方法をどんな場合にどのように使うかを理解することが本講義の目的です。</p> <p>講義は以下を予定しています。集団から取り出したデータの性質を数値化したりグラフ化して明確にする記述統計と呼ばれるものがあります。この記述統計の基礎を学んだ後に、集団から取り出した比較的少数のデータの数値から元の集団についての性質や情報を導く推測統計の基礎を学んでいきます。</p> <p>予習・復習は、各回の講義内容に対応する教科書の箇所を参考にすること。課題など講義の前後に特に必要な事項などは明記する。</p> <p><卒業認定・学位授与の方針との関連> 「知識・理解」「技能・表現」</p> <p><講義計画> (1)ガイダンス(オンデマンド型授業) 概要:講義の進め方、成績評価方法を説明 復習:総和記号を使った表記の意味を理解する。</p> <p>(2)基本概念の定義 概要:母集団、標本、およびこれらを使った統計的方法を理解する。</p> <p>(3)標本データの記述 概要:変数、度数分布の定義と例からそれらの理解を深める。</p> <p>(4)分布の算術的記述 概要:平均、分散、標準偏差、モード、メディアン定義と意味を理解する。</p> <p>(5)平均、分散、標準偏差の性質 概要:平均と標準偏差の間に成り立つ関係式を証明する。 復習:データから様々な統計量を求める問題を課題として出す。</p> <p>(6)確率(1) 概要:標本空間、事象、複合事象を定義する。さらに実例で理解を深める。</p> <p>(7)確率(2) 概要:加法定理、乗法定理を説明し証明する。さらに実例で理解を深める。</p> <p>(8)順列、組合せ、階乗 概要:高校までで履修した順列、組合せ、階乗の定義や表記法の確認。特に大学では異なる記号を用いるものは注意する。</p> <p>(9)確率分布(1) 概要:確率変数、離散型確率分布の平均・分散の定義とその実例</p> <p>(10)確率分布(2) 概要:離散型の確率分布で分散と平均の関係を計算し証明する。</p> <p>(11)連続型変数の分布 概要:連続型確率分布の定義や確率の考え方を理解する。</p> <p>(12)連続型変数の分布の演習 概要:連続型確率分布で確率を求められるようになる。</p>
------	---

	<p>(13)2項分布 概要:2項分布の確率分布表や平均や標準偏差を求められるようになる。</p> <p>(14)問題演習 概要:2項分布などの基本的な離散型変数の確率分布の表作成および平均,分散の値を求めることができるようになる。</p> <p>(15)最終課題 <アクティブ・ラーニングの要素> d. グループワーク <課題に対するフィードバックの方法> 課題に関しては授業内で解説する。 テストに関する質問はメール等に対応する。</p>
教科書・参考書	<p><参考書> P.G.ホーエル著, 浅井, 村上訳 『初等統計学』 培風館</p>
成績評価方法・基準	<p>(1)成績評価方法 ・15回目の授業時に、定期試験規程を準用した形での授業内テストを実施する予定です。変更する場合には、授業の際にお知らせします。 ・毎講義ごとに簡単な課題を課します。</p> <p>(2)成績評価基準・評価の配分等 ・前期試験は、上記講義内容に関する知識・理解・思考・判断を測る問題を出題します。評価に際しては、答案の論理性を重視します。 ・前期試験30%、課題70%</p>
履修上の留意点	<p>中学までに習う順列・組合せの理解と基本的計算力は必要です。特に、自分がやっている事を正確に表現する記号操作ができる事(自分のやりたい計算を数式で正確に表せる事)が必要です。</p>
担当教員へのアクセス	<p>thz3308@senshu-u.jp shimokawa@rs.tus.ac.jp</p>
その他	
更新日付	2026/01/23 15:23

経済学部

学修ガイドブック

2026

令和8年度

専修大学

※ この「学修ガイドブック」は卒業まで使用しますので、大切に保管してください。

8. 科目一覧 (令和8年度入学者用)

経済学部現代経済学科 社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業要件単位	備考
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なる場合は、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 ・S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成(履修)することができます。
	データサイエンス入門					
	データサイエンス実践	IA1基礎				
		データサイエンス活用演習				
	キャリア入門					
	キャリアマッチング					
	キャリア長期体験(プロジェクト型)					
		キャリア科目1				
		キャリア科目2				
		グローバルスタディ(1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ(3)	グローバルスタディ(4)	
S i応用科目		分野横断科目				
		S iゼミナール1(4)	S iゼミナール2(4)	S iゼミナール3(4)		
教養科目	日本の文化	歴史と地域・民衆	論理学入門			<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されず、履修することになります。 ・アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンストスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修することになります(修得単位の上限はありません)。
	日本の文学	歴史と社会・文化	ことば論理			
	世界の文学	基礎心理学入門	芸術学入門			
	文学と現代世界	応用心理学入門	異文化理解の人類学			
	英語圏文学への招待	哲学	ジャーナリズムと現代			
	歴史の視点	倫理学				
	日本国憲法	社会学入門	はじめての経営			
	法社会学	現代の社会学	マーケティングベーシックス			
	政治学入門	教育学入門	企業と会計			
	政府の世界	子どもと社会の教育学				
地理学の招待	情報社会					
自然科学系科目	あなたと自然科学					
	自然科学実験演習1	生物学C1	化学A1	物理学B1	数理学C1	
自然科学実験演習2(4)	生物学C2	化学A2	物理学B2	数理学C2		
生物学A1	宇宙地球科学A1	化学B1	数理学A1	科学論A1		
生物学A2	宇宙地球科学A2	化学B2	数理学A2	科学論A2		
生物学B1	宇宙地球科学B1	物理学A1	数理学B1	科学論B1		
生物学B2	宇宙地球科学B2	物理学A2	数理学B2	科学論B2		
保健体育系科目	スポーツリテラシー(1)					
	スポーツウェルネス(1)					
		アドバンストスポーツ	スポーツ論(サスティナブルスポーツ)			
		スポーツ論(ウェルビーイング)	スポーツ論(ハイパフォーマンススポーツ)			
英語	A	Basics of English (RL) 1a (1)				<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されず、履修することになります。 ・General English は、英語「A・B・D群」の単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・2年次で英語「D群(General English含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎の中級1a・b」(※2)から、どちらか一方で2単位を履修しなければなりません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b, Advanced Cultures a・b, English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 ・Advanced English a, English Presentation a, English Language and Cultures a, English Writing a, English Language and Cultures b, English Writing b
	群	Intermediate English (RL) 1a (1)				
		Intermediate English (RL) 1b (1)				
	B	Basics of English (SW) 1a (1)				
	群	Basics of English (SW) 1b (1)				
		Intermediate English (SW) 1a (1)				
		Intermediate English (SW) 1b (1)				
		Basics of English (SW) 2a (1)				
		Basics of English (SW) 2b (1)				
		Intermediate English (SW) 2a (1)				
	Intermediate English (SW) 2b (1)					
	English Speaking a (1)	Computer Aided Instruction a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1)			
	English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)			
外国語科目	ドイツ語初級1a	(1)				<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されず、履修することになります。 ・【初級1a・b、初級2a・b】1年次で英語以外の外国語「導入」から同一言語の初級1a・bと初級2a・bを履修しなければなりません。 ・同一言語の科目をすべて(4科目4単位)履修している場合、他の言語を履修することはできません。 ・【中級1a・b】同一言語の中級1a・bを履修しなければなりません。 ・卒業要件単位として履修する場合、英語以外の外国語「導入」の科目と同一言語を履修しなければなりません。 ・各科目は、同一年度に1単位、年度を超えてさらに1単位履修することができます。合計2単位まで修得することができます。 ・2年次で英語「D群(General English含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎の中級1a・b」(※2)から、どちらか一方で2単位を履修しなければなりません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目は、同一年度に1単位、年度を超えてさらに1単位履修することができます。合計2単位まで修得することができます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・選択1a・bを履修する場合には、同一言語の選択1a・bをセットで履修してください。 ・「導入」と選択1a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 ・海外語学短期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なる場合は、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。
	ドイツ語初級1b	(1)				
	ドイツ語初級2a	(1)				
	ドイツ語初級2b	(1)				
	フランス語初級1a	(1)				
	フランス語初級1b	(1)				
	フランス語初級2a	(1)				
	フランス語初級2b	(1)				
	中国語初級1a	(1)				
	中国語初級1b	(1)				
中国語初級2a	(1)					
中国語初級2b	(1)					
スペイン語初級1a	(1)					
スペイン語初級1b	(1)					
スペイン語初級2a	(1)					
スペイン語初級2b	(1)					
ロシア語初級1a	(1)					
ロシア語初級1b	(1)					
ロシア語初級2a	(1)					
ロシア語初級2b	(1)					
インドネシア語初級1a	(1)					
インドネシア語初級1b	(1)					
インドネシア語初級2a	(1)					
インドネシア語初級2b	(1)					
コリア語初級1a	(1)					
コリア語初級1b	(1)					
コリア語初級2a	(1)					
コリア語初級2b	(1)					
英語以外の外国語	ドイツ語中級1a	(1)	中国語中級1a (1)	ロシア語中級1a (1)	コリア語中級1a (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次で英語「D群(General English含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎の中級1a・b」(※2)から、どちらか一方で2単位を履修しなければなりません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目は、同一年度に1単位、年度を超えてさらに1単位履修することができます。合計2単位まで修得することができます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・選択1a・bを履修する場合には、同一言語の選択1a・bをセットで履修してください。 ・「導入」と選択1a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 ・海外語学短期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なる場合は、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。
	ドイツ語中級1b	(1)	中国語中級1b (1)	ロシア語中級1b (1)	コリア語中級1b (1)	
	フランス語中級1a	(1)	スペイン語中級1a (1)	インドネシア語中級1a (1)		
	フランス語中級1b	(1)	スペイン語中級1b (1)	インドネシア語中級1b (1)		
	ドイツ語中級2a	(1)	中国語中級2a (1)	ロシア語中級2a (1)	コリア語中級2a (1)	
	ドイツ語中級2b	(1)	中国語中級2b (1)	ロシア語中級2b (1)	コリア語中級2b (1)	
	フランス語中級2a	(1)	スペイン語中級2a (1)	インドネシア語中級2a (1)		
	フランス語中級2b	(1)	スペイン語中級2b (1)	インドネシア語中級2b (1)		
	ドイツ語上級1a	(1)		ロシア語上級1a (1)		
	ドイツ語上級1b	(1)		ロシア語上級1b (1)		
フランス語上級1a	(1)		インドネシア語上級1a (1)			
フランス語上級1b	(1)		インドネシア語上級1b (1)			
中国語上級1a	(1)		コリア語上級1a (1)			
中国語上級1b	(1)		コリア語上級1b (1)			
スペイン語上級1a	(1)					
スペイン語上級1b	(1)					
選択ドイツ語1a	(1)	選択スペイン語1a (1)	選択イタリア語1a (1)			
選択ドイツ語1b	(1)	選択スペイン語1b (1)	選択イタリア語1b (1)			
選択フランス語1a	(1)	選択コリア語1a (1)				
選択フランス語1b	(1)	選択コリア語1b (1)				
選択中国語1a	(1)	選択アラビア語1a (1)				
選択中国語1b	(1)	選択アラビア語1b (1)				
世界の言語と文化(ドイツ語)		世界の言語と文化(中国語)	世界の言語と文化(ロシア語)	世界の言語と文化(コリア語)		
世界の言語と文化(フランス語)		世界の言語と文化(スペイン語)	世界の言語と文化(インドネシア語)	世界の言語と文化(アメリカ)		
言語文化研究(ヨーロッパ)		言語文化研究(アジア)	言語文化研究(アメリカ)			
海外語学短期研修1(外国語)	海外語学短期研修2(外国語)					
海外語学短期研修1(外国語)	海外語学中期研修1(外国語)	海外語学中期研修4(外国語)	海外語学中期研修7(外国語)			
海外語学短期研修2(外国語)	海外語学中期研修2(外国語)	海外語学中期研修5(外国語)	海外語学中期研修8(外国語)			
海外語学短期研修3(外国語)	海外語学中期研修3(外国語)	海外語学中期研修6(外国語)				
単位互換科目	単位互換1	単位互換2(4)	単位互換3(1)			

経済学部現代経済学科 専門科目一覧

※ 科目の後ろの()内の数字は単位数を示す。記載のない科目は2単位。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考	
専門科目	導入科目	経済基礎演習			8	10	・経済基礎演習は、2年次以降履修することができません。
	基礎科目	現代経済基礎 経済学入門 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門				2	・原則、1年次で履修してください。 ・2年次以降も履修することができます。
		経済数学基礎 統計学基礎	ミクロ経済学1 ミクロ経済学2 マクロ経済学1 マクロ経済学2 統計学1 統計学2			8	・原則、2年次で履修してください。 ・3年次以降も履修することができます。
	基幹科目		ゲーム理論1 ゲーム理論2 経済数学1 経済数学2	近代経済学史1 近代経済学史2		2	・基幹科目からは、「理論系」「実証・現状分析系」に設定された各卒業要件単位を充足したうえで、16単位以上修得しなければなりません。 ・原則、2・3年次で履修してください。 ・4年次以降も履修することができます。
			日本経済論1 日本経済論2 経済政策1 経済政策2 財政学1 財政学2 金融論1 金融論2 企業経済学1 企業経済学2	産業組織論1 産業組織論2 国際経済論1 国際経済論2 日本経済史1 日本経済史2 西洋経済史1 西洋経済史2		8	
						2	
	発展科目			中級ミクロ経済学1 中級ミクロ経済学2 中級マクロ経済学1 中級マクロ経済学2 計量経済学1 計量経済学2 経済統計論1 経済統計論2	進化経済学の理論と応用1 進化経済学の理論と応用2 経済成長論1 経済成長論2 国際マクロ経済学1 国際マクロ経済学2	2	・発展科目からは、「理論系」「実証・現状分析系」に設定された各卒業要件単位を充足したうえで、22単位以上修得しなければなりません。 ・応用経済分析は、16単位まで修得することができます。
				公共経済学1 公共経済学2 地方財政論1 地方財政論2 地域経済論1 地域経済論2 金融政策1 金融政策2 企業とイノベーション 産業政策論 労働経済学1 労働経済学2 中堅企業論 ベンチャー企業論	企業金融論 ファイナンス論 情報経済論1 情報経済論2 応用経済分析 環境経済論1 環境経済論2 社会保障論1 社会保障論2 貿易論 多国企業論 国際金融論 経営の国際比較	8	4年次で専門科目を8単位以上修得しなければなりません。
	応用科目		ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール研究論文1 学外特別研修(4) 社会教養特別講座	ゼミナール3 ゼミナール4 ゼミナール研究論文2 特殊講義 寄付講座 外国経済事情(英語) 外国経済事情(ドイツ語)	ゼミナール5 ゼミナール6 ゼミナール研究論文3 特殊講義(1) 寄付講座(1) 外国経済事情(フランス語)		・ゼミナール研究論文は、ゼミナールと同一教員のものをセットで履修しなければなりません。 ・寄付講座は、6単位まで修得することができます。 ・特殊講義は、8単位まで修得することができます。 ・外国経済事情は、それぞれの言語で、8単位まで修得することができます。
関連科目			経済地理1 経済地理2 都市経済論1 都市経済論2 生活経済論1 生活経済論2 労使関係論1 労使関係論2 財政社会学1 財政社会学2 経済史の見方 アジア経済史1 アジア経済史2 地域と経済史 都市と経済史 環境と経済史 福祉と経済史 生活と経済史 現代資本主義論1 現代資本主義論2 進化経済学1 進化経済学2	金融システム論1 金融システム論2 世界経済論1 世界経済論2 経済学史1 経済学史2 地域通貨論 現代市民社会論 社会思想1 社会思想2 社会科学論1 社会科学論2 世界経済史1 世界経済史2 アメリカの経済 ヨーロッパの経済1 ヨーロッパの経済2 アジアの経済1 アジアの経済2 ロシアの経済 経済社会と女性	20		
		簿記原理1 簿記原理2	会計学1 会計学2				
		日本史1 日本史2 外国史1 外国史2 人文地理学概論1 人文地理学概論2 自然地理学概論1 自然地理学概論2	地理学1 地理学2 地誌学1 地誌学2 法律学1 法律学2 宗教学1 宗教学2 倫理学1 倫理学2				・日本史・外国史・人文地理学概論・自然地理学概論は、2年次以降履修することができません。 ・地理学・地誌学・法律学・宗教学・倫理学は、3年次以降履修することができません。
自由選択修得要件単位					28		

※4年次で専門科目を8単位以上修得しなければなりません。3年次終了までに専門科目の卒業要件単位(76単位)を満たしている場合でも同様です。

※導入科目、基礎科目、基幹科目、発展科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、応用科目・関連科目の卒業要件単位に算入されます。

※応用科目・関連科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。

経済学部生活環境経済学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考	
社会知性基盤科目	S i 基礎科目	専修大学入門ゼミナール データサイエンス入門 データサイエンス実践 A 1 基礎 データサイエンス活用演習	キャリア入門 キャリアマッチング キャリア長期体験(プロジェクト型)	キャリア科目1 キャリア科目2	グローバルスタディ (1) グローバルスタディ (3) グローバルスタディ (4)	卒業要件単位	修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での履修修得も可)。 ・S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成(履修)することができます。
	S i 応用科目		分野横断科目 S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4) S iゼミナール3 (4)			
	人文科学基礎科目	日本の文化	歴史と地域・民衆	論理学入門	S iゼミナール論文		卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンストスポーツは、スポーツテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンストスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修自らかから履修修得することができます(修得単位の上限はありません)。
		世界の文化	歴史と社会・文化	ことばと論理			
		文学と現代世界	基礎心理学入門	芸術学入門			
	社会科学基礎科目	英語圏文学への招待	現代心理学入門	異文化理解の人類学			
		政治学入門	現代の社会学	ジャーナリズムと現代			
	自然科学系科目	政治学への招待	社会学入門	はじめての経営			
		地理学への招待	現代の社会学	マーケティングベーシック			
		あなたと自然科学	社会学入門	企業と会計			
保健体育系科目	自然科学実験演習1	社会学入門					
	自然科学実験演習2 (4)	社会学入門					
英語	生物科学A 1	宇宙地球科学A 1	化学A 1	物理学B 1	数理科学C 1		
	生物科学A 2	宇宙地球科学A 2	化学A 2	物理学B 2	数理科学C 2		
	生物科学B 1	宇宙地球科学B 1	化学B 1	物理学A 1	科学論A 1		
	生物科学B 2	宇宙地球科学B 2	化学B 2	物理学A 2	科学論A 2		
	スポーツテラシー (1)	スポーツウェルネス (1)	アドバンストスポーツ	スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)			
	英語A 群	Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)	スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サスティナブルスポーツ)		卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・General Englishは、英語「A・B・D群」の単位を修得できなかった場合に履修する科目です。	
	英語B 群	Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)					
	英語D 群	Basics of English (SW) 2a (1) Basics of English (SW) 2b (1) または Intermediate English (SW) 2a (1) Intermediate English (SW) 2b (1)				2年次で英語「D群 (General English含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎の中級1 a・b」(※2)から、どちらか一方で2単位を修得しなければなりません。	
	英語E 群	General English (1)					
	英語F 群	English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)		修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b, Advanced English a・b, English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。	
外国語科目	導入	ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1) 中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1) ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1) コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)	Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b		卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・1年次で英語以外の外国語「導入」から同一言語の初級1 a・bと初級2 a・bを履修しなければなりません。 ・同一言語の科目をすべて(4科目4単位)履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 【中級1 a・b】 ・同一言語の中級1 a・bを履修しなければなりません。 ・卒業要件単位として履修する場合、英語以外の外国語「導入」の科目と同一言語を履修しなければなりません。 ・各科目は、同一年度に1単位、年度を超えてさらに1単位履修することができます。合計2単位まで修得することができます。	
	基礎	ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) 中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) インドネシア語中級1 a (1) インドネシア語中級1 b (1) コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1)	ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1) インドネシア語中級2 a (1) インドネシア語中級2 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)				2年次で英語「D群 (General English含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎の中級1 a・b」(※2)から、どちらか一方で2単位を履修しなければなりません。
	応用	ドイツ語上級1 a (1) ドイツ語上級1 b (1) フランス語上級1 a (1) フランス語上級1 b (1) 中国語上級1 a (1) 中国語上級1 b (1) スペイン語上級1 a (1) スペイン語上級1 b (1)				修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。	
	選択	選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1)	選択スペイン語1 a (1) 選択スペイン語1 b (1) 選択ロシア語1 a (1) 選択ロシア語1 b (1) 選択コリア語1 a (1) 選択コリア語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)		修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・選択1 a・bを履修する場合には、同一言語の選択1 a・bをセットで履修してください。 ・「導入」と選択1 a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することができます。	
	世界の言語と文化 (ドイツ語)	世界の言語と文化 (中国語)	世界の言語と文化 (ロシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)		修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。	
	世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (インドネシア語)			
	言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)			
	海外語学研修	海外語学短期研修1 (外国語)	海外語学短期研修2 (外国語)			修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した後に、毎学期1回、春期留学プログラムを修了した後に短期研修に認定されます。 ・海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。	
	単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)		修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での履修修得も可)。	

経済学部生活環境経済学科 専門科目一覧

※科目の後ろの()内の数字は単位数を示す。記載のない科目は2単位。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考			
専 門 科 目	導入科目	経済データ入門演習 経済へのアプローチ 生活環境と経済 日本経済のあゆみ 世界経済のあゆみ 経済学のあゆみ 人間と経済			4 6	10	・経済データ入門演習は、2年次以降履修することができません。 ・原則、1年次で履修してください。 ・2年次以降も履修することができます。		
	基礎科目		社会と経済の理論1 社会と経済の理論2 日本経済の論点 世界経済の論点 現代の社会政策 現代の労働問題 企業と銀行 財政と税制 ミクロ経済学基礎 マクロ経済学基礎			12	・原則、2年次で履修してください。 ・3年次以降も履修することができます。		
	基幹科目		経済地理1 経済地理2 環境経済論1 環境経済論2 都市経済論1 都市経済論2 農業経済論1 農業経済論2 社会運動論1 社会運動論2 社会保障論1 社会保障論2 生活経済論1 生活経済論2 労使関係論1 労使関係論2 経済とジェンダー1 経済とジェンダー2	アジア経済史1 アジア経済史2 地域と経済史 都市と経済史 環境と経済史 福祉と経済史 生活と経済史 経済発展論1 経済発展論2 現代資本主義論1 現代資本主義論2 進化経済学1 進化経済学2 金融システム論1 金融システム論2 世界経済論1 世界経済論2 現代社会と統計1 現代社会と統計2			4 4	・原則、2・3年次で履修してください。 ・4年次以降も履修することができます。	
	発展科目		近代経済学史1 近代経済学史2 経済学史1 経済学史2 マネー論 地域通貨論 地方財政論 現代市民社会論 社会思想1 社会思想2	社会科学論1 社会科学論2 健康社会論 流通論 世界経済史1 世界経済史2 憲法1 憲法2 民法1 民法2	商法1 商法2 労働法1 労働法2 経済法1 経済法2 行政学1 行政学2		4		
	応用科目		ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール研究論文1 学外特別研修(4)	ゼミナール3 ゼミナール4 ゼミナール研究論文2	ゼミナール5 ゼミナール6 ゼミナール研究論文3 特殊講義 寄付講座 特殊講義(1) 寄付講座(1)		54	・ゼミナール研究論文は、ゼミナールと同一教員のものセットで履修しなければなりません。 ・寄付講座は、6単位まで修得することができます。 ・特殊講義は、8単位まで修得することができます。 ・外国経済事情は、それぞれの言語で、8単位まで修得することができます。	
	関連科目		簿記原理1 簿記原理2	会計学1 会計学2 ゲーム理論1 ゲーム理論2 日本経済論1 日本経済論2 経済政策1 経済政策2 財政学1 財政学2 金融論1 金融論2 企業経済学1 企業経済学2 産業組織論1 産業組織論2 国際経済論1 国際経済論2 計量経済学1 計量経済学2 経済統計論1 経済統計論2 進化経済学の理論と応用1 進化経済学の理論と応用2 経済成長論1 経済成長論2 公共経済学1 公共経済学2	地域経済論1 地域経済論2 金融政策1 金融政策2 企業とイノベーション 産業政策論 労働経済学1 労働経済学2 中堅企業論 ベンチャー企業論 企業金融論 ファイナンス論 情報経済論1 情報経済論2 応用経済分析 発展途上国経済論 アメリカの経済 ヨーロッパの経済1 ヨーロッパの経済2 アジアの経済1 アジアの経済2 労使関係の国際比較 資源・エネルギー論 経済人類学			4	・日本史、外国史、人文地理学概論、自然地理学概論は、2年次以降履修することができません。 ・地理学、地誌学、法律学、宗教学、倫理学は、3年次以降履修することができません。
	自由選択修得要件単位					28			

※4年次で専門科目を8単位以上修得しなければなりません。3年次終了までに専門科目の卒業要件単位(76単位)を満たしている場合でも同様です。

※導入科目、基礎科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、基幹科目・発展科目・応用科目・関連科目の卒業要件単位に算入されます。

※基幹科目・発展科目・応用科目・関連科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。

経済学部国際経済学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考			
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール					<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位の修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成（履修）することができます。 			
	データ分析入門								
	データサイエンス入門								
	データサイエンス実務								
		A I基礎							
		データサイエンス活用演習							
	キャリア入門								
	キャリアマッチング								
	キャリア長期体験（プロジェクト型）								
		キャリア科目1							
	キャリア科目2								
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)					
S i応用科目		分野横断科目							
	S iゼミナール1 (4)		S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)					
				S iゼミナール論文					
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 アドバンススポーツは、スポーツアドバンススポーツとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 アドバンススポーツの履修は、前期1科目を上限とし、次学期以降も履修目にかかわらず履修することができます（修得単位の上限はありません）。 			
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 地理学への招待	社会学入門 現代の社会学 教育学入門 子どもと社会の教育学 情報社会	はじめての経営 マーケティングベーシック 企業と会計					
	自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習1 自然科学実験演習2 (4)	生物学C 1 生物学C 2 宇宙地球科学A 1 宇宙地球科学A 2 宇宙地球科学B 1 宇宙地球科学B 2	化学A 1 化学A 2 化学B 1 化学B 2 物理学A 1 物理学A 2	物理学B 1 物理学B 2 数理科学A 1 数理科学A 2 数理科学B 1 数理科学B 2		数理科学C 1 数理科学C 2 科学論A 1 科学論A 2 科学論B 1 科学論B 2		
	保健体育系科目	スポーツセラシー (1) スポーツウェルネス (1)					2		
			アドバンススポーツ スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サステナブルスポーツ) スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)					
	英語	A群	Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)					<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 General Englishは、英語「A・B・C・D群」の単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 2年次で英語「C・D群 (General English含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎」(※2)から、どちらか一方で4単位を修得しなければなりません。 	
		B群	Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)						
		C群	Basics of English (RL) 2a (1) Basics of English (RL) 2b (1) または Intermediate English (RL) 2a (1) Intermediate English (RL) 2b (1)						0 または 4 ※1
		D群	Basics of English (SW) 2a (1) Basics of English (SW) 2b (1) または Intermediate English (SW) 2a (1) Intermediate English (SW) 2b (1)						
			General English (1)						
		English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)					
			Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b					
外国語科目		導入	ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1) 中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1) ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1) コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)				4		
		基礎	ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1) 中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1)				0 または 4 ※2		
		応用	ドイツ語上級1 a (1) ドイツ語上級1 b (1) フランス語上級1 a (1) フランス語上級1 b (1) 中国語上級1 a (1) 中国語上級1 b (1) スペイン語上級1 a (1) スペイン語上級1 b (1)						
		選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1) 選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1)	選択スペイン語1 a (1) 選択スペイン語1 b (1) 選択ロシア語1 a (1) 選択ロシア語1 b (1) 選択インドネシア語1 a (1) 選択インドネシア語1 b (1) 選択コリア語1 a (1) 選択コリア語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)					
		世界の言語と文化 (ドイツ語) 世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (中国語) 世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (ロシア語) 世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)				
		言語文化研究 (ヨーロッパ)		言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)				
	海外語学研修	海外語学短期修1 (外国語)	海外語学短期修2 (外国語)						
		海外語学中期修1 (外国語) 海外語学中期修2 (外国語) 海外語学中期修3 (外国語)	海外語学中期修4 (外国語) 海外語学中期修5 (外国語) 海外語学中期修6 (外国語)	海外語学中期修7 (外国語) 海外語学中期修8 (外国語)					
	単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)					

経済学部国際経済学科 専門科目一覧

※科目の後ろの()内の数字は単位数を示す。記載のない科目は2単位。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考		
専 門 科 目	基礎科目 必修	国際経済入門1 国際経済入門2 現代経済入門1 現代経済入門2	国際経済論1 国際経済論2			12		
			経済原論基礎 ミクロ経済学基礎 マクロ経済学基礎 Microeconomics	経済原論		6	・原則、配当年次で履修してください。配当年次を超えて履修することができます。	
	基本科目	国際経済とデータ分析	世界経済史1 世界経済史2	国際関係論1 国際関係論2			8	・国際経済とデータ分析は、2年次以降履修することができます。 ・国際経済とデータ分析以外の科目は、原則、配当年次で履修してください。配当年次を超えて履修することができます。
				貿易論 多国籍企業論 国際金融論	国際マクロ経済学1 国際マクロ経済学2 国際労働経済論 発展途上国経済論		8	
	地域研究 選択必修		国際経済と地域	アメリカの経済 ヨーロッパの経済1 ヨーロッパの経済2 アジアの経済1 アジアの経済2	ラテンアメリカの経済 中東の経済 ロシアの経済 スラブ・ユーラシアの経済 アフリカの経済		8	・国際経済と地域は、3年次以降履修することができません。 ・地域研究特殊講義は、6単位まで修得することができます。
			国際協力論1 問題群研究特殊講義 日本経済論1 日本経済論2	国際協力論2 海外特別研修1 海外特別研修2 海外特別研修3			8	・国際協力論1・2は、原則、配当年次で履修してください。配当年次を超えて履修することができます。 ・問題群研究特殊講義は、12単位まで修得することができます。 ・海外特別研修1・2・3は、同一年度に同一教員のものをセットで履修しなければなりません。 ・海外特別研修1・2・3は、12単位まで修得することができます。 ただし、同一内容のものを2回履修することはできません。また、同一年度に同一科目を履修することはできません。
	問題群研究	必修	経済時事英語				2	
		選択必修		国際事情1(英語) 国際事情2(英語) 国際事情1(ドイツ語) 国際事情2(ドイツ語) 国際事情1(フランス語) 国際事情2(フランス語) 国際事情1(中国語) 国際事情2(中国語) 国際事情1(スペイン語) 国際事情2(スペイン語) 国際事情1(ロシア語) 国際事情2(ロシア語)			4	・原則、2年次で履修してください。 ・3年次以降履修することができます。 ただし、当該区分の卒業要件単位(4単位)を満たした場合は、当該区分の科目を履修することができません。 国際事情1・2は同一言語をセットで修得しなければなりません。同一言語をセットで4単位を修得できない場合、修得した単位は、区分の選択(28単位)に算入されます。
	地域言語		上級国際コミュニケーション	Global Economy 国際事情3(英語) 国際事情3(ドイツ語) 国際事情3(フランス語)	国際事情3(中国語) 国際事情3(スペイン語) 国際事情3(ロシア語) 国際事情3(ロシア語)			・上級国際コミュニケーションは、3年次以降履修することができます。 ・国際事情3は、それぞれの言語を16単位まで修得することができます。
		演習	ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール研究論文1	ゼミナール3 ゼミナール4 ゼミナール研究論文2	ゼミナール5 ゼミナール6 ゼミナール研究論文3 卒業研究(4)			・ゼミナール研究論文は、ゼミナールと同一教員のものをセットで履修しなければなりません。 ・卒業研究は、ゼミナールを履修しない場合に限り、履修することができます。
	他学科開講科目 選択		経済数学1 経済数学2 経済政策1 経済政策2 財政学1 財政学2 産業組織論1 産業組織論2	現代の社会政策 現代の労働問題 日本経済史1 日本経済史2 西洋経済史1 西洋経済史2 アジア経済史1 アジア経済史2	金融システム論1 金融システム論2 現代社会と統計1 現代社会と統計2		28	
				ミクロ経済学1 ミクロ経済学2 マクロ経済学1 マクロ経済学2 ゲーム理論1 ゲーム理論2 近代経済学史1 近代経済学史2 企業経済学1 企業経済学2 中級ミクロ経済学1 中級ミクロ経済学2 中級マクロ経済学1 中級マクロ経済学2 計量経済学1 計量経済学2 経済統計論1 経済統計論2 公共経済学1 公共経済学2 地方財政論1 地方財政論2 地域経済論1 地域経済論2 金融政策1 金融政策2 企業とイノベーション 産業政策論 中堅企業論 ベンチャー企業論 企業金融論 ファイナンス論 情報経済論1 情報経済論2	環境経済論1 環境経済論2 都市経済論1 都市経済論2 農業経済論1 農業経済論2 社会運動論1 社会運動論2 社会保障論1 社会保障論2 生活経済論1 生活経済論2 労使関係論1 労使関係論2 財政社会学1 財政社会学2 地域と経済史 環境と経済史 福祉と経済史 生活と経済史 経済発展論1 経済発展論2 現代資本主義論1 現代資本主義論2 進化経済学1 進化経済学2 経済学史1 経済学史2 マネー論 現代市民社会論 社会思想1 社会思想2 社会科学論1 社会科学論2		28	
	関連科目		簿記原理1 簿記原理2 会計学1 会計学2 特殊講義(4)	憲法1 憲法2 民法1 民法2 寄付講座	商法1 商法2 労働法1 労働法2 特殊講義(1)	経済法1 経済法2 行政学1 行政学2 寄付講座(1)		・寄付講座は、6単位まで修得することができます。 ・特殊講義は、1単位科目および2単位科目を4単位まで、4単位科目を8単位まで修得することができます。
		自由選択修得要件単位			特殊講義		26	

※4年次で専門科目を8単位以上修得しなければなりません。3年次終了までに専門科目の卒業要件単位(76単位)を満たしている場合でも同様です。

※区分の選択必修において、卒業要件単位(基礎科目6単位、基本科目8単位、地域研究8単位、問題群研究8単位、地域言語4単位)を超えて修得した単位は、区分の選択(28単位)に算入されます。

※区分の選択において、卒業要件単位(28単位)を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位(26単位)に算入されます。

法 学 部

学 修 ガ イ ド ブ ッ ク

2026

SCHOOL of LAW

専修大学

法学部 法律学科 社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は, 単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業要件単位	備 考
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は, 自由選択修得要件単位に算入されます。 ・分野横断科目は, 科目名の括弧内に示す表記が異なれば, それぞれ履修することができず (同一年度での複数履修も可能)。 ・S iゼミナール論文は, S iゼミナールの単位を修得し, 次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成 (履修) することができます。
	データ分析入門					
	データサイエンス入門					
	データサイエンス実践					
	A 1基礎					
	データサイエンス活用演習					
	キャリア入門					
	キャリアマッチング					
	キャリア長期体験 (プロジェクト型)					
S i 基礎科目						
S i 応用科目						
教養科目	日本の文化	歴史と地域・民衆	論理学入門			<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は, 自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンストスポーツは, スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ, 履修することができません。 ・アドバンストスポーツは, 種目にかかわらず, 複数履修することができます。
	日本の文学	歴史と社会・文化	ことばと論理			
	世界の文学	基礎心理学入門	芸術学入門			
	文学と現代世界	応用心理学入門	異文化理解の人類学			
	英語圏文学への招待	哲学	ジャーナリズムと現代			
	歴史の視点	倫理学				
	経済と社会	社会思想	企業と会計			
	現代の経済	教育学入門				
	地理学への招待	子どもと社会の教育学				
	社会学入門	情報社会				
現代の社会学	はじめての経営					
社会科学基礎科目	社会学論	マーケティングベーシックス				
自然科学系科目	あなと自然科学					
	生物科学A 1	宇宙地球科学A 1	化学B 1	数理解科学A 1	科学論A 1	
生物科学A 2	宇宙地球科学A 2	化学B 2	数理解科学A 2	科学論A 2		
生物科学B 1	宇宙地球科学B 1	物理学A 1	数理解科学B 1	科学論B 1		
生物科学B 2	宇宙地球科学B 2	物理学A 2	数理解科学B 2	科学論B 2		
生物科学C 1	化学A 1	物理学B 1	数理解科学C 1			
生物科学C 2	化学A 2	物理学B 2	数理解科学C 2			
スポーツ学系科目	スポーツ学入門 (1)					
スポーツウェルネス (1)						
英 語	Basics of English (RL) 1a (1)	(1)				<ul style="list-style-type: none"> ・General Englishは, 英語「A・B・C・D群」を履修したうえで, 単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・2年次で英語「C・D群」または英語以外の外国語「基礎」から英語以外の外国語「導入」の科目と同一言語の中級1 a・b, 中級2 a・bを履修しなければなりません。
	Basics of English (RL) 1b (1)	(1)				
	または					
	Intermediate English (RL) 1a (1)	(1)				
	Intermediate English (RL) 1b (1)	(1)				
	Basics of English (SW) 1a (1)	(1)				
	Basics of English (SW) 1b (1)	(1)				
	または					
	Intermediate English (SW) 1a (1)	(1)				
	Intermediate English (SW) 1b (1)	(1)				
A 群	Basics of English (RL) 2a (1)	(1)				
	Basics of English (RL) 2b (1)	(1)				
B 群	Intermediate English (RL) 2a (1)	(1)				
	Intermediate English (RL) 2b (1)	(1)				
C 群	Basics of English (SW) 2a (1)	(1)				
	Basics of English (SW) 2b (1)	(1)				
D 群	Intermediate English (SW) 2a (1)	(1)				
	Intermediate English (SW) 2b (1)	(1)				
General English (1)						
English Speaking a (1)	Computer Aided Instruction a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1)				
English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)				
Advanced English a	Advanced English a	English Presentation a				
	Advanced English b	English Presentation b				
English Language and Cultures a	English Language and Cultures a	English Writing a				
	English Language and Cultures b	English Writing b				
外国語科目	ドイツ語初級1 a (1)	(1)				<ul style="list-style-type: none"> ・2年次で英語「C・D群」または英語以外の外国語「基礎」から英語以外の外国語「導入」の科目と同一言語の中級1 a・b, 中級2 a・bを履修しなければなりません。 ・各科目2単位まで修得することができます。ただし, 同一年度で同一科目を履修することはできません。
	ドイツ語初級1 b (1)	(1)				
	ドイツ語初級2 a (1)	(1)				
	ドイツ語初級2 b (1)	(1)				
	フランス語初級1 a (1)	(1)				
	フランス語初級1 b (1)	(1)				
	フランス語初級2 a (1)	(1)				
	フランス語初級2 b (1)	(1)				
	中国語初級1 a (1)	(1)				
	中国語初級1 b (1)	(1)				
導入	中国語初級2 a (1)	(1)				
	中国語初級2 b (1)	(1)				
	スペイン語初級1 a (1)	(1)				
	スペイン語初級1 b (1)	(1)				
	スペイン語初級2 a (1)	(1)				
	スペイン語初級2 b (1)	(1)				
	ロシア語初級1 a (1)	(1)				
	ロシア語初級1 b (1)	(1)				
	ロシア語初級2 a (1)	(1)				
	ロシア語初級2 b (1)	(1)				
英語以外の外国語	インドネシア語初級1 a (1)	(1)				
	インドネシア語初級1 b (1)	(1)				
	インドネシア語初級2 a (1)	(1)				
	インドネシア語初級2 b (1)	(1)				
	コリア語初級1 a (1)	(1)				
	コリア語初級1 b (1)	(1)				
	コリア語初級2 a (1)	(1)				
	コリア語初級2 b (1)	(1)				
	ドイツ語中級1 a (1)	(1)	中国語中級1 a (1)	ロシア語中級1 a (1)	コリア語中級1 a (1)	
	ドイツ語中級1 b (1)	(1)	中国語中級1 b (1)	ロシア語中級1 b (1)	コリア語中級1 b (1)	
ドイツ語中級2 a (1)	(1)	中国語中級2 a (1)	ロシア語中級2 a (1)	コリア語中級2 a (1)		
ドイツ語中級2 b (1)	(1)	中国語中級2 b (1)	ロシア語中級2 b (1)	コリア語中級2 b (1)		
フランス語中級1 a (1)	(1)	スペイン語中級1 a (1)	インドネシア語中級1 a (1)			
フランス語中級1 b (1)	(1)	スペイン語中級1 b (1)	インドネシア語中級1 b (1)			
フランス語中級2 a (1)	(1)	スペイン語中級2 a (1)	インドネシア語中級2 a (1)			
フランス語中級2 b (1)	(1)	スペイン語中級2 b (1)	インドネシア語中級2 b (1)			
基礎						
応用	ドイツ語上級1 a (1)	(1)	スペイン語上級1 a (1)			
	ドイツ語上級1 b (1)	(1)	ロシア語上級1 a (1)			
フランス語上級1 a (1)	(1)	ロシア語上級1 b (1)				
フランス語上級1 b (1)	(1)	インドネシア語上級1 a (1)				
中国語上級1 a (1)	(1)	インドネシア語上級1 b (1)				
中国語上級1 b (1)	(1)	コリア語上級1 a (1)				
スペイン語上級1 a (1)	(1)	コリア語上級1 b (1)				
スペイン語上級1 b (1)	(1)					
選択	選択ドイツ語1 a (1)	(1)	選択スペイン語1 a (1)	選択イタリア語1 a (1)		
	選択ドイツ語1 b (1)	(1)	選択スペイン語1 b (1)	選択イタリア語1 b (1)		
選択フランス語1 a (1)	(1)	選択コリア語1 a (1)				
選択フランス語1 b (1)	(1)	選択コリア語1 b (1)				
選択中国語1 a (1)	(1)	選択アラビア語1 a (1)				
選択中国語1 b (1)	(1)	選択アラビア語1 b (1)				
世界の言語と文化 (ドイツ語)	世界の言語と文化 (中国語)	世界の言語と文化 (ロシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)			
世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (アラビア語)			
言語文化研究 (ヨーロッパ)		言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)			
海外語学短期研修1 (外国語)	海外語学短期研修2 (外国語)					
海外語学研修	海外語学中期研修1 (外国語)	海外語学中期研修4 (外国語)	海外語学中期研修7 (外国語)			
	海外語学中期研修2 (外国語)	海外語学中期研修5 (外国語)	海外語学中期研修8 (外国語)			
	海外語学中期研修3 (外国語)	海外語学中期研修6 (外国語)				
単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)			<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は, 自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なれば, それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。
自由選択修得要件単位					28	

※この科目一覧に掲載されている科目の中には, 年度によって開講されない科目もあります。履修登録の際には, Web 講義要項 (シラバス) 等で開講状況を確認してください。

法学部 政治学科 社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覽

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備 考				
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー データ分析入門 データサイエンス実践	A1基礎 データサイエンス活用演習	キャリア科目1 キャリア科目2	グローバルスタディ (4)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができません (同一年度での複数履修も可能)。 ・S i セミナール論文は、S i セミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS i セミナールを履修する場合には作成 (履修) することができます。 				
	キャリア入門 キャリアマッチング キャリア長期体験 (プロジェクト型)									
教 養 科 目	人文科学基礎科目	日本の文化 歴史と地域・民衆 日本の文学 歴史と社会・文化 世界の文学 基礎心理学入門 文学と現代世界 応用心理学入門 英語圏文学への招待 哲学 歴史の視点 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代			<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンストスポーツは、スポーツパフォーマンスとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンストスポーツは、種目にかかわらず、複数履修することができます。 				
	社会科学基礎科目	経済と社会 社会思想 現代の経済 教育学入門 地理学への招待 子どもと社会の教育学 社会学入門 情報社会 現代の社会学 はじめての経営 社会学論 マーケティングベーシックス								
	自然科学系科目	あなたと自然科学 生物学A1 宇宙地球科学A1 生物学A2 宇宙地球科学A2 生物学B1 宇宙地球科学B1 生物学B2 宇宙地球科学B2 生物学C1 化学A1 生物学C2 化学A2	化学B1 化学B2 物理学A1 物理学A2 物理学B1 物理学B2	数理科学A1 数理科学A2 数理科学B1 数理科学B2 数理科学C1 数理科学C2	科学論A1 科学論A2 科学論B1 科学論B2		2			
	保健体育系科目	スポーツウェルネス (1)	アドバンストスポーツ スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サステナブルスポーツ) スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)			2			
	英 語	A 群 Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)					4 または 8	<ul style="list-style-type: none"> ・General Englishは、英語「A・B・C・D群」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・2年次で英語「C・D群」または英語以外の外国語「基礎」から英語以外の外国語「導入」の科目と同一言語の中級1 a・b、中級2 a・bを履修しなければなりません。 		
		B 群 Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)								
		C 群 Basics of English (RL) 2a (1) Basics of English (RL) 2b (1) または Intermediate English (RL) 2a (1) Intermediate English (RL) 2b (1)								
		D 群 Basics of English (SW) 2a (1) Basics of English (SW) 2b (1) または Intermediate English (SW) 2a (1) Intermediate English (SW) 2b (1)								
		General English (1)								
		English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)						
		Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b							
外国語科目		ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1) 中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1) ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1) コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)				4 12			<ul style="list-style-type: none"> ・同一言語の科目をすべて (4科目4単位) 履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 	
		導入								
		英語以外の外国語								
	基礎									
	応用									
海外語学研修	海外語学短期研修1 (外国語)	海外語学短期研修2 (外国語)			<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 ・海外語学短期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 					
	海外語学中期研修1 (外国語)	海外語学中期研修4 (外国語)	海外語学中期研修7 (外国語)							
	海外語学中期研修2 (外国語)	海外語学中期研修5 (外国語)	海外語学中期研修8 (外国語)							
	海外語学中期研修3 (外国語)	海外語学中期研修6 (外国語)								
単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。 					

自由選択修得要件単位

28

※この科目一覧に掲載されている科目の中には、年度によって開講されない科目もあります。履修登録の際には、Web 講義要項 (シラバス) 等で開講状況を確認してください。

経営学部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of BUSINESS ADMINISTRATION

専修大学

9. 2026(令和8)年度 経営学部経営学科 入学者(社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覽)

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は, 単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考		
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール				2	<ul style="list-style-type: none"> 「専修大学入門ゼミナール」および「キャリア入門」は必履修科目です。 グローバルスタディは, 科目名の括弧内に示す表記が異なれば, それぞれ履修することができます。括弧が付されていない場合には, 担当教員が異なれば, それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 分野横断科目は, 科目名の括弧内に示す表記が異なれば, それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 Siゼミナール論文は, Siゼミナールの単位を修得し, 次年度以降に同一教員のSiゼミナールを履修する場合に作成(履修)することができます。 社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目(海外語学研修除く)の卒業要件単位24単位を超えて修得した単位は, 自由選択修得要件単位に算入されます。 		
		A I 基礎 データサイエンス活用演習						
	キャリア入門							
	キャリアマッチング							
	キャリア長期体験(プロジェクト型)							
		キャリア科目1 キャリア科目2						
Si応用科目	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)				
		分野横断科目						
		Siゼミナール1 (4)	Siゼミナール2 (4)	Siゼミナール3 (4)				
			Siゼミナール論文					
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		2	<ul style="list-style-type: none"> 「あなたと自然科学」は必履修科目です。 アドバンストスポーツは, スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ, 履修することができません。 アドバンストスポーツの履修は, 半期1科目を上限とし, 次学期以降も種目にかかわらず履修することができます。(修得単位の上限はありません)。 	
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 社会科学論	社会思想 教育学入門 子どもと社会の教育学				
	あなたと自然科学							
	自然科学系科目	自然科学実験演習1 自然科学実験演習2(4)	生物学C1 生物学C2 宇宙地球科学A1 宇宙地球科学A2 宇宙地球科学B1 宇宙地球科学B2	化学A1 化学A2 化学B1 化学B2 物理学A1 物理学A2	物理学B1 物理学B2 数理学A1 数理学A2 数理学B1 数理学B2			数理学C1 数理学C2 科学論A1 科学論A2 科学論B1 科学論B2
保健体育系科目	スポーツリテラシー スポーツウェルネス (1)				2			
			アドバンストスポーツ スポーツ論(ウェルビーイング)	スポーツ論(サステイナブルスポーツ) スポーツ論(ハイパフォーマンススポーツ)				
英語	A 群	Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)			8	24	<ul style="list-style-type: none"> General Englishは, 英語「A・B・C・D群」を履修したうえで, 単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 English Speaking a・b, Advanced English a・b, English Language and Cultures a・bは, 各科目4単位まで修得することができます。 	
	B 群	Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)						
	C 群	Basics of English (RL) 2a (1) Basics of English (RL) 2b (1) または Intermediate English (RL) 2a (1) Intermediate English (RL) 2b (1)						
	D 群	Basics of English (SW) 2a (1) Basics of English (SW) 2b (1) または Intermediate English (SW) 2a (1) Intermediate English (SW) 2b (1)						
		General English (1)						
		English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)				
外国語科目	導入	ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1)	中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1)	ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1)	コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)	<ul style="list-style-type: none"> 「導入」の科目を履修する場合, 初めて履修する年度は, 同一言語の初級1 a・bと初級2 a・bの4科目4単位をセットで履修しなければなりません。同一言語の科目をすべて(4科目4単位)履修している, あるいは履修している場合, 他の言語を履修することはできません。 		
	基礎	ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1)	中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1)	ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1) インドネシア語中級1 a (1) インドネシア語中級1 b (1) インドネシア語中級2 a (1) インドネシア語中級2 b (1)	コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)	<ul style="list-style-type: none"> 各科目2単位まで修得することができます。ただし, 同一年度に同一科目を履修することはできません。 		
	応用	ドイツ語上級1 a (1) ドイツ語上級1 b (1) フランス語上級1 a (1) フランス語上級1 b (1) 中国語上級1 a (1) 中国語上級1 b (1) スペイン語上級1 a (1) スペイン語上級1 b (1)		ドイツ語上級1 a (1) ドイツ語上級1 b (1) ロシア語上級1 a (1) ロシア語上級1 b (1) 中国語上級1 a (1) 中国語上級1 b (1) スペイン語上級1 a (1) スペイン語上級1 b (1)	ロシア語上級1 a (1) ロシア語上級1 b (1) インドネシア語上級1 a (1) インドネシア語上級1 b (1) コリア語上級1 a (1) コリア語上級1 b (1)	<ul style="list-style-type: none"> 各科目, 同一年度に2単位, 年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 		
		選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1)	選択スペイン語1 a (1) 選択スペイン語1 b (1) 選択コリア語1 a (1) 選択コリア語1 b (1) 選択アラビア語1 a (1) 選択アラビア語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)	<ul style="list-style-type: none"> 選択1 a・bを履修する場合には, 同一言語の選択1 a・bをセットで履修してください。 「導入」と選択1 a・bの両者を履修する場合は, 同一言語を履修することはできません。 		
		世界の言語と文化(ドイツ語) 世界の言語と文化(フランス語)	世界の言語と文化(中国語) 世界の言語と文化(スペイン語)	世界の言語と文化(ロシア語) 世界の言語と文化(インドネシア語)	世界の言語と文化(コリア語)			
			言語文化研究(ヨーロッパ)	言語文化研究(アジア)	言語文化研究(アメリカ)			
	海外語学研修	海外語学短期研修1(外国語)	海外語学短期研修2(外国語)			2	<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は, 自由選択修得要件単位に算入されます。 海外語学短期研修は, 夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に, 春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 海外語学中期研修は, 中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 	
			海外語学中期研修1(外国語) 海外語学中期研修2(外国語) 海外語学中期研修3(外国語)	海外語学中期研修4(外国語) 海外語学中期研修5(外国語) 海外語学中期研修6(外国語)	海外語学中期研修7(外国語) 海外語学中期研修8(外国語)			
		単位互換科目	単位互換1	単位互換2(4)	単位互換3(1)			

2026 (令和 8) 年度 経営学部経営学科入学者〈専門科目一覧〉

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区 分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	必修	備 考	
基礎科目	経営入門A 経営入門B 会計入門A 会計入門B 経済入門 マーケティング入門A マーケティング入門B 情報処理入門 情報システム入門 統計入門	経営管理総論A 経営管理総論B			24	必修	・3年次への進級には、基礎科目(必修)12科目24単位のうち、9科目18単位以上の修得が必要です。	
演習科目	基礎系	簿記基礎演習 論理基礎演習	情報リテラシ基礎演習 グローバル基礎演習		10		・専門演習および専門演習コラボは、授業で扱う内容を () で併記し、その内容が異なる場合には、それぞれ履修することができ、修得した単位はそれぞれの卒業要件単位に算入されます(同一年度の複数履修も可)。 ・ゼミナールAおよびBは、原則として同一教員のゼミナールを2年続けて履修することになります。	
	専門系	経営数学演習(線形代数A)	経営数学演習(線形代数B)	経営数学演習(微分積分A)		経営数学演習(微分積分B)		
	総合系		調査の基本 データ分析演習(統計) データ分析演習(機械学習)	データ分析演習(数理最適化) 数理統計学演習		商業簿記応用演習 工業簿記応用演習		
基幹科目	MA独自必修テーマ 戦略と組織のマネジメント	企業経済学 経営学史 経営学とキャリア開発 ゲーム理論	コーポレート・ガバナンス 産業組織論 組織行動論 ファミリービジネス論	ミクロ経済学 リーダーシップ論	12		・ゼミナールBを履修する場合は、原則として卒業論文を履修しなければなりません。 ・学部共通テーマから2つのテーマを選択しなければなりません。	
	学部共通テーマ グローバルマネジメント	異文化コミュニケーション 応用マクロ経済学 国際ビジネス概論 新興市場ビジネス論	地域研究 日本経営史 ビジネス英語 マクロ経済学	留学プログラムA (1) 留学プログラムB 留学プログラムC (3) 留学プログラムD (4)			・選択した2テーマにおいて、1テーマにつき最低8単位以上、2テーマ計16単位以上を修得しなければなりません。 ・留学プログラムA～Dは、国際交流センターが提供する留学プログラムを修了した場合に単位認定の対象となる科目です(複数認定も可)。	
専門科目	学部共通テーマ 会計・ファイナンス	管理会計 企業法と会計情報 金融論A 金融論B 経営分析	原価計算 工業簿記論 財務管理論A 財務管理論B 商業簿記論A	商業簿記論B 証券論 税金の基礎 ファイナンスの基礎	76		・留学プログラムA～Dは、国際交流センターが提供する留学プログラムを修了した場合に単位認定の対象となる科目です(複数認定も可)。 ・寄付講座および特殊講義は、授業で扱う内容を () で併記し、その内容が異なる場合には、それぞれ履修することができます。	
	学部共通テーマ マーケティング	マーケティング戦略論A マーケティング戦略論B	マーケティング・マネジメント 流通論	流通戦略論				
	学部共通テーマ ICTマネジメント	オペレーションズ・リサーチ 経営情報論A 経営情報論B シミュレーション論 情報管理概論A	情報管理概論B 情報システム基礎 情報システムの分析 情報システムの開発 情報セキュリティ	データベース論 プログラミング基礎 プログラミング(システム開発)		16		・演習科目、基幹科目、発展科目、応用科目および関連科目の卒業要件単位52単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	学部共通テーマ 会計・ファイナンス	会計システムとソリューションA 会計システムとソリューションB 監査論 コスト・マネジメント	財務諸表論 財務会計論 連結会計					
発展科目	学部共通テーマ マーケティング		広告論 サービス・マーケティング ビジネス・マーケティング	マーケティングコミュニケーション マーケティング・サイエンスA マーケティング・サイエンスB				
	学部共通テーマ ICTマネジメント		情報通信ネットワーク論A 情報通信ネットワーク論B プログラミング(WWW)	プログラミング(人工知能) マルチメディア情報処理論A マルチメディア情報処理論B				
応用科目		アントレプレナーシップ論 イノベーション論A イノベーション論B 企業者史	企業論 経営倫理 産業・企業調査 製品開発論	ベンチャー・ビジネス論 マーケティング・リサーチ				
			事業創造論 消費者行動論A	消費者行動論B ブランド論				
関連科目	寄付講座	寄付講座 (1)	特殊講義	特殊講義 (1)				
		憲法A 憲法B	民法A 民法B	経済法B 労働法A 労働法B				

【重要】4年次で修得しなければならない単位数 4年次では、4年次に配当されている専門科目を、12単位以上を必ず修得しなければなりません。これは、3年次終了時までに124単位を修得している場合も同様です。

自由選択 修得要件単位	自由選択修得要件単位には、海外語学研修、単位互換科目、全学公開科目、教職課程科目(対象科目のみ)、所定の卒業要件単位数を超えて修得した社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、専門科目の単位が算入されます。	24				
各年次における 履修上限単位	44	44	44	44	卒業要件単位	124

10. 2026(令和8)年度 経営学部ビジネスデザイン学科 入学者〈社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覧〉

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考	
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール					<ul style="list-style-type: none"> 「専修大学入門ゼミナール」および「キャリア入門」は必修科目です。 グローバルスタディは、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができ、括弧が付されていない場合には、担当教員が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 Siゼミナール論文は、Siゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のSiゼミナールを履修する場合に作成(履修)することができます。 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目(海外語学研修除く)の卒業要件単位24単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 	
		A I 基礎 データサイエンス活用演習					
	キャリア入門						
	キャリアマッチング						
	キャリア長期体験(プロジェクト型)						
		キャリア科目1 キャリア科目2					
Si応用科目	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)			
		分野横断科目					
		Siゼミナール1 (4)	Siゼミナール2 (4)	Siゼミナール3 (4)			
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		<ul style="list-style-type: none"> 「あなたと自然科学」は必修科目です。 アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 アドバンストスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も種目にかかわらず履修することができます(修得単位の上限はありません)。 	
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 社会科学論	社会思想 教育学入門 子どもと社会の教育学			
	あなたと自然科学						
	自然科学系科目	自然科学実験演習 1	生物学C 1	化学A 1	物理学B 1		数理学C 1
		自然科学実験演習 2 (4)	生物学C 2	化学A 2	物理学B 2		数理学C 2
		生物学A 1	宇宙地球科学A 1	化学B 1	数理学A 1		科学論A 1
		生物学A 2	宇宙地球科学A 2	化学B 2	数理学A 2		科学論A 2
		生物学B 1	宇宙地球科学B 1	物理学A 1	数理学B 1		科学論B 1
	生物学B 2	宇宙地球科学B 2	物理学A 2	数理学B 2	科学論B 2		
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1)					
スポーツウェルネス (1)							
英語	A 群	Basics of English (RL) 1a (1)				<ul style="list-style-type: none"> General Englishは、英語「A・B・C・D群」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 English Speaking a・b, Advanced English a・b, English Language and Cultures a・bは、各科目1単位まで修得することができます。 	
		Basics of English (RL) 1b (1)					
	B 群	Intermediate English (RL) 1a (1)					
		Intermediate English (RL) 1b (1)					
	C 群	Basics of English (SW) 1a (1)					
		Basics of English (SW) 1b (1)					
		Intermediate English (SW) 1a (1)					
		Intermediate English (SW) 1b (1)					
	D 群	Basics of English (RL) 2a (1)					
		Basics of English (RL) 2b (1)					
E 群	Basics of English (SW) 2a (1)						
	Basics of English (SW) 2b (1)						
General English (1)							
English Speaking a (1)							
English Speaking b (1)							
外国語科目	導入	ドイツ語初級 1 a (1)	中国語初級 1 a (1)	ロシア語初級 1 a (1)	コリア語初級 1 a (1)		
		ドイツ語初級 1 b (1)	中国語初級 1 b (1)	ロシア語初級 1 b (1)	コリア語初級 1 b (1)		
		ドイツ語初級 2 a (1)	中国語初級 2 a (1)	ロシア語初級 2 a (1)	コリア語初級 2 a (1)		
		ドイツ語初級 2 b (1)	中国語初級 2 b (1)	ロシア語初級 2 b (1)	コリア語初級 2 b (1)		
		フランス語初級 1 a (1)	スペイン語初級 1 a (1)	インドネシア語初級 1 a (1)			
	フランス語初級 1 b (1)	スペイン語初級 1 b (1)	インドネシア語初級 1 b (1)				
	フランス語初級 2 a (1)	スペイン語初級 2 a (1)	インドネシア語初級 2 a (1)				
	フランス語初級 2 b (1)	スペイン語初級 2 b (1)	インドネシア語初級 2 b (1)				
	基礎	ドイツ語中級 1 a (1)	中国語中級 1 a (1)	ロシア語中級 1 a (1)	コリア語中級 1 a (1)		
		ドイツ語中級 1 b (1)	中国語中級 1 b (1)	ロシア語中級 1 b (1)	コリア語中級 1 b (1)		
ドイツ語中級 2 a (1)		中国語中級 2 a (1)	ロシア語中級 2 a (1)	コリア語中級 2 a (1)			
ドイツ語中級 2 b (1)		中国語中級 2 b (1)	ロシア語中級 2 b (1)	コリア語中級 2 b (1)			
フランス語中級 1 a (1)		スペイン語中級 1 a (1)	インドネシア語中級 1 a (1)				
フランス語中級 1 b (1)	スペイン語中級 1 b (1)	インドネシア語中級 1 b (1)					
フランス語中級 2 a (1)	スペイン語中級 2 a (1)	インドネシア語中級 2 a (1)					
フランス語中級 2 b (1)	スペイン語中級 2 b (1)	インドネシア語中級 2 b (1)					
応用	ドイツ語上級 1 a (1)		ロシア語上級 1 a (1)				
	ドイツ語上級 1 b (1)		ロシア語上級 1 b (1)				
	フランス語上級 1 a (1)		インドネシア語上級 1 a (1)				
	フランス語上級 1 b (1)		インドネシア語上級 1 b (1)				
	中国語上級 1 a (1)		コリア語上級 1 a (1)				
中国語上級 1 b (1)		コリア語上級 1 b (1)					
スペイン語上級 1 a (1)							
スペイン語上級 1 b (1)							
選択	選択ドイツ語 1 a (1)	選択ドイツ語 1 b (1)	選択スペイン語 1 a (1)	選択イタリア語 1 a (1)			
	選択ドイツ語 1 b (1)	選択ドイツ語 1 a (1)	選択スペイン語 1 b (1)	選択イタリア語 1 b (1)			
	選択フランス語 1 a (1)	選択フランス語 1 b (1)	選択コリア語 1 a (1)				
	選択フランス語 1 b (1)	選択フランス語 1 a (1)	選択コリア語 1 b (1)				
	選択中国語 1 a (1)	選択中国語 1 b (1)	選択アラビア語 1 a (1)				
世界の言語と文化 (ドイツ語)	世界の言語と文化 (中国語)	世界の言語と文化 (ロシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)				
世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (インドネシア語)					
言語文化研究 (ヨーロッパ)		言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)				
海外語学研修	海外語学短期研修 1 (外国語)	海外語学短期研修 2 (外国語)					
		海外語学中期研修 1 (外国語)	海外語学中期研修 4 (外国語)	海外語学中期研修 7 (外国語)			
		海外語学中期研修 2 (外国語)	海外語学中期研修 5 (外国語)	海外語学中期研修 8 (外国語)			
単位互換科目	単位互換 1	単位互換 2 (4)	単位互換 3 (1)				

2026(令和8)年度 経営学部ビジネスデザイン学科入学者〈専門科目一覧〉

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区 分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	必修	備 考
基礎科目	経営入門A 経営入門B 会計入門A 会計入門B 経済入門 マーケティング入門A マーケティング入門B 情報処理入門 情報システム入門 統計入門	経営管理総論A 経営管理総論B			24	必修	・3年次への進級には、基礎科目(必修)12科目24単位のうち、9科目18単位以上の修得が必要です。
演習科目	基礎系	簿記基礎演習 論理基礎演習	情報リテラシ基礎演習 グローバル基礎演習		4	必修	・専門演習および専門演習コラボは、授業で扱う内容を()で併記し、その内容が異なる場合には、それぞれ履修することができ、修得した単位はそれぞれの卒業要件単位に算入されます(同一年度の複数履修も可)。 ・ゼミナールAおよびBは、原則として同一教員のゼミナールを2年続けて履修することになります。 ・ゼミナールBを履修する場合は、原則として卒業論文を履修しなければなりません。 ・学部共通テーマから1つのテーマを選択しなければなりません。
		経営数学演習(線形代数A)	経営数学演習(線形代数B)	経営数学演習(微積分A)			
	専門系	ビジネスデザイン基礎演習A	ビジネスデザイン基礎演習B			14	
	総合系		調査の基本 データ分析演習(統計) データ分析演習(機械学習)	データ分析演習(数理最適化) 数理統計学演習	商業簿記応用演習 工業簿記応用演習		
基礎科目	MD独自必修テーマ 商品開発と事業創造		アントレプレナーシップ論 イノベーション論A イノベーション論B 企業者史	企業論 経営倫理 産業・企業調査 製品開発論	ベンチャー・ビジネス論 マーケティング・リサーチ	12	
			事業創造論 消費者行動論A		消費者行動論B ブランド論		
専門科目	学部共通テーマ グローバルマネジメント		異文化コミュニケーション 応用マクロ経済学 国際ビジネス概論 新興市場ビジネス論	地域研究 日本経営史 ビジネス英語 マクロ経済学	留学プログラムA(1) 留学プログラムB 留学プログラムC(3) 留学プログラムD(4)	76	・選択した1テーマにおいて、最低8単位以上を修得しなければなりません。 ・留学プログラムA~Dは、国際交流センターが提供する留学プログラムを修了した場合に単位認定の対象となる科目です(複数認定も可)。 ・寄付講座および特殊講義は、授業で扱う内容を()で併記し、その内容が異なる場合には、それぞれ履修することができます。 ・演習科目、基礎科目、発展科目、応用科目および関連科目の卒業要件単位52単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	学部共通テーマ 会計・ファイナンス		管理会計 企業法と会計情報 金融論A 金融論B 経営分析	原価計算 工業簿記論 財務管理論A 財務管理論B 商業簿記論A	商業簿記論B 証券論 税金の基礎 ファイナンスの基礎		
	学部共通テーマ マーケティング		マーケティング戦略論A マーケティング戦略論B	マーケティング・マネジメント 流通論	流通戦略論		
	学部共通テーマ ICTマネジメント		オペレーションズ・リサーチ 経営情報論A 経営情報論B シミュレーション論 情報管理概論A	情報管理概論B 情報システム基礎 情報システムの分析 情報システムの開発 情報セキュリティ	データベース論 プログラミング基礎 プログラミング(システム開発)		
				情報通信ネットワーク論A 情報通信ネットワーク論B プログラミング(WWW)	財務諸表論 税務会計論 連結会計		
発展科目			コスト・マネジメント				
応用科目			企業経済学 経営学史 経営学とキャリア開発 ゲーム理論	コーポレート・ガバナンス 産業組織論 組織行動論 ファミリービジネス論	ミクロ経済学 リーダーシップ論		
				環境経営論 経営システム論 経営戦略論A 経営戦略論B	経営組織論 組織変革論 人的資源管理論A 人的資源管理論B		
関連科目	寄付講座	寄付講座 (1)	特殊講義	特殊講義 (1)			
		憲法A 憲法B	民法A 民法B	会社法A 会社法B 経済法A	経済法B 労働法A 労働法B		

【重要】 4年次で修得しなければならない単位数 4年次では、4年次に配当されている専門科目を、12単位以上を必ず修得しなければなりません。これは、3年次終了時までに124単位を修得している場合も同様です。

自由選択 修得要件単位	自由選択修得要件単位には、海外語学研修、単位互換科目、全学公開科目、所定の卒業要件単位数を超えて修得した社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、専門科目の単位が算入されます。	24
----------------	---	----

各年次における 履修上限単位	44	44	44	44	卒業要件単位数	124
-------------------	----	----	----	----	---------	-----

商 学 部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of COMMERCE

専修大学

4. 商学部科目一覧

(1) 商学部 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール【必修】					<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件単位22単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 グローバルスタディは、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができ、括弧が付されていない場合には、担当教員が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成（履修）することができます。
		A 1 基礎 ラーニング英語活用演習				
	キャリア入門【必修】					
	キャリアマッチング					
	キャリア長期体験（プロジェクト型）					
		キャリア科目1 キャリア科目2				
S i応用科目		グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)		
		分野横断科目	S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)	
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 教育学入門	子どもと社会の教育学 情報社会		
	自然科学系科目	あなたと自然科学【必修】				2
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) スポーツウェルネス (1)		アドバンストスポーツ スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サステイナブルスポーツ) スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)	2
英語	A 群	Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)				6
	B 群	Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)			<ul style="list-style-type: none"> General Englishは、英語「A・B・C」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 	
	C 群	Basics of English (RL) 2a (1) Basics of English (RL) 2b (1) または Intermediate English (RL) 2a (1) Intermediate English (RL) 2b (1)				
		General English (1)				
		English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)		
			Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b		
外国語科目	導入	ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1)	中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1)	ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1)		コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)
		ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1)	中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1)	ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1) インドネシア語中級1 a (1) インドネシア語中級1 b (1) インドネシア語中級2 a (1) インドネシア語中級2 b (1)	コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)	
				ドイツ語上級1 a (1) ドイツ語上級1 b (1) フランス語上級1 a (1) フランス語上級1 b (1) 中国語上級1 a (1) 中国語上級1 b (1) スペイン語上級1 a (1) スペイン語上級1 b (1)	ロシア語上級1 a (1) ロシア語上級1 b (1) インドネシア語上級1 a (1) インドネシア語上級1 b (1) コリア語上級1 a (1) コリア語上級1 b (1)	
				選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1)	選択スペイン語1 a (1) 選択スペイン語1 b (1) 選択コリア語1 a (1) 選択コリア語1 b (1) 選択アラビア語1 a (1) 選択アラビア語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)
			世界の言語と文化 (ドイツ語) 世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (中国語) 世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (ロシア語) 世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)
		言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)		
	海外語学研修	海外語学短期研修1 (外国語)	海外語学短期研修2 (外国語)			
		海外語学中期研修1 (外国語) 海外語学中期研修2 (外国語) 海外語学中期研修3 (外国語)	海外語学中期研修4 (外国語) 海外語学中期研修5 (外国語) 海外語学中期研修6 (外国語)	海外語学中期研修7 (外国語) 海外語学中期研修8 (外国語)		
	単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)		
	自由選択修得要件単位					18

(2) 商学部マーケティング学科 専門科目一覧

()内は単位数を示す
 M マーケティング F ファイナンス GB グローバルビジネス MA マーケットアナリティクス
 ◎ 選択必修 △ 選択

	1年次(単位)	2年次(単位)	3年次(単位)				4年次(単位)	卒業要件 単 位	備 考
			コース M F GB MA	コース M F GB MA	コース M F GB MA	コース M F GB MA			
選 科 目	ビジネス数理基礎A (2) ◎ ビジネス数理基礎B (2) ◎ 情報基礎 I (2) ◎ 情報基礎 II (2) ◎ 商学基礎 (4) ◎ 簿記論 I (4) ◎						12	・卒業要件単位12単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。	
	商業史入門 (2) ◎ ビジネス入門 (2) ◎ 現代経済基礎 (2) ◎	専門基礎ゼミナール (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎					22	・卒業要件単位22単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・次の科目を履修登録する際には、前提科目(すでに単位を修得済みが条件)を導入しています。 「ミクロ経済学基礎」 「現代経済基礎」が前提科目 「マクロ経済学基礎」 「現代経済基礎」が前提科目	
必 修 科 目		マーケティングリサーチ (4) ◎ △ △ △ ◎ 現代商品論 (4) ◎ △ △ △ ◎ 流通政策 (4) ◎ △ △ △ ◎ 金融政策 (4) ◎ △ △ △ ◎ 金融論 (4) △ ◎ △ △ ◎ 金融リスク入門 (2) △ ◎ △ ◎ ◎ 金融データサイエンス (4) △ ◎ △ ◎ ◎ 現代企業 (2) △ △ △ ◎ ◎	ビジネス英語A (2) △ △ △ ◎ ◎ ビジネス英語B (2) △ △ △ ◎ ◎ グローバル企業 (2) △ △ △ ◎ ◎ プロジェクトマネジメント (2) △ △ △ ◎ ◎ 情報社会と情報倫理 (2) △ △ △ ◎ ◎ 情報ネットワーク (2) △ △ △ ◎ ◎ プログラミングA (4) △ △ △ ◎ ◎ 現代経済のトピックス (2) △ △ △ ◎ ◎	マクロ経済学応用 (2) △ ◎ △ △ ◎ ミクロ経済学応用 (2) △ ◎ △ △ ◎ データマイニング (2) △ △ △ ◎ ◎ 経済データ分析入門 (2) △ ◎ △ △ ◎ オペレーションズ・リサーチ (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 数理ビジネス分析 (2) △ ◎ △ △ ◎	12	・卒業要件単位12単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・卒業要件単位12単位は、所属コースに配当されている選択必修科目(◎)の中から修得しなければなりません。			
			流通論 (4) ◎ △ △ △ ◎ 世界商業史 (2) ◎ △ △ △ ◎ グローバルマーケティング論 (2) ◎ △ △ △ ◎ ソーシャルマーケティング (2) ◎ △ △ △ ◎ 国際金融 (4) △ ◎ △ △ ◎ 証券論 (4) △ ◎ △ △ ◎ 日本経済と金融 (2) △ ◎ △ △ ◎ リスクと保険 I (2) △ ◎ △ △ ◎ リスクと保険 II (2) △ ◎ △ △ ◎ 国際分業と貿易 (4) △ △ △ △ ◎	起業と経営 (2) △ △ △ ◎ △ 経営戦略A (2) △ △ △ ◎ △ 経営戦略B (2) △ △ △ ◎ △ グローバルビジネスとトレード (4) △ △ △ ◎ △ コーポレートガバナンス (2) △ △ △ ◎ △ 国際経営(英語) (2) △ △ △ ◎ △ 国際経営(日本語) (2) △ △ △ ◎ △ 中小企業経営 I (2) △ △ △ ◎ △ 中小企業経営 II (2) △ △ △ ◎ △ 環境経営論 (2) △ △ △ ◎ △	12	・卒業要件単位22単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・卒業要件単位22単位は、所属コースに配当されている選択必修科目(◎)の中から修得しなければなりません。 ・次の科目を履修登録する際には、前提科目(すでに単位を修得済みが条件)を導入しています。			
科 目		ゼミナール1 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	ゼミナール2 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ゼミナール3 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	ゼミナール4 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ゼミナール5 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	22	・卒業要件単位22単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・卒業要件単位22単位は、所属コースに配当されている選択必修科目(◎)の中から修得しなければなりません。 ・次の科目を履修登録する際には、前提科目(すでに単位を修得済みが条件)を導入しています。			
			商業経営 (4) ◎ △ △ △ ◎ 消費者行動 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ マーケティング情報 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ マーケティングコミュニケーション (4) ◎ △ △ △ ◎ 環境マーケティング (2) ◎ △ △ ◎ ◎ サービスマーケティング (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 商品評価 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ ロジスティクス論 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ サプライチェーンマネジメント (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 国際流通論 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 産業立地論 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 地域マーケティング (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 商品開発A (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 商品開発B (2) ◎ △ △ ◎ ◎ モデルとデータ分析 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ データ分析とAI (2) ◎ △ △ ◎ ◎ マーケティングワークショップ (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 経営分析論 (4) △ △ △ ◎ ◎ 企業金融 (2) △ △ △ ◎ ◎ 投資理論 (2) △ △ △ ◎ ◎ 財務情報分析論 (4) △ △ △ ◎ ◎ デリバティブ (2) △ △ △ ◎ ◎ 金融システム (2) △ ◎ △ △ ◎ 金融商品取引法 (2) △ ◎ △ △ ◎ ファイナンシャルプランニング (2) △ ◎ △ ◎ ◎ 企業倫理 (2) △ ◎ △ ◎ ◎	情報と戦略 (2) △ △ △ ◎ ◎ 意思決定会計論 (2) △ △ △ ◎ ◎ 企業のリスク分析と対応 (2) △ ◎ △ △ ◎ 外国為替論 (2) △ ◎ △ ◎ ◎ 企業の信用リスク評価 (2) △ ◎ △ △ ◎ リスクとファイナンス (2) △ ◎ △ △ ◎ 企業組織 (2) △ △ △ ◎ ◎ ビジネスプランニング (2) △ △ △ ◎ ◎ 人的資源 I (2) △ △ △ ◎ △ 人的資源 II (2) △ △ △ ◎ △ 多国籍企業 (2) △ △ △ ◎ △ 比較経営 (2) △ △ △ ◎ △ 情報システム (4) △ △ △ ◎ △ ビジネス英語C (2) △ △ △ ◎ △ ビジネス英語D (2) △ △ △ ◎ △ プログラミングB (4) △ △ △ ◎ △ 環境経済学 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 環境政策論 (2) △ △ △ ◎ ◎ 交通と観光 (2) △ △ △ ◎ ◎ 通信とネットワーク (2) △ △ △ ◎ ◎ 空間経済分析 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ 経済データ分析応用 (2) △ △ △ ◎ ◎ ビジネスシミュレーションA (2) △ △ △ ◎ ◎ ビジネスシミュレーションB (2) △ ◎ △ ◎ ◎ 経済政策論 (2) △ △ △ ◎ ◎ ビジネスアナリティクス実践 (2) △ ◎ △ ◎ ◎	22	「環境政策論」 「環境経営論」が前提科目			
選 科 目	憲法 I (2) △ 民法 I (2) △ △ △ △ △ 憲法 II (2) △ 民法 II (2) △ △ △ △ △		会計演習 I (2) △ △ △ △ △ 会計演習 II (2) △ △ △ △ △	会計演習 III (2) △ △ △ △ △ 会計演習 IV (2) △ △ △ △ △	16	・卒業要件単位16単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・特殊講義は、12単位まで修得することができ、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 ・「国際体験学習 I ~ VII」は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 ・「会計演習 I ~ VII」は、会計資格の単位認定を申請した場合に認定されます。なお、また、認定された単位は、4年次で修得しなければならない専門科目8単位には含まれません。			
		簿記論 II (4) △ △ △ △ △ 国際体験学習 I (2) △ △ △ △ △ 国際体験学習 II (2) △ △ △ △ △ 国際体験学習 III (2) △ △ △ △ △	国際体験学習 IV (2) △ △ △ △ △ 国際体験学習 V (2) △ △ △ △ △ 国際体験学習 VI (2) △ △ △ △ △ 国際体験学習 VII (2) △ △ △ △ △	国際体験学習 VIII (2) △ △ △ △ △ キャリアディベロップメント (2) △ △ △ △ △ 会計演習 V (2) △ △ △ △ △ 会計演習 VI (2) △ △ △ △ △	16				
科 目			特殊講義 (1) △ △ △ △ △ 戦略的マネジメントコントロール論 (2) △ △ △ △ △ 管理会計論 (4) △ △ △ △ △ 財務管理論 (4) △ △ △ △ △ 原価管理論 (4) △ △ △ △ △ 原価計算論 (4) △ △ △ △ △ 税務会計論 (4) △ △ △ △ △ 企業と監査 (2) △ △ △ △ △ 税法 (4) △ △ △ △ △ 商取引法 (2) △ △ △ △ △ 会社法 I (2) △ △ △ △ △ 会社法 II (2) △ △ △ △ △ 外国書講読A (2) △ △ △ △ △ 外国書講読B (2) △ △ △ △ △ 業績評価会計論 (4) △ △ △ △ △ コンピュータ会計 I (2) △ △ △ △ △ コンピュータ会計 II (2) △ △ △ △ △	環境会計論 (4) △ △ △ △ △ デジタル技術と会計 (4) △ △ △ △ △ 経済法 I (2) △ △ △ △ △ 経済法 II (2) △ △ △ △ △ 知的財産法 I (2) △ △ △ △ △ 知的財産法 II (2) △ △ △ △ △ 経済政策 I (2) △ △ △ △ △ 経済政策 II (2) △ △ △ △ △ 労働法 I (2) △ △ △ △ △ 労働法 II (2) △ △ △ △ △ 移動と交流の文化史 (2) △ △ △ △ △ 比較文化 (2) △ △ △ △ △ 越境する文化 (2) △ △ △ △ △ 環境と文化 (2) △ △ △ △ △ 現代文化論 (2) △ △ △ △ △ メディア文化論 (2) △ △ △ △ △	16				

【重要】4年次では、4年次に配当されている専門科目を、8単位以上必ず修得しなければなりません。これは3年次終了時までには124単位修得している場合も同様です。

(3) 商学部会計学科 専門科目一覧

()内は単位数を示す

		1年次(単位)	2年次(単位)	3年次(単位)	4年次(単位)	卒業要件 単 位	備 考	
選 択 必 修 科 展 開 目 的	学部 基礎 科目	ビジネス数理基礎A (2) ビジネス数理基礎B (2) 情報基礎Ⅰ (2) 情報基礎Ⅱ (2) 商学基礎 (4) 簿記論Ⅰ (4)				12	・卒業要件単位12単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。	
	学 科 基 礎 科 目	簿記論Ⅱ (4) 簿記論Ⅲ (4) 原価計算論Ⅰ (4) 原価計算論Ⅱ (4) 財務会計論 (4) 管理会計論 (4) 会計演習Ⅰ (2) 会計演習Ⅱ (2) 会計演習Ⅲ (2) 会計演習Ⅳ (2)	簿記論Ⅳ (4) 会計基準論 (4) 連結会計論 (4) 原価計算論Ⅲ (2)			22	・卒業要件単位22単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・会計演習Ⅰ～Ⅳは、会計資格の単位認定を申請した場合に認定されます。なお、また、認定された単位は、4年次で修得しなければならない専門科目8単位には含まれません。	
	展 開 目 的	会計専門基礎ゼミナール ゼミナール1 (2)	ゼミナール2 (2) ゼミナール3 (2)	ゼミナール4 (2) ゼミナール5 (2)			34	・卒業要件単位34単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・会計演習Ⅴ・Ⅵは、会計資格の単位認定を申請した場合に認定されます。なお、また、認定された単位は、4年次で修得しなければならない専門科目8単位には含まれません。
		財務管理論 (4) 経営分析論 (4) 税務会計論 (4) 統計学 (4)	税法 (4) 意思決定会計論 (2) 業績評価会計論 (2) コンピュータ会計Ⅰ (2)	コンピュータ会計Ⅱ (2) 環境会計論 (4) 会計演習Ⅴ (2) 会計演習Ⅵ (2)	会計史 (4) 原価管理論 (2) 会計監査論 (4) 財務情報分析論 (4) 国際会計論 (4)	戦略的マネジメントコントロール論 (2) 会計外国書講読A (2) 会計外国書講読B (2) デジタル技術と会計 (4) 会計プロフェッショナルの英語 (2)		
選 択 科 目	憲法Ⅰ (2)	憲法Ⅱ (2)	民法Ⅰ (2)	民法Ⅱ (2)		16	・卒業要件単位16単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・次の科目を履修登録する際には、前提科目(すでに単位を修得済みが条件)を導入しています。 「ミクロ経済学基礎」が前提科目 「マクロ経済学基礎」 「現代経済基礎」が前提科目 「環境政策論」 「環境経営論」が前提科目 ・特殊講義は、12単位まで修得することができ、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 ・国際体験学習Ⅰ～Ⅷは、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。	
	マーケティングリサーチ (4) マーケティングリサーチ (4) 現代企業 (2) 金融サービス (4) 情報社会と情報倫理 (2) 現代商品論 (4) 国際体験学習Ⅰ (2) 国際体験学習Ⅱ (2) 国際体験学習Ⅲ (2) 国際体験学習Ⅳ (2) 国際体験学習Ⅴ (2) 国際体験学習Ⅵ (2)	国際体験学習Ⅶ (2) 国際体験学習Ⅷ (2) キャリアディベロップメント (2) 金融商品取引法 (2) 商取引法 (2) 情報ネットワーク (2) 会社法Ⅰ (2) 会社法Ⅱ (2) 金融政策 (2) 情報の科学と技術 (2) 商業史入門 (2) ビジネス入門 (2)	人的資源Ⅱ (2) 中小企業経営Ⅰ (2) 中小企業経営Ⅱ (2) 多国種企業 (2) 比較経営 (2) 現代経済のトピックス (2) マクロ経済学基礎 (2) マクロ経済学応用 (2) ミクロ経済学基礎 (2) ミクロ経済学応用 (2) 日本経済と金融 (2) 環境経営論 (2) 環境経済学 (2) 環境政策論 (2) 交通と観光 (2) 通信とネットワーク (2) リスクと保険Ⅰ (2) リスクと保険Ⅱ (2) 商品開発A (2) 商品開発B (2) モデルとデータ分析 (2) データ分析とAI (2) ソーシャルマーケティング (2) マーケティングワークショップ (2) 外国為替論 (2) 企業の信用リスク評価 (2) リスクとファイナンス (2) 空間経済分析 (2) 経済データ分析応用 (2) ビジネスシミュレーションA (2) ビジネスシミュレーションB (2) 経済政策論 (2) ビジネスアナリティクス実践 (2) 経済法Ⅰ (2) 経済法Ⅱ (2) 知的財産法Ⅰ (2) 知的財産法Ⅱ (2) 国際取引法Ⅰ (2) 国際取引法Ⅱ (2) 環境法 (2) 比較文化 (2) 環境と文化 (2) 現代社会と多様性 (2)					

【重要】4年次では、4年次に配当されている専門科目を、8単位以上必ず修得しなければなりません。これは3年次終了時までに124単位修得している場合も同様です。

文 学 部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of LETTERS

専修大学

文学部日本文学文化学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考			
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール				2	・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。 ・S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成 (履修) することができます。			
	データ分析入門				2				
	データサイエンス入門								
	データサイエンス実践								
		A I基礎							
		データサイエンス活用演習							
	キャリア入門								
	キャリアマッチング								
	キャリア長期体験 (プロジェクト型)								
			キャリア科目1	キャリア科目2					
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)					
S i応用科目		分野横断科目							
		S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)					
			S iゼミナール論文						
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点 歴史と地域・民衆	歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学 論理学入門	ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		・卒業要件単位 10 単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンススポーツの履修は、前期1科目を上限とし、次学期以降も科目にかかわらず履修することができます (修得単位の上限はありません)。			
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 社会学論 社会思想 教育学入門	子どもと社会の教育学 情報社会 はじめての経営 マーケティングベーシック 企業と会計					
	自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習1 自然科学実験演習2 (4)	生物科学C1 生物科学C2 宇宙地球科学A1 宇宙地球科学A2 生物科学B1 宇宙地球科学B1 生物科学B2 宇宙地球科学B2	化学A1 化学A2 化学B1 化学B2 物理科学A1 物理科学A2	物理学B1 物理学B2 数理科学A1 数理科学A2 数理科学B1 数理科学B2 数学科学C1 数学科学C2 科学論A1 科学論A2 科学論B1 科学論B2				
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) スポーツウェルネス (1)					2		
			アドバンススポーツ スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サスティナブルスポーツ) スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)					
	英語	A Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)					4	・General English は、英語 (A・B群) を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、Advanced English Language and Cultures a・b は、各科目4単位まで修得することができます。	
		B Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)							
			English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)				
				Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b				
	外国語科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1) 中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1) ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1) コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)					・同一言語の科目をすべて (4科目4単位) 履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 ・各科目2単位まで修得することができ、同一科目を履修することはできません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます、合計4単位まで修得することができます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・選択ドイツ語1 a・bを履修する場合には、同一言語の選択1 a・bをセットで履修してください。 ・「導入」と選択1 a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。	
			ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1) 中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1) ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1) インドネシア語中級1 a (1) インドネシア語中級1 b (1) インドネシア語中級2 a (1) インドネシア語中級2 b (1) コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)						
			ドイツ語上級1 a (1) ドイツ語上級1 b (1) フランス語上級1 a (1) フランス語上級1 b (1) 中国語上級1 a (1) 中国語上級1 b (1) スペイン語上級1 a (1) スペイン語上級1 b (1)						
			選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1)	選択スペイン語1 a (1) 選択スペイン語1 b (1) 選択コリア語1 a (1) 選択コリア語1 b (1) 選択アラビア語1 a (1) 選択アラビア語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)				
		世界の言語と文化 (ドイツ語) 世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (中国語) 世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (ロシア語) 世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)				
			言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)				
海外語学研修		海外語学短期研修1 (外国語)	海外語学短期研修2 (外国語)			・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2が認定されます。 ・海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。			
			海外語学中期研修1 (外国語) 海外語学中期研修2 (外国語) 海外語学中期研修3 (外国語)	海外語学中期研修4 (外国語) 海外語学中期研修5 (外国語) 海外語学中期研修6 (外国語)	海外語学中期研修7 (外国語) 海外語学中期研修8 (外国語)				
		単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)				
			自由選択修得要件単位				28		

日本文学文化学科

文学部英語英米文学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考			
社会知性基盤科目	S1基礎科目	専修大学入門セミナー データ分析入門 データサイエンス入門 データサイエンス実践 キャリア入門 キャリアマッチング キャリア長期体験(プロジェクト型)	A1基礎 データサイエンス活用演習		2	分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同年度での複数履修も可能)。 ・S1ゼミナール論文は、S1ゼミナールの単位の修得し、次年度以降に同一教員のS1ゼミナールを履修する場合に作成(履修)することができます。			
	S1応用科目		分野横断科目 S1ゼミナール1 (4)	S1ゼミナール2 (4) S1ゼミナール論文	2				
	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 歴史の視点 歴史と地域・民衆	歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学 論理学入門	ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代			2	卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位の修得していなければ、履修することができます。 ・アドバンススポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も種目にかかわらず履修することができます(修得単位の上限はありません)。	
		社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 社会心理学 社会思想 教育学入門	子どもと社会の教育学 情報社会 はじめての経営 マーケティングベーシック 企業と会計		8		
	自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習1 自然科学実験演習2(4)	生物科学C1 生物科学C2 宇宙地球科学A1 生物科学A2 宇宙地球科学B1 生物科学B2	化学A1 化学A2 化学B1 化学B2 物理学A1 物理学A2	物理学B1 物理学B2 数理学A1 数理学A2 数理学B1 数理学B2		10		
		保健体育系科目	スポーツリテラシー(1) スポーツウェルネス(1)	アドバンススポーツ スポーツ論(ウェルビーイング)	スポーツ論(サステイナブルスポーツ) スポーツ論(ハイパフォーマンススポーツ)		2		
	英語	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)	Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b		4	・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b, Advanced English a・b, English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで履修することができます。	
		ドイツ語初級1a (1) ドイツ語初級1b (1) ドイツ語初級2a (1) ドイツ語初級2b (1) フランス語初級1a (1) フランス語初級1b (1) フランス語初級2a (1) フランス語初級2b (1) 中国語初級1a (1) 中国語初級1b (1) 中国語初級2a (1) 中国語初級2b (1) スペイン語初級1a (1) スペイン語初級1b (1) スペイン語初級2a (1) スペイン語初級2b (1) ロシア語初級1a (1) ロシア語初級1b (1) ロシア語初級2a (1) ロシア語初級2b (1) インドネシア語初級1a (1) インドネシア語初級1b (1) インドネシア語初級2a (1) インドネシア語初級2b (1) コリア語初級1a (1) コリア語初級1b (1) コリア語初級2a (1) コリア語初級2b (1)					4	・同一言語の科目をすべて(4科目4単位)履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。	
	外国語科目	英語以外の外国語		ドイツ語中級1a (1) ドイツ語中級1b (1) ドイツ語中級2a (1) ドイツ語中級2b (1) フランス語中級1a (1) フランス語中級1b (1) フランス語中級2a (1) フランス語中級2b (1) 中国語中級1a (1) 中国語中級1b (1) 中国語中級2a (1) 中国語中級2b (1) スペイン語中級1a (1) スペイン語中級1b (1) スペイン語中級2a (1) スペイン語中級2b (1) ロシア語中級1a (1) ロシア語中級1b (1) ロシア語中級2a (1) ロシア語中級2b (1) インドネシア語中級1a (1) インドネシア語中級1b (1) インドネシア語中級2a (1) インドネシア語中級2b (1) コリア語中級1a (1) コリア語中級1b (1) コリア語中級2a (1) コリア語中級2b (1)	基礎 ドイツ語中級1a (1) ドイツ語中級1b (1) ドイツ語中級2a (1) ドイツ語中級2b (1) フランス語中級1a (1) フランス語中級1b (1) フランス語中級2a (1) フランス語中級2b (1) 中国語中級1a (1) 中国語中級1b (1) 中国語中級2a (1) 中国語中級2b (1) スペイン語中級1a (1) スペイン語中級1b (1) スペイン語中級2a (1) スペイン語中級2b (1) ロシア語中級1a (1) ロシア語中級1b (1) ロシア語中級2a (1) ロシア語中級2b (1) インドネシア語中級1a (1) インドネシア語中級1b (1) インドネシア語中級2a (1) インドネシア語中級2b (1) コリア語中級1a (1) コリア語中級1b (1) コリア語中級2a (1) コリア語中級2b (1)		基礎 ドイツ語中級1a (1) ドイツ語中級1b (1) ドイツ語中級2a (1) ドイツ語中級2b (1) フランス語中級1a (1) フランス語中級1b (1) フランス語中級2a (1) フランス語中級2b (1) 中国語中級1a (1) 中国語中級1b (1) 中国語中級2a (1) 中国語中級2b (1) スペイン語中級1a (1) スペイン語中級1b (1) スペイン語中級2a (1) スペイン語中級2b (1) ロシア語中級1a (1) ロシア語中級1b (1) ロシア語中級2a (1) ロシア語中級2b (1) インドネシア語中級1a (1) インドネシア語中級1b (1) インドネシア語中級2a (1) インドネシア語中級2b (1) コリア語中級1a (1) コリア語中級1b (1) コリア語中級2a (1) コリア語中級2b (1)	4	・各科目2単位まで履修することができます。ただし、同年度に同一科目を履修することはできません。
		応用			ドイツ語上級1a (1) ドイツ語上級1b (1) フランス語上級1a (1) フランス語上級1b (1) 中国語上級1a (1) 中国語上級1b (1) スペイン語上級1a (1) スペイン語上級1b (1)		ドイツ語上級1a (1) ドイツ語上級1b (1) フランス語上級1a (1) フランス語上級1b (1) 中国語上級1a (1) 中国語上級1b (1) スペイン語上級1a (1) スペイン語上級1b (1) ロシア語上級1a (1) ロシア語上級1b (1) インドネシア語上級1a (1) インドネシア語上級1b (1) コリア語上級1a (1) コリア語上級1b (1)	4	・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます、合計4単位まで履修することができます。
選択			選択ドイツ語1a (1) 選択ドイツ語1b (1) 選択フランス語1a (1) 選択フランス語1b (1) 選択中国語1a (1) 選択中国語1b (1)	選択スペイン語1a (1) 選択スペイン語1b (1) 選択ロシア語1a (1) 選択ロシア語1b (1) 選択コリア語1a (1) 選択コリア語1b (1) 選択インドネシア語1a (1) 選択インドネシア語1b (1) 選択アラビア語1a (1) 選択アラビア語1b (1)	選択イタリア語1a (1) 選択イタリア語1b (1)	4	・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・選択1a・bを履修する場合には、同一言語の選択1a・bをセットで履修してください。 ・「導入」と選択1a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。		
世界の言語と文化(ドイツ語) 世界の言語と文化(フランス語)		世界の言語と文化(中国語) 世界の言語と文化(スペイン語)	世界の言語と文化(ロシア語) 世界の言語と文化(インドネシア語)	世界の言語と文化(コリア語)		4	・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。		
海外語学短期研修	海外語学短期研修1(外国語) 海外語学短期研修2(外国語)	海外語学短期研修2(外国語)	海外語学中期研修4(外国語) 海外語学中期研修5(外国語) 海外語学中期研修6(外国語)	海外語学中期研修7(外国語) 海外語学中期研修8(外国語)	4	・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを終了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを終了した場合に短期研修2に認定されます。 ・海外語学中期研修は、中期留学プログラムを終了した場合に認定されます。			
単位互換科目	単位互換1	単位互換2(4)	単位互換3(1)		4	・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同年度での複数履修も可能)。			
自由選択修得要件単位					備考参照	英語コミュニケーションコース: 22 英語文化コース: 34			

英語英米文学科

文学部哲学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考			
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール				2	<ul style="list-style-type: none"> 分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同年度での複数履修も可能)。 S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成(履修)することができます。 			
	データ分析入門								
	データサイエンス入門								
	データサイエンス実践								
		AI基礎							
		データサイエンス活用演習							
	キャリア入門								
	キャリアマッチング								
	キャリア長期体験(プロジェクト型)								
		キャリア科目1							
	キャリア科目2								
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)					
S i応用科目		分野横断科目							
		S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)					
			S iゼミナール論文						
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 芸術学入門 異文化理解の人類学	ジャーナリズムと現代		<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 アドバンススポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も種目にかかわらず履修することができます(修得単位の上限はありません)。 			
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	地理学への招待 社会学入門 社会科学論 社会思想 教育学入門	子どもと社会の教育学 情報社会 はじめての経営 マーケティングベーシックス 企業と会計					
	自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習1 自然科学実験演習2 (4) 生物科学A1 生物科学A2 生物科学B1 生物科学B2	生物科学C1 生物科学C2 宇宙地球科学A1 宇宙地球科学A2 宇宙地球科学B1 宇宙地球科学B2	化学A1 化学A2 化学B1 化学B2 物理学A1 物理学A2	物理学B1 物理学B2 数理科学A1 数理科学A2 数理科学B1 数理科学B2 数理科学C1 数理科学C2 科学論A1 科学論A2 科学論B1 科学論B2				
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) スポーツウェルネス (1)							
			アドバンススポーツ スポーツ論(ウェルビーイング)	スポーツ論(サステナブルスポーツ) スポーツ論(ハイパフォーマンススポーツ)					
	外国語科目	英語	A Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1) B Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)	General English (1)			4	<ul style="list-style-type: none"> General Englishは、英語「A・B群」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 	
			English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)			<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 	
				Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b			<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 同一言語の科目をすべて(4科目4単位)履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 	
		導入	ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1) 中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1) ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1) コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)					8	<ul style="list-style-type: none"> 各科目2単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。
		英語以外の外国語		ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1) 中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1)					<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 各科目、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。
			ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1) 中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1)				<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 「導入」と選択1 a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 		
				ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1) 中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1)				<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 	
			選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1)	選択スペイン語1 a (1) 選択スペイン語1 b (1) 選択ロシア語1 a (1) 選択ロシア語1 b (1) 選択コリア語1 a (1) 選択コリア語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)		<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 		
			世界の言語と文化(ドイツ語) 世界の言語と文化(フランス語)	世界の言語と文化(中国語) 世界の言語と文化(スペイン語)	世界の言語と文化(ロシア語) 世界の言語と文化(インドネシア語)	世界の言語と文化(コリア語)	<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 		
			言語文化研究(ヨーロッパ)	言語文化研究(アジア)	言語文化研究(アメリカ)		<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 		
海外語学研修	海外語学短期研修1(外国語)	海外語学短期研修2(外国語)				<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 			
単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)						
自由選択修得要件単位					30				

哲学科

【文学部歴史学科】 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考				
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー				2	<ul style="list-style-type: none"> ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同年度での複数履修も可能）。 ・S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合は作成（履修）することができます。 				
	データ分析入門									
	データサイエンス入門									
	データサイエンス実践									
		AI基礎								
		データサイエンス活用演習								
	キャリア入門									
	キャリアマッチング									
	キャリア長期体験（プロジェクト型）									
		キャリア科目1								
	キャリア科目2									
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)						
S i応用科目		分野横断科目								
		S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)						
			S iゼミナール論文							
人文科学基礎科目	日本の文化	歴史と社会・文化	ことばと論理			<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位 10 単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンストスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修目にかかわらず履修することができます（修得単位の上限はありません）。 				
	日本の文学	基礎心理学入門	芸術学入門							
社会科学基礎科目	世界の文学	応用心理学入門	異文化理解の人類学							
	文学と現代世界	哲学	ジャーナリズムと現代							
社会系科目	英語圏文学への招待	倫理学								
	歴史と地理・民衆	地理学入門	子どもと社会の教育学							
自然科学系科目	日本国憲法	政治学入門	情報社会							
	法と社会	現代の社会学	はじめての経営							
保健体育系科目	政治の世界	社会学論	マーケティングベーシックス							
	経済と社会	社会思想	企業と会計							
自然学系科目	現代の経営	教育学入門								
	あなたと自然科学									
自然科学系科目	自然科学実験演習 1	生物学C 1	化学A 1	物理学B 1	数理科学C 1					
	自然科学実験演習 2 (4)	生物学C 2	化学A 2	物理学B 2	数理科学C 2					
保健体育系科目	生物学A 1	宇宙地球科学A 1	化学B 1	数理科学A 1	科学論A 1					
	生物学A 2	宇宙地球科学A 2	化学B 2	数理科学A 2	科学論A 2					
保健体育系科目	生物学B 1	宇宙地球科学B 1	物理学A 1	数理科学B 1	科学論B 1					
	生物学B 2	宇宙地球科学B 2	物理学A 2	数理科学B 2	科学論B 2					
英語	スポーツリテラシー (1)									
	スポーツウェルネス (1)									
英語	A Basics of English (RL) 1a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・General English は、英語「A・B群」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 				
	A Basics of English (RL) 1b (1)									
英語	Intermediate English (RL) 1a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 				
	Intermediate English (RL) 1b (1)									
英語	B Basics of English (SW) 1a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 				
	B Basics of English (SW) 1b (1)									
英語	Intermediate English (SW) 1a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 				
	Intermediate English (SW) 1b (1)									
英語	General English (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 				
	English Speaking a (1)	Computer Aided Instruction a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)						
英語	English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 				
	Advanced English a	English Presentation a	English Presentation b	English Writing a						
英語	Advanced English b	English Language and Cultures a	English Language and Cultures b	English Writing b		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 				
	English Language and Cultures a	English Language and Cultures b	English Language and Cultures a	English Language and Cultures b						
英語以外の外国語	ドイツ語初級1 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・各科目2単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。 				
	ドイツ語初級1 b (1)									
英語以外の外国語	ドイツ語初級2 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	ドイツ語初級2 b (1)									
英語以外の外国語	フランス語初級1 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	フランス語初級1 b (1)									
英語以外の外国語	フランス語初級2 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	フランス語初級2 b (1)									
英語以外の外国語	中国語初級1 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	中国語初級1 b (1)									
英語以外の外国語	中国語初級2 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	中国語初級2 b (1)									
英語以外の外国語	スペイン語初級1 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	スペイン語初級1 b (1)									
英語以外の外国語	スペイン語初級2 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	スペイン語初級2 b (1)									
英語以外の外国語	ロシア語初級1 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	ロシア語初級1 b (1)									
英語以外の外国語	ロシア語初級2 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	ロシア語初級2 b (1)									
英語以外の外国語	インドネシア語初級1 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	インドネシア語初級1 b (1)									
英語以外の外国語	インドネシア語初級2 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	インドネシア語初級2 b (1)									
英語以外の外国語	コリア語初級1 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	コリア語初級1 b (1)									
英語以外の外国語	コリア語初級2 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 				
	コリア語初級2 b (1)									
英語以外の外国語	ドイツ語中級1 a (1)	ドイツ語中級1 b (1)	中国語中級1 a (1)	中国語中級1 b (1)	ロシア語中級1 a (1)	ロシア語中級1 b (1)	コリア語中級1 a (1)	コリア語中級1 b (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。
	ドイツ語中級2 a (1)	ドイツ語中級2 b (1)	中国語中級2 a (1)	中国語中級2 b (1)	ロシア語中級2 a (1)	ロシア語中級2 b (1)	コリア語中級2 a (1)	コリア語中級2 b (1)		
英語以外の外国語	フランス語中級1 a (1)	フランス語中級1 b (1)	スペイン語中級1 a (1)	スペイン語中級1 b (1)	インドネシア語中級1 a (1)	インドネシア語中級1 b (1)	インドネシア語中級2 a (1)	インドネシア語中級2 b (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。
	フランス語中級2 a (1)	フランス語中級2 b (1)	スペイン語中級2 a (1)	スペイン語中級2 b (1)	インドネシア語中級2 a (1)	インドネシア語中級2 b (1)	インドネシア語中級2 a (1)	インドネシア語中級2 b (1)		
英語以外の外国語	ドイツ語上級1 a (1)	ドイツ語上級1 b (1)	フランス語上級1 a (1)	フランス語上級1 b (1)	中国語上級1 a (1)	中国語上級1 b (1)	スペイン語上級1 a (1)	スペイン語上級1 b (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。
	ドイツ語上級2 a (1)	ドイツ語上級2 b (1)	フランス語上級2 a (1)	フランス語上級2 b (1)	中国語上級2 a (1)	中国語上級2 b (1)	スペイン語上級2 a (1)	スペイン語上級2 b (1)		
英語以外の外国語	選択ドイツ語1 a (1)	選択ドイツ語1 b (1)	選択フランス語1 a (1)	選択フランス語1 b (1)	選択中国語1 a (1)	選択中国語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1)	選択イタリア語1 b (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を越えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。
	選択ドイツ語2 a (1)	選択ドイツ語2 b (1)	選択フランス語2 a (1)	選択フランス語2 b (1)	選択中国語2 a (1)	選択中国語2 b (1)	選択イタリア語2 a (1)	選択イタリア語2 b (1)		
英語以外の外国語	世界の言語と文化 (ドイツ語)	世界の言語と文化 (中国語)	世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (中国語)	世界の言語と文化 (ロシア語)	世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)	世界の言語と文化 (フランス語)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・「導入」と選択1 a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。
	世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (ドイツ語)	世界の言語と文化 (中国語)	世界の言語と文化 (ロシア語)	世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)	世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (ドイツ語)		
英語以外の外国語	言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)	言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)	言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 ・海外語学短期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。
	海外語学短期研修1 (外国語)	海外語学短期研修2 (外国語)	海外語学短期研修3 (外国語)	海外語学短期研修4 (外国語)	海外語学短期研修5 (外国語)	海外語学短期研修6 (外国語)	海外語学短期研修7 (外国語)	海外語学短期研修8 (外国語)		
単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)	単位互換4 (1)	単位互換5 (1)	単位互換6 (1)	単位互換7 (1)	単位互換8 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。
	単位互換9 (1)	単位互換10 (1)	単位互換11 (1)	単位互換12 (1)	単位互換13 (1)	単位互換14 (1)	単位互換15 (1)	単位互換16 (1)		
自由選択修得要件単位					28					

歴史学科

文学部環境地理学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考		
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール				2	・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 ・S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成(履修)することができます。		
	データ分析入門							
	データサイエンス入門							
	データサイエンス実践							
		A I基礎						
		データサイエンス活用演習						
	キャリア入門							
	キャリアマッチング							
	キャリア長期体験(プロジェクト型)							
			キャリア科目1					
		キャリア科目2						
			キャリア科目1					
			キャリア科目2					
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)				
S i応用科目		分野横断科目						
		S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)				
				S iゼミナール論文				
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		・卒業要件単位 10 単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンストスポーツの履修は、履修1科目を上限とし、次学期以降も履修にかかわらず履修することができます(修得単位の上限はありません)。		
	社会科学基礎科目	日本国憲法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	社会学入門 現代の社会学 社会学論 社会思想 教育学入門 子どもと社会の教育学	情報社会 はじめての経営 マーケティングベーシック 企業と会計				
	自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習 1 自然科学実験演習 2 (4)	生物学 C 1 生物学 C 2 宇宙地球科学 A 1 宇宙地球科学 A 2 宇宙地球科学 B 1 宇宙地球科学 B 2	化学 A 1 化学 A 2 化学 B 1 化学 B 2 物理学 A 1 物理学 A 2	物理学 B 1 物理学 B 2 数理学 A 1 数理学 A 2 数理学 B 1 数理学 B 2		数理学 C 1 数理学 C 2 科学論 A 1 科学論 A 2 科学論 B 1 科学論 B 2	
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) スポーツウェルネス (1)					2	
			アドバンストスポーツ スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サスティナブルスポーツ) スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)				
	英語	A Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または 群 Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)						・General English は、英語「A・B群」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 ・同一言語の科目をすべて(4科目4単位)履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。
		B Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または 群 Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)						
			General English (1)					
		English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)				
			Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b				
外国語科目		ドイツ語初級 1 a (1) ドイツ語初級 1 b (1) ドイツ語初級 2 a (1) ドイツ語初級 2 b (1) フランス語初級 1 a (1) フランス語初級 1 b (1) フランス語初級 2 a (1) フランス語初級 2 b (1) 中国語初級 1 a (1) 中国語初級 1 b (1) 中国語初級 2 a (1) 中国語初級 2 b (1) スペイン語初級 1 a (1) スペイン語初級 1 b (1) スペイン語初級 2 a (1) スペイン語初級 2 b (1) ロシア語初級 1 a (1) ロシア語初級 1 b (1) ロシア語初級 2 a (1) ロシア語初級 2 b (1) インドネシア語初級 1 a (1) インドネシア語初級 1 b (1) インドネシア語初級 2 a (1) インドネシア語初級 2 b (1) コリア語初級 1 a (1) コリア語初級 1 b (1) コリア語初級 2 a (1) コリア語初級 2 b (1)				4	・各科目2単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます、合計4単位まで修得することができます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・選択1 a・bを履修する場合には、同一言語の選択1 a・bをセットで履修してください。 ・「導入」と選択1 a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。	
		ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1) ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) ロシア語中級 2 a (1) ロシア語中級 2 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 2 a (1) インドネシア語中級 2 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1) コリア語中級 2 a (1) コリア語中級 2 b (1)				8		
			ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1) ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) ロシア語中級 2 a (1) ロシア語中級 2 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 2 a (1) インドネシア語中級 2 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1) コリア語中級 2 a (1) コリア語中級 2 b (1)					
			ドイツ語上級 1 a (1) ドイツ語上級 1 b (1) フランス語上級 1 a (1) フランス語上級 1 b (1) 中国語上級 1 a (1) 中国語上級 1 b (1) スペイン語上級 1 a (1) スペイン語上級 1 b (1)					
			選択ドイツ語 1 a (1) 選択ドイツ語 1 b (1) 選択フランス語 1 a (1) 選択フランス語 1 b (1) 選択中国語 1 a (1) 選択中国語 1 b (1)	選択スペイン語 1 a (1) 選択スペイン語 1 b (1) 選択ロシア語 1 a (1) 選択ロシア語 1 b (1) 選択コリア語 1 a (1) 選択コリア語 1 b (1) 選択アラビア語 1 a (1) 選択アラビア語 1 b (1)	選択イタリア語 1 a (1) 選択イタリア語 1 b (1)			
		世界の言語と文化 (ドイツ語) 世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (中国語) 世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (ロシア語) 世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)			
		言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)				
	海外語学研修	海外語学短期研修 1 (外国語)	海外語学短期研修 2 (外国語)					
		海外語学中期研修 1 (外国語) 海外語学中期研修 2 (外国語) 海外語学中期研修 3 (外国語)	海外語学中期研修 4 (外国語) 海外語学中期研修 5 (外国語) 海外語学中期研修 6 (外国語)	海外語学中期研修 7 (外国語) 海外語学中期研修 8 (外国語)				
	単位互換科目	単位互換 1	単位互換 2 (4)	単位互換 3 (1)				
自由選択修得要件単位					24			

環境地理学科

文学部ジャーナリズム学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考		
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール					<ul style="list-style-type: none"> 分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成（履修）することができます。 		
	データ分析入門							
	データサイエンス入門							
	データサイエンス実践							
		A I基礎						
		データサイエンス活用演習						
	キャリア入門							
	キャリアマッチング							
	キャリア長期体験（プロジェクト型）							
		キャリア科目1						
	キャリア科目2							
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)				
S i応用科目		分野横断科目						
		S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)				
人文科学基礎科目	日本の文化	歴史と地域・民衆	論理学入門			<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件単位 10 単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 アドバンストスポーツの履修は、前期1科目を上限とし、次学期以降も種目にかかわらず履修することができます。（修得単位の上限はありません）。 		
	日本の文学	歴史と社会・文化	ことばと論理					
	世界の文学	基礎心理学入門	芸術学入門					
	文学と現代世界	応用心理学入門	異文化理解の人類学					
	英語圏文学への招待	哲学						
	歴史の視点	倫理学						
	日本国憲法	地理学への招待	子どもと社会の教育学					
	法と社会	社会学入門	情報社会					
	政治学入門	現代の社会学	はじめての経営					
	政治の世界	社会学論	マーケティングベーシックス					
経済と社会	社会思想	企業と会計						
現代の経済	教育学入門							
社会科学基礎科目	あなたと自然科学							
	自然科学実験演習 1	生物科学C 1	化学A 1	物理学B 1	数理科学C 1			
	自然科学実験演習 2 (4)	生物科学C 2	化学A 2	物理学B 2	数理科学C 2			
	生物科学A 1	宇宙地球科学A 1	化学B 1	数理科学A 1	科学論A 1			
	生物科学A 2	宇宙地球科学A 2	化学B 2	数理科学A 2	科学論A 2			
	生物科学B 1	宇宙地球科学B 1	物理学A 1	数理科学B 1	科学論B 1			
	生物科学B 2	宇宙地球科学B 2	物理学A 2	数理科学B 2	科学論B 2			
	スポーツリテラシー (1)							
	スポーツウェルネス (1)							
			アドバンストスポーツ	スポーツ論 (サステイナブルスポーツ)	スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)			
英語	A Basics of English (RL) 1a (1)					<ul style="list-style-type: none"> General Englishは、英語「A・B群」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 同一言語の科目をすべて（4科目4単位）履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 		
	A Basics of English (RL) 1b (1)							
	群 Intermediate English (RL) 1a (1)							
	群 Intermediate English (RL) 1b (1)							
	B Basics of English (SW) 1a (1)							
	B Basics of English (SW) 1b (1)							
	群 Intermediate English (SW) 1a (1)							
	群 Intermediate English (SW) 1b (1)							
		General English (1)						
	English Speaking a (1)	Computer Aided Instruction a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)				
English Speaking b (1)	Advanced English a	English Presentation a	English Presentation b					
	Advanced English b	English Language and Cultures a	English Writing a					
	English Language and Cultures b	English Language and Cultures b	English Writing b					
外国語科目	ドイツ語初級1 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> 各科目2単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 各科目、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 選択1 a・bを履修する場合には、同一言語の選択1 a・bをセットで履修してください。 「導入」と選択1 a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 		
	ドイツ語初級1 b (1)							
	ドイツ語初級2 a (1)							
	ドイツ語初級2 b (1)							
	フランス語初級1 a (1)							
	フランス語初級1 b (1)							
	フランス語初級2 a (1)							
	フランス語初級2 b (1)							
	中国語初級1 a (1)							
	中国語初級1 b (1)							
中国語初級2 a (1)								
中国語初級2 b (1)								
スペイン語初級1 a (1)								
スペイン語初級1 b (1)								
スペイン語初級2 a (1)								
スペイン語初級2 b (1)								
ロシア語初級1 a (1)								
ロシア語初級1 b (1)								
ロシア語初級2 a (1)								
ロシア語初級2 b (1)								
インドネシア語初級1 a (1)								
インドネシア語初級1 b (1)								
インドネシア語初級2 a (1)								
インドネシア語初級2 b (1)								
コリア語初級1 a (1)								
コリア語初級1 b (1)								
コリア語初級2 a (1)								
コリア語初級2 b (1)								
英語以外の外国語	ドイツ語中級1 a (1)	ドイツ語中級1 b (1)	中国語中級1 a (1)	中国語中級1 b (1)	ロシア語中級1 a (1)	ロシア語中級1 b (1)	コリア語中級1 a (1)	コリア語中級1 b (1)
	ドイツ語中級2 a (1)	ドイツ語中級2 b (1)	中国語中級2 a (1)	中国語中級2 b (1)	ロシア語中級2 a (1)	ロシア語中級2 b (1)	コリア語中級2 a (1)	コリア語中級2 b (1)
	フランス語中級1 a (1)	フランス語中級1 b (1)	スペイン語中級1 a (1)	スペイン語中級1 b (1)	インドネシア語中級1 a (1)	インドネシア語中級1 b (1)	インドネシア語中級2 a (1)	インドネシア語中級2 b (1)
	フランス語中級2 a (1)	フランス語中級2 b (1)	スペイン語中級2 a (1)	スペイン語中級2 b (1)	インドネシア語中級2 a (1)	インドネシア語中級2 b (1)		
	ドイツ語上級1 a (1)	ドイツ語上級1 b (1)	フランス語上級1 a (1)	フランス語上級1 b (1)	中国語上級1 a (1)	中国語上級1 b (1)	スペイン語上級1 a (1)	スペイン語上級1 b (1)
	ドイツ語上級2 a (1)	ドイツ語上級2 b (1)	フランス語上級2 a (1)	フランス語上級2 b (1)	中国語上級2 a (1)	中国語上級2 b (1)	スペイン語上級2 a (1)	スペイン語上級2 b (1)
	選択ドイツ語1 a (1)	選択ドイツ語1 b (1)	選択フランス語1 a (1)	選択フランス語1 b (1)	選択中国語1 a (1)	選択中国語1 b (1)	選択ロシア語1 a (1)	選択ロシア語1 b (1)
	選択ドイツ語2 a (1)	選択ドイツ語2 b (1)	選択フランス語2 a (1)	選択フランス語2 b (1)	選択中国語2 a (1)	選択中国語2 b (1)	選択ロシア語2 a (1)	選択ロシア語2 b (1)
	世界の言語と文化 (ドイツ語)	世界の言語と文化 (中国語)	世界の言語と文化 (ロシア語)	世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)			
	世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (ロシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)			
	言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)					
海外語学短期研修 1 (外国語)	海外語学短期研修 2 (外国語)							
海外語学中期研修 1 (外国語)	海外語学中期研修 2 (外国語)	海外語学中期研修 3 (外国語)	海外語学中期研修 4 (外国語)	海外語学中期研修 5 (外国語)	海外語学中期研修 6 (外国語)	海外語学中期研修 7 (外国語)	海外語学中期研修 8 (外国語)	
単位互換科目	単位互換 1	単位互換 2 (4)	単位互換 3 (1)					
自由選択修得要件単位					24			

ジャーナリズム学科

ネットワーク情報学部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of NETWORK and INFORMATION

専修大学

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科 社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は, 単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

(2026(令和8)年度 入学用)

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考	
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー キャリア入門 キャリアマッチング キャリア長期体験(プロジェクト型)				2	2	
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)			
		分野横断科目					
		Siゼミナール1 (4)	Siゼミナール2 (4)	Siゼミナール3 (4)			
社会科学基礎科目			Siゼミナール論文				
人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		4	4	
	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 社会学論 社会思想 教育学入門	子どもと社会の教育学 マーケティングベーシック 企業と会計		2		
自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習1 自然科学実験演習2 (4)	生物学C1 生物学C2 宇宙地球科学A1 宇宙地球科学A2 宇宙地球科学B1 宇宙地球科学B2	化学A1 化学A2 化学B1 化学B2 理学A1 理学A2	物理学B1 物理学B2 数理科学A1 数理科学A2 数理科学B1 数理科学B2	数理科学C1 数理科学C2 科学論A1 科学論A2 科学論B1 科学論B2	4	
	スポーツリテラシー (1) スポーツウエルネス (1)				2		
英語		Basics of English (SW) 2a (1) Basics of English (SW) 2b (1) または Intermediate English (SW) 2a (1) Intermediate English (SW) 2b (1) General English (1)			2	20	
	English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)				
		Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b				
英語以外の外国語	ドイツ語初級1a (1) ドイツ語初級1b (1) ドイツ語初級2a (1) ドイツ語初級2b (1) フランス語初級1a (1) フランス語初級1b (1) フランス語初級2a (1) フランス語初級2b (1)	中国語初級1a (1) 中国語初級1b (1) 中国語初級2a (1) 中国語初級2b (1) スペイン語初級1a (1) スペイン語初級1b (1) スペイン語初級2a (1) スペイン語初級2b (1)	ロシア語初級1a (1) ロシア語初級1b (1) ロシア語初級2a (1) ロシア語初級2b (1) インドネシア語初級1a (1) インドネシア語初級1b (1) インドネシア語初級2a (1) インドネシア語初級2b (1)	コリア語初級1a (1) コリア語初級1b (1) コリア語初級2a (1) コリア語初級2b (1)		29	
	ドイツ語中級1a (1) ドイツ語中級1b (1) ドイツ語中級2a (1) ドイツ語中級2b (1) フランス語中級1a (1) フランス語中級1b (1) フランス語中級2a (1) フランス語中級2b (1)	中国語中級1a (1) 中国語中級1b (1) 中国語中級2a (1) 中国語中級2b (1) スペイン語中級1a (1) スペイン語中級1b (1) スペイン語中級2a (1) スペイン語中級2b (1)	ロシア語中級1a (1) ロシア語中級1b (1) ロシア語中級2a (1) ロシア語中級2b (1) インドネシア語中級1a (1) インドネシア語中級1b (1) インドネシア語中級2a (1) インドネシア語中級2b (1)	コリア語中級1a (1) コリア語中級1b (1) コリア語中級2a (1) コリア語中級2b (1)			
	ドイツ語上級1a (1) ドイツ語上級1b (1) フランス語上級1a (1) フランス語上級1b (1) 中国語上級1a (1) 中国語上級1b (1) スペイン語上級1a (1) スペイン語上級1b (1)	中国語上級1a (1) 中国語上級1b (1) 中国語上級2a (1) 中国語上級2b (1) インドネシア語上級1a (1) インドネシア語上級1b (1) インドネシア語上級2a (1) インドネシア語上級2b (1)	ロシア語上級1a (1) ロシア語上級1b (1) インドネシア語上級1a (1) インドネシア語上級1b (1) コリア語上級1a (1) コリア語上級1b (1)				
		選択ドイツ語1a (1) 選択ドイツ語1b (1) 選択フランス語1a (1) 選択フランス語1b (1) 選択中国語1a (1) 選択中国語1b (1) 選択スペイン語1a (1) 選択スペイン語1b (1)	選択ロシア語1a (1) 選択ロシア語1b (1) 選択アラビア語1a (1) 選択アラビア語1b (1) 選択イタリア語1a (1) 選択イタリア語1b (1)				
	世界の言語と文化(ドイツ語) 世界の言語と文化(フランス語)	世界の言語と文化(中国語) 世界の言語と文化(スペイン語)	世界の言語と文化(ロシア語) 世界の言語と文化(インドネシア語)	世界の言語と文化(コリア語)			
		言語文化研究(ヨーロッパ)	言語文化研究(アジア)	言語文化研究(アメリカ)			
	海外語学短期研修1(外国語)	海外語学短期研修2(外国語)					
	海外語学中期研修1(外国語) 海外語学中期研修2(外国語) 海外語学中期研修3(外国語)	海外語学中期研修4(外国語) 海外語学中期研修5(外国語) 海外語学中期研修6(外国語)	海外語学中期研修7(外国語) 海外語学中期研修8(外国語)				
	単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)			
		自由選択修得要件単位			備考欄参照		S・Dコース: 26 Cコース: 30

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科(Sコース) 専門科目一覧 (2026(令和8)年度 入学用)

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は, 単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考		
共通必修	情報と社会 コンピュータとネットワーク ネットワーク情報総論1 ネットワーク情報総論2 デジタルデータ基礎 情報表現演習 情報分析基礎 情報分析演習 入門プログラミング				20	20		
コース必修		基礎演習S (4)	情報キャリアデザイン	プロジェクト (4) 修了能力認定S (1)	9			
選択必修科目	数理系基礎科目	数理リテラシー 線形代数 基礎解析			4	4		
	応用演習		応用演習(ネットワークシステム) (4) 応用演習(データサイエンス) (4) 応用演習(フィジカルコンピューティング) (4) 応用演習(ITコンサルティング) (4)		4			
	高度演習		情報数理演習1 情報数理演習2 データサイエンス演習1	データサイエンス演習2 コンピュータサイエンス演習1 コンピュータサイエンス演習2	4			
	コース別		アルゴリズムとデータ構造1 アルゴリズムとデータ構造2 幾何学概論	情報数学1 情報数学2 人工知能入門	データ解析1 データ解析2		6	
選択科目	必修	リテラシー演習【1年次必修】 情報英語入門【1年次必修】 プログラミングと数理【1年次必修】				76		
		情報英語基礎 国際研修1 (1) 国際研修2 (1) 国際研修3 (1)	国際研修4 (1) 国際研修5 (1) 国際研修6 (1)	ITスキル実習1 (1) ITスキル実習2 (1) ITスキル実習3 (1)	ITスキル実習4 (1) ITスキル実習5 (1) ITスキル実習6 (1)			
		アニメーション インターネット情報システム Webアプリケーション 映像演習応用 映像演習基礎 映像表現 応用演習(コンテンツデザイン)(4) 応用演習(メディアコミュニケーション)(4) 応用プログラミング1 応用プログラミング2 応用プログラミング3 応用プログラミング4 オブジェクト指向技術 オペレーティングシステム 会計システム(管理会計) 会計システム(財務会計) 環境防災論 企業情報システム 基礎演習D(4) 教育とメディア グラフィックデザイン 経営学入門1 経営学入門2 経営分析 経済のモデル(マクロ経済学) 経済のモデル(ミクロ経済学) ゲームの理論	コミュニティ開発論 コンテンツ産業論 サービス情報システム 財務諸表論 システムモデリング 質的調査法 シミュレーション 社会調査法 情報英語発展(情報技術1) 情報英語発展(情報技術2) 情報英語発展(情報社会1) 情報英語発展(情報社会2) 情報デザイン 情報と法 情報リスク管理 情報理論 数学セミナー 数理論法 地域とメディア データ・AI活用演習 データベース 動的モデル 認知科学 ネットワークコミュニケーション ネットワークとマーケティング パソコンアーキテクチャ	ビジネスゲーム ビジネスプロセスデザイン ファイナンスプランニング フィジカルコンピューティング フィジカルコンピューティング開発論 プロジェクト実施技法 マーケティング メディアコンテンツ制作 メディア表現技法 メディア論 モデル分析 ユーザインタフェース UNIX 留学事前教育 特殊演習 特殊演習(1) 特殊講義 特殊講義(1) 寄付講座 寄付講座(1)	We bデザイン AI応用システム 応用確率統計 学習環境のデザイン 計算理論 情報システム管理 テーマ実習1 (1) テーマ実習2 (1) ラボ実習1 (1) ラボ実習2 (1)		政策科学 データマイニング フィールド演習 プロジェクトマネジメント 分散情報システム テーマ実習3 (1) テーマ実習4 (1) ラボ実習3 (1) ラボ実習4 (1) 卒業演習1 卒業演習2	
	年間履修上限単位数(教養科目含む)	42	38	36	48			
	自由選択修得要件単位	A. 卒業要件単位数を超えた以下の科目 ①社会知性基盤科目 ②教養科目、外国語科目 ③単位互換科目 ④専門科目 *卒業要件単位数を超えた選択必修科目の単位は選択科目の単位に算入され、さらに卒業要件単位数を超えた選択科目の単位は自由選択修得要件単位に算入されます。 B. 全学公開科目 C. 資格課程科目の一部の科目 *資格課程科目については、当該課程の学修ガイドブックを参照してください。					自由選択修得要件単位	26

●2年次への進級条件:	以下の指定科目から22単位以上修得していること。 社会知性基盤科目: 専修大学入門セミナー(2単位) 自然科学系科目: あなたと自然科学(2単位) 保健体育系科目: スポーツリテラシー(1単位), スポーツウエルネス(1単位) 専門科目: 必修科目(9科目18単位), 選択必修科目の数理系基礎科目(3科目6単位の中から2単位のみ充当), リテラシー演習(2単位), 情報英語入門(2単位), プログラミングと数理(2単位)	卒業要件単位	124
●プロジェクト履修の条件:	基礎演習または応用演習のうち、1科目以上単位を修得していること。		
●卒業見込証明書発行の条件:	3年次終了時に86単位以上修得していること。 ただし、発行条件を満たしていない場合でも前年度GPAが2.0以上であれば窓口での申請をもって発行ができる。		

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科(Dコース)専門科目一覧(2026(令和8)年度 入学者用)

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考
共通必修	情報と社会 コンピュータとネットワーク ネットワーク情報総論1 ネットワーク情報総論2 デジタルデータ基礎 情報表現演習 情報分析基礎 情報分析演習 入門プログラミング		情報キャリアデザイン		20	
コース必修		基礎演習D(4)	プロジェクト(4) フィールド演習	修了能力認定D(1)	11	
選択必修科目	数理系基礎科目	数理リテラシー 線形代数 基礎解析			2	超過修得単位は、専門選択科目の単位に算入されます。
	応用演習	応用演習(コンテンツデザイン)(4) 応用演習(メディアコミュニケーション)(4) 応用演習(デジタルマーケティング)(4) 応用演習(ITコンサルティング)(4)			4	
	コース別	オブジェクト指向技術 企業情報システム 教育とメディア グラフィックデザイン 経営分析 コミュニティ開発論	コンテンツ産業論 情報システム開発概論 情報デザイン 人工知能入門 ネットワークコミュニケーション ネットワークとマーケティング	フィジカルコンピューティング ユーザインタフェース		
必修	必修	リテラシー演習【1年次必修】 情報英語入門【1年次必修】 プログラミングと数理【1年次必修】			76	超過修得単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	必修	情報英語基礎 国際研修1(1) 国際研修2(1) 国際研修3(1)	国際研修4(1) 国際研修5(1) 国際研修6(1)	ITスキル実習1(1) ITスキル実習2(1) ITスキル実習3(1)		
選択科目	必修	アニメーション アルゴリズムとデータ構造1 アルゴリズムとデータ構造2 インターネット情報システム Webアプリケーション 映像演習応用 映像演習基礎 映像表現 応用演習(ネットワークシステム)(4) 応用演習(データサイエンス)(4) 応用プログラミング1 応用プログラミング2 応用プログラミング3 応用プログラミング4 オペレーティングシステム 会計システム(管理会計) 会計システム(財務会計) 環境防災論 幾何学概論 基礎演習S(4) 経営学入門1 経営学入門2 経済のモデル(マクロ経済学) 経済のモデル(ミクロ経済学)	ゲームの理論 サービス情報システム 財務諸表論 システムモデリング 質的調査法 シミュレーション 社会調査法 情報英語発展(情報技術1) 情報英語発展(情報技術2) 情報英語発展(情報社会1) 情報英語発展(情報社会2) 情報数学1 情報数学2 情報と法 情報リスク管理 情報理論 数学セミナー 数値計画法 地域とメディア データ・AI活用演習	認知科学 パソコンアーキテクチャ ビジネスゲーム ビジネスプロセスデザイン ファイナンスプランニング フィジカルコンピューティング開発論 プロジェクト実施技法 マーケティング メディアコンテンツ制作 メディア表現技法 メディア論 モデル分析 UNIX 留学事前教育 特殊演習 特殊演習(1) 特殊講義 特殊講義(1) 寄付講座 寄付講座(1)		29
	選択科目	Webデザイン AI応用システム 応用確率統計 学習環境のデザイン 計算理論 コンピュータサイエンス演習1 コンピュータサイエンス演習2 情報システム管理 テーマ実習1(1) テーマ実習2(1) ラボ実習1(1) ラボ実習2(1)	情報数理演習1 情報数理演習2 政策科学 データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 データマイニング プロジェクトマネジメント 分散情報システム テーマ実習3(1) テーマ実習4(1) ラボ実習3(1) ラボ実習4(1)	情報数理演習1 情報数理演習2 政策科学 データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 データマイニング プロジェクトマネジメント 分散情報システム テーマ実習5(1) テーマ実習6(1) ラボ実習5(1) ラボ実習6(1) 卒業演習1 卒業演習2		
年間履修上限単位数(教養科目含む)	42	38	36	48		
自由選択修得要件単位	A. 卒業要件単位数を超えた以下の科目 ①社会知性基盤科目 ②教養科目、外国語科目 ③単位互換科目 ④専門科目 *卒業要件単位数を超えた選択必修科目の単位は選択科目の単位に算入され、さらに卒業要件単位数を超えた選択科目の単位は自由選択修得要件単位に算入されます。 B. 全学公開科目 C. 資格課程科目の一部の科目 *資格課程科目については、当該課程の学修ガイドブックを参照してください。				自由選択修得要件単位計	26

- 2年次への進級条件: 以下の指定科目から22単位以上修得していること。
社会知性基盤科目: 専修大学入門ゼミナール(2単位)
自然科学系科目: あなたと自然科学(2単位)
保健体育系科目: スポーツリテラシー(1単位), スポーツウェルネス(1単位)
専門科目: 必修科目(9科目18単位), 選択必修科目の数理系基礎科目(3科目6単位の中から2単位のみ充当), リテラシー演習(2単位), 情報英語入門(2単位), プログラミングと数理(2単位)
- プロジェクト履修の条件: 基礎演習または応用演習のうち、1科目以上単位を修得していること。
- 卒業見込証明書発行の条件: 3年次終了時に86単位以上修得していること。
ただし、発行条件を満たしていない場合でも前年度GPAが2.0以上であれば窓口での申請をもって発行ができる。

卒業要件単位	124
--------	-----

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科(Cコース)専門科目一覧(2026(令和8)年度 入学者用)

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考
共通必修	情報と社会 コンピュータとネットワーク ネットワーク情報総論1 ネットワーク情報総論2 デジタルデータ基礎 情報表現演習 情報分析基礎 情報分析演習 入門プログラミング		情報キャリアデザイン	修了能力認定C(1)	20	
コース必修		留学事前教育			3	
必修	必修	数理リテラシー 線形代数 基礎解析			2	超過修得単位は、専門選択科目の単位に算入されます。
	必修	基礎演習S(4) 基礎演習D(4) 応用演習(ネットワークシステム)(4) 応用演習(データサイエンス)(4) 応用演習(コンテンツデザイン)(4) 応用演習(メディアコミュニケーション)(4) 応用演習(フィジカルコンピューティング)(4) 応用演習(ITコンサルティング)(4)	プロジェクト(4) フィールド演習 情報数理演習1 情報数理演習2	データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 コンピュータサイエンス演習1 コンピュータサイエンス演習2	12	
選択必修科目	演習(情報)	テーマ実習1(1) テーマ実習2(1)	テーマ実習3(1) テーマ実習4(1)	テーマ実習5(1) テーマ実習6(1) 卒業演習1 卒業演習2		超過修得単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	演習(留学)	国際演習A1(1) 国際演習B1(1) 国際演習C1(1) 国際演習D1(1) 国際演習E1(1) 国際演習F1(1)	国際演習A2 国際演習B2 国際演習C2 国際演習D2 国際演習E2 国際演習F2		4	
必修	必修	リテラシー演習【1年次必修】 情報英語入門【1年次必修】 プログラミングと数理【1年次必修】			72	超過修得単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	必修	情報英語基礎 国際研修1(1) 国際研修2(1) 国際研修3(1) 国際研修4(1) 国際研修5(1) 国際研修6(1)	国際研修1(1) 国際研修2(1) 国際研修3(1) 国際研修4(1) 国際研修5(1) 国際研修6(1)	ITスキル実習1(1) ITスキル実習2(1) ITスキル実習3(1) ITスキル実習4(1) ITスキル実習5(1) ITスキル実習6(1)		
選択科目	必修	アニメーション アルゴリズムとデータ構造1 アルゴリズムとデータ構造2 インターネット情報システム Webアプリケーション 映像演習応用 映像演習基礎 映像表現 応用演習(ネットワークシステム)(4) 応用演習(データサイエンス)(4) 応用プログラミング1 応用プログラミング2 応用プログラミング3 応用プログラミング4 オペレーティングシステム 会計システム(管理会計) 会計システム(財務会計) 環境防災論 幾何学概論 基礎演習S(4) 経営学入門1 経営学入門2 経済のモデル(マクロ経済学) 経済のモデル(ミクロ経済学)	ゲームの理論 サービス情報システム 財務諸表論 システムモデリング 質的調査法 シミュレーション 社会調査法 情報英語発展(情報技術1) 情報英語発展(情報技術2) 情報英語発展(情報社会1) 情報英語発展(情報社会2) 情報数学1 情報数学2 情報と法 情報リスク管理 情報理論 数学セミナー 数値計画法 地域とメディア データ・AI活用演習	認知科学 パソコンアーキテクチャ ビジネスゲーム ビジネスプロセスデザイン ファイナンスプランニング フィジカルコンピューティング開発論 プロジェクト実施技法 マーケティング メディアコンテンツ制作 メディア表現技法 メディア論 モデル分析 UNIX 留学事前教育 特殊演習 特殊演習(1) 特殊講義 特殊講義(1) 寄付講座 寄付講座(1)		29
	選択科目	Webデザイン AI応用システム 応用確率統計 学習環境のデザイン 計算理論 コンピュータサイエンス演習1 コンピュータサイエンス演習2 情報システム管理 テーマ実習1(1) テーマ実習2(1) ラボ実習1(1) ラボ実習2(1)	情報数理演習1 情報数理演習2 政策科学 データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 データマイニング プロジェクトマネジメント 分散情報システム テーマ実習3(1) テーマ実習4(1) ラボ実習3(1) ラボ実習4(1)	情報数理演習1 情報数理演習2 政策科学 データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 データマイニング プロジェクトマネジメント 分散情報システム テーマ実習5(1) テーマ実習6(1) ラボ実習5(1) ラボ実習6(1) 卒業演習1 卒業演習2		
年間履修上限単位数(教養科目含む)	42	38	36	48		
自由選択修得要件単位	A. 卒業要件単位数を超えた以下の科目 ①社会知性基盤科目 ②教養科目、外国語科目 ③単位互換科目 ④専門科目 *卒業要件単位数を超えた選択必修科目の単位は選択科目の単位に算入され、さらに卒業要件単位数を超えた選択科目の単位は自由選択修得要件単位に算入されます。 B. 全学公開科目 C. 資格課程科目の一部の科目 *資格課程科目については、当該課程の学修ガイドブックを参照してください。				自由選択修得要件単位計	30

- 2年次への進級条件: 以下の指定科目から22単位以上修得していること。
社会知性基盤科目: 専修大学入門ゼミナール(2単位)
自然科学系科目: あなたと自然科学(2単位)
保健体育系科目: スポーツリテラシー(1単位), スポーツウェルネス(1単位)
専門科目: 必修科目(9科目18単位), 選択必修科目の数理系基礎科目(3科目6単位の中から2単位のみ充当), リテラシー演習(2単位), 情報英語入門(2単位), プログラミングと数理(2単位)
- プロジェクト履修の条件: 基礎演習または応用演習のうち、1科目以上単位を修得していること。
- 卒業見込証明書発行の条件: 3年次終了時に86単位以上修得していること。
ただし、発行条件を満たしていない場合でも前年度GPAが2.0以上であれば窓口での申請をもって発行ができる。

卒業要件単位	124
--------	-----

人間科学部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of HUMAN SCIENCES

専修大学

人間科学部心理学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考		
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー データサイエンス入門 データサイエンス実践					<ul style="list-style-type: none"> 分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。 S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を履修し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合は作成 (履修) することができます。 		
	キャリア入門 キャリアマッチング キャリア長期体験 (プロジェクト型)	AI基礎 データサイエンス活用演習						
		キャリア科目1 キャリア科目2						
		グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)			
	S i応用科目	分野横断科目	S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)			
			S iゼミナール論文					
	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 哲学 倫理学 論理学入門 とばと論理	芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代			8	<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件単位 10 単位を超えて履修した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を履修していなければ、履修することができません。 アドバンススポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修目にかかわらず履修することができます (修得単位の上限はありません)。
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 社会学論 社会思想 教育学入門	子どもと社会の教育学 情報社会 はじめての経営 マーケティングベーシックス 企業と会計			10	
	自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習 1 自然科学実験演習 2 (4)	生物科学 C 1 生物科学 C 2 宇宙地球科学 A 1 宇宙地球科学 A 2 宇宙地球科学 B 1 宇宙地球科学 B 2	化学 A 1 化学 A 2 化学 B 1 化学 B 2 物理学 A 1 物理学 A 2	物理学 B 1 物理学 B 2 数理科学 A 1 数理科学 A 2 数理科学 B 1 数理科学 B 2		数理科学 C 1 数理科学 C 2 科学論 A 1 科学論 A 2 科学論 B 1 科学論 B 2	
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) スポーツウェルネス (1)		アドバンススポーツ スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サステナブルスポーツ) スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)		2	
英語	A 群 B 群	Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1) Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)	General English (1)		4	<ul style="list-style-type: none"> General English は、英語「A・B群」を履修したうえで、単位を履修できなかった場合に履修する科目です。 		
		English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)		<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 		
		Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b					
	外国語科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級 1 a (1) ドイツ語初級 1 b (1) ドイツ語初級 2 a (1) ドイツ語初級 2 b (1) フランス語初級 1 a (1) フランス語初級 1 b (1) フランス語初級 2 a (1) フランス語初級 2 b (1) 中国語初級 1 a (1) 中国語初級 1 b (1) 中国語初級 2 a (1) 中国語初級 2 b (1) スペイン語初級 1 a (1) スペイン語初級 1 b (1) スペイン語初級 2 a (1) スペイン語初級 2 b (1) ロシア語初級 1 a (1) ロシア語初級 1 b (1) ロシア語初級 2 a (1) ロシア語初級 2 b (1) インドネシア語初級 1 a (1) インドネシア語初級 1 b (1) インドネシア語初級 2 a (1) インドネシア語初級 2 b (1) コリア語初級 1 a (1) コリア語初級 1 b (1) コリア語初級 2 a (1) コリア語初級 2 b (1)	ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1)	ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) ロシア語中級 2 a (1) ロシア語中級 2 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 2 a (1) インドネシア語中級 2 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1) コリア語中級 2 a (1) コリア語中級 2 b (1)	ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1)	4	
			ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1)	ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1)	ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) ロシア語中級 2 a (1) ロシア語中級 2 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 2 a (1) インドネシア語中級 2 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1) コリア語中級 2 a (1) コリア語中級 2 b (1)	8	<ul style="list-style-type: none"> 各科目2単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。 	
				ドイツ語上級 1 a (1) ドイツ語上級 1 b (1) フランス語上級 1 a (1) フランス語上級 1 b (1) 中国語上級 1 a (1) 中国語上級 1 b (1) スペイン語上級 1 a (1) スペイン語上級 1 b (1)	ロシア語上級 1 a (1) ロシア語上級 1 b (1) インドネシア語上級 1 a (1) インドネシア語上級 1 b (1) コリア語上級 1 a (1) コリア語上級 1 b (1)		<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 各科目、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 	
			選択ドイツ語 1 a (1) 選択ドイツ語 1 b (1) 選択フランス語 1 a (1) 選択フランス語 1 b (1) 選択中国語 1 a (1) 選択中国語 1 b (1)	選択スペイン語 1 a (1) 選択スペイン語 1 b (1) 選択ロシア語 1 a (1) 選択ロシア語 1 b (1) 選択アラビア語 1 a (1) 選択アラビア語 1 b (1)	選択イタリア語 1 a (1) 選択イタリア語 1 b (1)		<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 選択1 a・bを履修する場合には、同一言語の選択1 a・bをセットで履修してください。 「選択」と選択1 a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 	
		世界の言語と文化 (ドイツ語) 世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (中国語) 世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (ロシア語) 世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)		<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 	
		言語文化研究 (ヨーロッパ)		言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)			
海外語学研修		海外語学短期研修 1 (外国語)	海外語学短期研修 2 (外国語)				<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 	
		海外語学中期研修 1 (外国語) 海外語学中期研修 2 (外国語) 海外語学中期研修 3 (外国語)	海外語学中期研修 4 (外国語) 海外語学中期研修 5 (外国語) 海外語学中期研修 6 (外国語)	海外語学中期研修 7 (外国語) 海外語学中期研修 8 (外国語)				
単位互換科目		単位互換 1	単位互換 2 (4)	単位互換 3 (1)			<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。 	
自由選択修得要件単位					22			

人間科学部社会科学 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業要件単位	備考		
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー				2	・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同年度での複数履修も可能）。 ・S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成（履修）することができます。		
	データサイエンス入門							
	データサイエンス実践							
		A1基礎						
		データサイエンス活用演習						
	キャリア入門		キャリア科目1					
	キャリアマッチング		キャリア科目2					
	キャリア長期体験（プロジェクト型）							
		グローバルスタディ（1）	グローバルスタディ	グローバルスタディ（3）	グローバルスタディ（4）			
S i応用科目		分野横断科目						
		S iゼミナール1（4）	S iゼミナール2（4）	S iゼミナール3（4）				
人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視座	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代			・卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンストスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修目にかかわらず履修することができます（修得単位の上限はありません）。		
社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	地理学への招待 社会科学論 社会思想 教育学入門 子どもと社会の教育学 情報社会	はじめての経営 マーケティングベーシックス 企業と会計		8			
自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習1 自然科学実験演習2（4） 生物科学A1 生物科学A2 生物科学B1 生物科学B2	生物科学C1 生物科学C2 宇宙地球科学A1 宇宙地球科学A2 物理科学B1 宇宙地球科学B2	化学A1 化学A2 化学B1 化学B2 物理科学A1 物理科学A2	物理学B1 物理学B2 数理科学A1 数理科学A2 数理科学B1 数理科学B2	数理科学C1 数理科学C2 科学論A1 科学論A2 科学論B1 科学論B2		10	
保健体育系科目	スポーツリテラシー（1） スポーツウェルネス（1）		アドバンストスポーツ スポーツ論（ウェルビーイング）	スポーツ論（サステナブルスポーツ） スポーツ論（ハイパフォーマンススポーツ）	2			
英語	A Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または 群 Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)					・General Englishは、英語「A・B群」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。		
	B Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または 群 Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)							
		General English (1)						
		English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)				
外国語科目	ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1) 中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1) ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1) コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)					・同一言語の科目をすべて（4科目4単位）履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 ・各科目2単位まで修得することができます。ただし、同年度に同一科目を履修することはできません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。		
	ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1)	中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1)	ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1)	インドネシア語中級1 a (1) インドネシア語中級1 b (1) インドネシア語中級2 a (1) インドネシア語中級2 b (1)	コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)		4	
	ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1)	中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1)	ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1)	インドネシア語中級1 a (1) インドネシア語中級1 b (1) インドネシア語中級2 a (1) インドネシア語中級2 b (1)	コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)		8	
	ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1)	中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1)	ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1)	インドネシア語中級1 a (1) インドネシア語中級1 b (1) インドネシア語中級2 a (1) インドネシア語中級2 b (1)	コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)			
			ドイツ語上級1 a (1) ドイツ語上級1 b (1) フランス語上級1 a (1) フランス語上級1 b (1) 中国語上級1 a (1) 中国語上級1 b (1) スペイン語上級1 a (1) スペイン語上級1 b (1)	ロシア語上級1 a (1) ロシア語上級1 b (1) インドネシア語上級1 a (1) インドネシア語上級1 b (1)	コリア語上級1 a (1) コリア語上級1 b (1) コリア語上級2 a (1) コリア語上級2 b (1)			
			選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1)	選択スペイン語1 a (1) 選択スペイン語1 b (1) 選択ロシア語1 a (1) 選択ロシア語1 b (1) 選択アラビア語1 a (1) 選択アラビア語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)			
	世界の言語と文化（ドイツ語） 世界の言語と文化（フランス語）	世界の言語と文化（中国語） 世界の言語と文化（スペイン語）	世界の言語と文化（ロシア語） 世界の言語と文化（インドネシア語）	世界の言語と文化（コリア語）				
		言語文化研究（ヨーロッパ）	言語文化研究（アジア）	言語文化研究（アメリカ）				
	海外語学研修	海外語学短期研修1（外国語） 海外語学中期研修1（外国語） 海外語学中期研修2（外国語） 海外語学中期研修3（外国語）	海外語学短期研修2（外国語）	海外語学中期研修4（外国語） 海外語学中期研修5（外国語） 海外語学中期研修6（外国語）	海外語学中期研修7（外国語） 海外語学中期研修8（外国語）			・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 ・海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。
	単位互換科目	単位互換1	単位互換2（4）	単位互換3（1）				・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同年度での複数履修も可能）。

自由選択修得要件単位

20

社会科学

国際コミュニケーション学部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of INTERNATIONAL COMMUNICATION

専修大学

国際コミュニケーション学部日本語学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覽

○：必修 ◎：選択必修 △：選択 ▲：必修履

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位	備 考				
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー ▲					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・グローバルスタディは、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができますが、担当教員が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 ・S iゼミナル論文は、S iゼミナルの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナルを履修する場合には作成（履修）することができます。 				
	データサイエンス入門 ▲									
	データサイエンス実践 ▲		A i基礎 ▲							
			データサイエンス活用演習 ▲							
	キャリア入門 △									
	キャリアマッチング △									
	キャリア長期体験（プロジェクト型） △									
			キャリア科目1 △							
			キャリア科目2 △							
		グローバルスタディ (1) △	グローバルスタディ △	グローバルスタディ (3) △	グローバルスタディ (4) △					
S i 応用科目		分野横断科目 △								
		S iゼミナル1 (4) △	S iゼミナル2 (4) △	S iゼミナル3 (4) △						
			S iゼミナル論文 △							
教養科目	人文科学基礎科目	歴史の視点 △ 倫理学 △ 基礎心理学入門 △ 応用心理学入門 △ 哲学 △	ジャーナリズムと現代 △			<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンスドスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウォルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンスドスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も種目にかかわらず履修することができます（修得単位の上限はありません）。 				
	社会科学基礎科目	日本国憲法 △ 法と社会 △ 政治の世界 △ 経済と社会 △ 現代の経済 △	地理学の招待 △ 社会学入門 △ 現代の社会学 △ 社会科学論 △ 社会思想 △ 教育学入門 △	子どもと社会の教育学 △ 情報社会 △ ばじめでの経営 △ マーケティングベーシックス △ 企業と会計 △						
	自然科学系科目	あなたと自然科学 ▲								
		生物科学A 1 △ 生物科学A 2 △ 生物科学B 1 △ 生物科学B 2 △ 生物科学C 1 △ 生物科学C 2 △	宇宙地球科学A 1 △ 宇宙地球科学A 2 △ 宇宙地球科学B 1 △ 宇宙地球科学B 2 △ 化学A 1 △ 化学A 2 △	化学B 1 △ 化学B 2 △ 物理学A 1 △ 物理学A 2 △ 物理学B 1 △ 物理学B 2 △ 数理科学C 1 ▲ 数理科学C 2 ▲	科学論A 1 △ 科学論A 2 △ 科学論B 1 △ 科学論B 2 △					
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) ◎ スポーツウォルネス (1) ◎								
			アドバンスドスポーツ ◎ スポーツ論（ウェルビーイング）◎	スポーツ論（サステイナブルスポーツ）◎	スポーツ論（ハイパフォーマンススポーツ）◎					
	英 語	A 群	Basics of English (RL) 1a (1) ◎ Basics of English (RL) 1b (1) ◎					<ul style="list-style-type: none"> ・General Englishは、英語「A・B群」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 		
		B 群	Basics of English (SW) 1a (1) ◎ Basics of English (SW) 1b (1) ◎							
			Intermediate English (RL) 1a (1) ◎ Intermediate English (RL) 1b (1) ◎							
			Intermediate English (SW) 1a (1) ◎ Intermediate English (SW) 1b (1) ◎							
			English Speaking a (1) △ English Speaking b (1) △	Computer Aided Instruction a (1) △ Computer Aided Instruction b (1) △	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) △ Computer Aided Instruction for TOEIC b (1) △					
			Advanced English a △ Advanced English b △	English Presentation a △ English Presentation b △	English Language and Cultures a △ English Language and Cultures b △	English Writing a △ English Writing b △				
外国語科目	英 語 以 外 の 外 国 語	ドイツ語初級1 a (1) ◎ ドイツ語初級1 b (1) ◎ ドイツ語初級2 a (1) ◎ ドイツ語初級2 b (1) ◎				<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で英語以外の外国語「導入」から同一言語の初級1 a・bと初級2 a・bを履修しなければなりません。 ・同一言語の科目をすべて（4科目4単位）履修している、あるいは履修している場合、他の言語を履修することはできません。 				
		フランス語初級1 a (1) ◎ フランス語初級1 b (1) ◎ フランス語初級2 a (1) ◎ フランス語初級2 b (1) ◎								
		中国語初級1 a (1) ◎ 中国語初級1 b (1) ◎ 中国語初級2 a (1) ◎ 中国語初級2 b (1) ◎								
		スペイン語初級1 a (1) ◎ スペイン語初級1 b (1) ◎ スペイン語初級2 a (1) ◎ スペイン語初級2 b (1) ◎								
		ロシア語初級1 a (1) ◎ ロシア語初級1 b (1) ◎ ロシア語初級2 a (1) ◎ ロシア語初級2 b (1) ◎								
		インドネシア語初級1 a (1) ◎ インドネシア語初級1 b (1) ◎ インドネシア語初級2 a (1) ◎ インドネシア語初級2 b (1) ◎								
		コリア語初級1 a (1) ◎ コリア語初級1 b (1) ◎ コリア語初級2 a (1) ◎ コリア語初級2 b (1) ◎								
			ドイツ語中級1 a (1) △ ドイツ語中級1 b (1) △ ドイツ語中級2 a (1) △ ドイツ語中級2 b (1) △	中国語中級1 a (1) △ 中国語中級1 b (1) △ 中国語中級2 a (1) △ 中国語中級2 b (1) △	スペイン語中級1 a (1) △ スペイン語中級1 b (1) △ スペイン語中級2 a (1) △ スペイン語中級2 b (1) △		ロシア語中級1 a (1) △ ロシア語中級1 b (1) △ ロシア語中級2 a (1) △ ロシア語中級2 b (1) △	インドネシア語中級1 a (1) △ インドネシア語中級1 b (1) △ インドネシア語中級2 a (1) △ インドネシア語中級2 b (1) △	コリア語中級1 a (1) △ コリア語中級1 b (1) △ コリア語中級2 a (1) △ コリア語中級2 b (1) △	
					ドイツ語上級1 a (1) △ ドイツ語上級1 b (1) △ フランス語上級1 a (1) △ フランス語上級1 b (1) △		中国語上級1 a (1) △ 中国語上級1 b (1) △ 中国語上級2 a (1) △ 中国語上級2 b (1) △	スペイン語上級1 a (1) △ スペイン語上級1 b (1) △	ロシア語上級1 a (1) △ ロシア語上級1 b (1) △ インドネシア語上級1 a (1) △ インドネシア語上級1 b (1) △	コリア語上級1 a (1) △ コリア語上級1 b (1) △
					選択ドイツ語1 a (1) △ 選択ドイツ語1 b (1) △ 選択フランス語1 a (1) △ 選択フランス語1 b (1) △		選択スペイン語1 a (1) △ 選択スペイン語1 b (1) △	選択イタリア語1 a (1) △ 選択イタリア語1 b (1) △		
	世界の言語と文化（ドイツ語） △ 世界の言語と文化（フランス語） △	世界の言語と文化（中国語） △ 世界の言語と文化（スペイン語） △	世界の言語と文化（ロシア語） △ 世界の言語と文化（インドネシア語） △	世界の言語と文化（コリア語） △						
		言語文化研究（ヨーロッパ） △	言語文化研究（アジア） △	言語文化研究（アメリカ） △						
海外語学研修	海外語学短期研修1（外国語） △	海外語学短期研修2（外国語） △				<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 ・海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 				
		海外語学中期研修1（外国語） △ 海外語学中期研修2（外国語） △ 海外語学中期研修3（外国語） △	海外語学中期研修4（外国語） △ 海外語学中期研修5（外国語） △ 海外語学中期研修6（外国語） △	海外語学中期研修7（外国語） △ 海外語学中期研修8（外国語） △						
単位互換科目	単位互換1 △	単位互換2 (4) △	単位互換3 (1) △			<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 				

自由選択修得要件単位

32

国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科 社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覧

○：必修 ◎：選択必修 △：選択 ▲：必修履

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位	備 考			
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー【▲】 データ分析入門【▲】 データサイエンス入門【▲】 データサイエンス実践【△】					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・グローバルスタディは、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができ、括弧が付されていない場合には、担当教員が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 ・S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成（履修）することができます。 			
		A i基礎【△】 データサイエンス活用演習【△】							
	キャリア入門【△】								
	キャリアマッチング【△】								
	キャリア長期体験（プロジェクト型）【△】								
		キャリア科目1【△】							
		キャリア科目2【△】							
		グローバルスタディ (1)【△】	グローバルスタディ【△】	グローバルスタディ (3)【△】	グローバルスタディ (4)【△】				
			分野横断科目【△】						
	S i応用科目		S iゼミナール1 (4)【△】	S iゼミナール2 (4)【△】	S iゼミナール3 (4)【△】				
			S iゼミナール論文【△】						
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文学【△】 歴史の視点【△】 基礎心理学入門【△】 応用心理学入門【△】	哲学【△】 倫理学【△】 論理学入門【△】 ことばと論理【△】	芸術学入門【△】 ジャーナリズムと現代【△】		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していない場合は、履修することができません。 ・アドバンストスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修することができます（修得単位の上限はありません）。 			
	社会科学基礎科目	日本国憲法【△】 法と社会【△】 政治学入門【△】 経済と社会【△】 現代の経済【△】	地理学への招待【△】 社会学入門【△】 現代の社会学【△】 社会思想【△】 教育学入門【△】	子どもと社会の教育学【△】 情報社会【△】 はじめての経営【△】 マーケティングパーシックス【△】 企業と会計【△】					
	自然科学系科目	あなたと自然科学【▲】 生物科学A1【△】 生物科学A2【△】 生物科学B1【△】 生物科学B2【△】 生物科学C1【△】 生物科学C2【△】	宇宙地球科学A1【△】 宇宙地球科学A2【△】 宇宙地球科学B1【△】 宇宙地球科学B2【△】 化学A1【△】 化学A2【△】	化学B1【△】 化学B2【△】 物理学A1【△】 物理学A2【△】 物理学B1【△】 物理学B2【△】	数理学A1【△】 数理学A2【△】 数理学B1【△】 数理学B2【△】 数理学C1【△】 数理学C2【△】		科学論A1【△】 科学論A2【△】 科学論B1【△】 科学論B2【△】		
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1)【○】 スポーツウェルネス (1)【○】					2		
			アドバンストスポーツ【○】 スポーツ論（ウェルビーイング）【○】	スポーツ論（サステイナブルスポーツ）【○】 スポーツ論（ハイパフォーマンススポーツ）【○】					
	英語		Advanced English a【△】 Advanced English b【△】	English Language and Cultures a【△】 English Language and Cultures b【△】					
	外国語科目	導入	ロシア語初級1 a (1)【△】 ロシア語初級1 b (1)【△】 ロシア語初級2 a (1)【△】 ロシア語初級2 b (1)【△】 インドネシア語初級1 a (1)【△】 インドネシア語初級1 b (1)【△】 インドネシア語初級2 a (1)【△】 インドネシア語初級2 b (1)【△】					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・Advanced English a・b, English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 ・「基礎」の各科目は、2単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。 ・「応用」の各科目は、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 ・選択1 a・bを履修する場合には、同一言語の選択1 a・bをセットで履修してください。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合は短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合は短期研修2に認定されます。 ・海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合は認定されます。 	
		基礎		ロシア語中級1 a (1)【△】 ロシア語中級1 b (1)【△】 ロシア語中級2 a (1)【△】 ロシア語中級2 b (1)【△】 インドネシア語中級1 a (1)【△】 インドネシア語中級1 b (1)【△】 インドネシア語中級2 a (1)【△】 インドネシア語中級2 b (1)【△】					
		応用			ロシア語上級1 a (1)【△】 ロシア語上級1 b (1)【△】 インドネシア語上級1 a (1)【△】 インドネシア語上級1 b (1)【△】				
				選択ドイツ語1 a (1)【△】 選択ドイツ語1 b (1)【△】 選択フランス語1 a (1)【△】 選択フランス語1 b (1)【△】 選択中国語1 a (1)【△】 選択中国語1 b (1)【△】	選択スペイン語1 a (1)【△】 選択スペイン語1 b (1)【△】 選択ロシア語1 a (1)【△】 選択ロシア語1 b (1)【△】 選択アラビア語1 a (1)【△】 選択アラビア語1 b (1)【△】		選択イタリア語1 a (1)【△】 選択イタリア語1 b (1)【△】		
海外語学研修		海外語学短期研修1 (外国語)【△】	海外語学短期研修2 (外国語)【△】						
			海外語学中期研修1 (外国語)【△】 海外語学中期研修2 (外国語)【△】 海外語学中期研修3 (外国語)【△】	海外語学中期研修4 (外国語)【△】 海外語学中期研修5 (外国語)【△】 海外語学中期研修6 (外国語)【△】	海外語学中期研修7 (外国語)【△】 海外語学中期研修8 (外国語)【△】				
単位互換科目		単位互換1【△】	単位互換2 (4)【△】	単位互換3 (1)【△】					

自由選択修得要件単位	25
------------	----

大学等名	専修大学	申請レベル	応用基礎レベル（大学等単位）
教育プログラム名	SIデータサイエンス教育プログラム（応用基礎レベル）	申請年度	令和6年度

取組概要

プログラムの目的・身に付けられる能力

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会に変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身に付けることが、本教育プログラムの第一の目的です。

その上で、各学部教育および全学部教育を通して、データサイエンスの知見も駆使できる人材を育成することを目指します。

対象

全学部全学科（2023年度以降入学者）
※ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科は、2019年度以降入学者

実施体制

役割	委員会等
プログラムの運営責任者	専修大学数理・データサイエンス・A 教育運営委員会
プログラムの改善・進化	専修大学数理・データサイエンス・A 教育運営委員会
プログラムの自己点検・評価	専修大学 自己点検・評価委員会 数理・データサイエンス・A 教育関係自己点検・評価実施委員会

開講されている科目の構成・修了要件（2026年度以降入学者）

○必修 ◎選択必修

学部	学科	科目				修了要件
		A群	B群	C群	D群	
経済	現代経済	統計学基礎○	データサイエンス実践○	A 基礎○	データサイエンス活用演習○	8単位修得
	生活環境経済	経済データ入門演習◎ 現代社会と統計1◎				
	国際経済	データ分析入門◎ 国際経済とデータ分析◎ 現代社会と統計1◎				
法	法律	データ分析入門○	データサイエンス実践○	A 基礎○	データサイエンス活用演習○	8単位修得
	政治					
経営	経営	統計入門○	情報システム入門○ プログラミング基礎○	A 基礎○	データサイエンス活用演習○	10単位修得
	ビジネスデザイン					
商	マーケティング	ビジネス数理基礎A○	情報基礎II○	情報の科学と技術◎ A 基礎◎	データヴィジュアライゼーション◎ データサイエンス活用演習◎	8単位修得
	会計					
文	日本文学文化	データ分析入門○	データサイエンス実践○	A 基礎○	データサイエンス活用演習○	8単位修得
	英語英米文					
	哲					
	歴史					
	環境地理 ジャーナリズム					
ネットワーク情報	ネットワーク情報	情報分析基礎○ 数理リテラシー◎ 基礎解析◎ 線形代数◎	プログラミングと数理○	人工知能入門○	基礎演習S◎ データ・AI活用演習◎	10単位修得
人間科学	心理	数理科学C1○	データサイエンス実践○	A 基礎○	データサイエンス活用演習○	8単位修得
	社会					
国際コミュニケーション	日本語	数理科学C1○	データサイエンス実践○	A 基礎○	データサイエンス活用演習○	8単位修得
	異文化コミュニケーション	データ分析入門○				